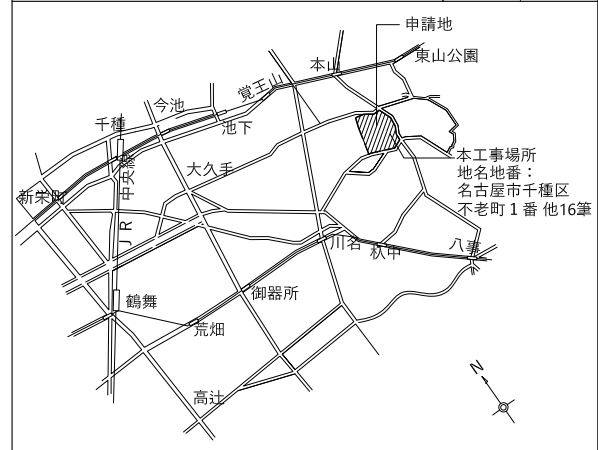


建築工事発注概要書

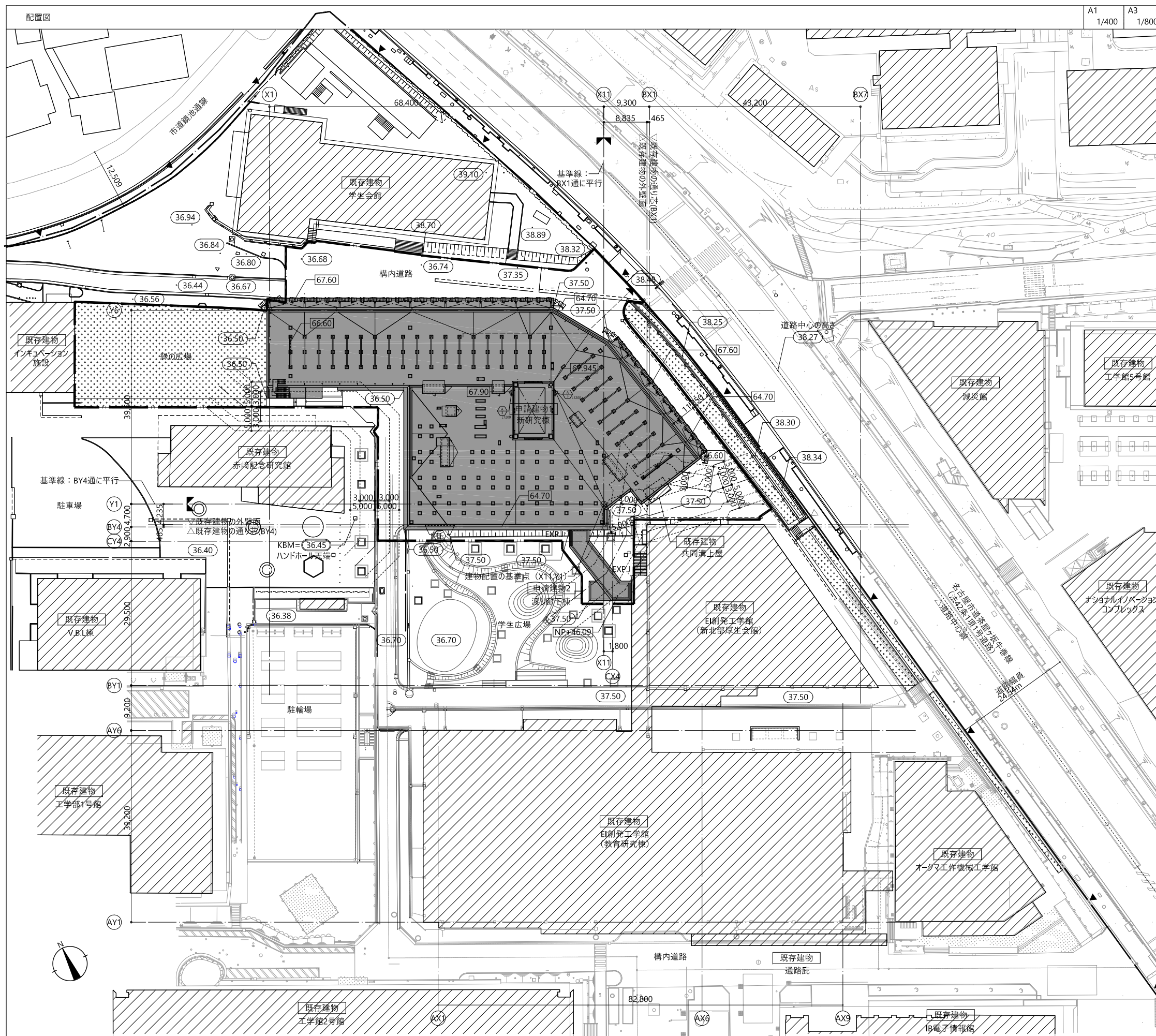
年 度	令和6年度		案内図・配置図等	別図による。
工 事 名	東海国立大学機構(東山)LYKEION研究棟(仮称)新営その他工事		そ の 他	本工事には下記を含む ・昇降機設備新設 1基 ・外構工事 一式 ・屋外排水管布設替え工事 一式 ・工事着手日は令和6年10月11日(金)とする
工 事 場 所	愛知県名古屋市千種区不老町 (名古屋大学東山団地構内)			
完 成 期 限	令和8年11月10日(火)			
工 事 概 要	建 物 概 要	棟名称		
		工 事 種 別	建築一式工事	
		構 造 ・ 階 数	鉄骨造一部CFT造・地上6階	
		建 築 面 積	2,930㎡	
		延 面 積	14,778㎡	
	基 礎		杭基礎	
	主 な 外 部 仕 上 げ	屋根	コンクリート下地 合成高分子系ルーフィングシート防水	
		外壁	押出成形セメント板	
		建具	アルミニウム製建具	
	主 な 内 部 仕 上 げ	床	ビニル床シート	
内壁		せっこうボード下地 EP-G		
天井		化粧石膏ボード		



凡例	
	事業範囲
	敷地境界線
	申請建物



 株式会社 山下設計 YAMASHITA SEKKEI INC. ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS	資格/番号	記名	製図	PM	設計業務名	課長	工事名	図面名称	図面番号
	代表設計者	一級建築士 第280128号	小林 史	五木田	伊藤	東海国立大学機構(東山) グランドナレッジ研究棟(仮称)新営その他設計業務	東海国立大学機構 施設統括部	付近見取図・キャンパス内配置図	A-001
担当設計者	一級建築士 第336396号	伊藤 潤	設備設計一級建築士 第1881号	兼松 裕之				縮尺 (A1) S=1/2000 (A3) S=1/4000	令和6年度



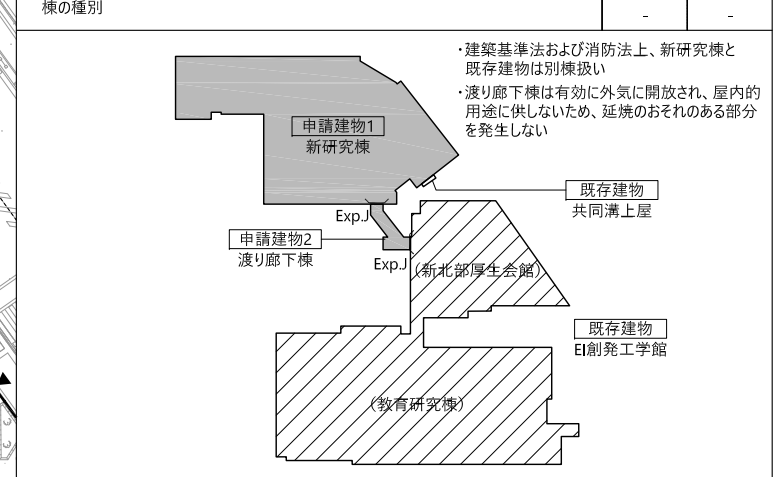
計画概要		A1	A3
敷地概要	工事場所 (地名地番)	名古屋市千種区不老町1番 他16筆	
都市計画区域の内外の別	都市計画区域 (内・外)	(市街化区域) 市街化調整区域・その他	
道路幅員	北側 巾員 14.54m (市道 鏡池通線)		
	東側 巾員 24.54m (市道 八事線)		
	南側 巾員 10.91m		
	西側 巾員 7.80m		
道路の敷地に接する長さ	約 500 m		
用途地域	第一種住居地域		
防火地域	防火(準防火)法22条指定区域 (内・外)・指定なし		
敷地面積	約243,659.61 m ² (東山キャンパス西地区)		
建ぺい率	60 % (名古屋大学東山団地地区計画により40%)		
容積率	200 %		
日影規制	4時間、2.5時間、測定面4m		

建築概要		A1	A3
主要用途	大学		
防火対象物の種類	消防法 施行令別表第1第7項		
工事種別	(新築、増築、改築)		
建築面積	全体の建築面積	72,583.02m ² (今回計画 2,929.55m ²)	(既存建築面積 69,653.47m ²)
建ぺい率	全体の建ぺい率	29.79%	
延床面積	全体の延床面積	243,718.77m ² (今回計画 14,777.60m ²)	(既存延床面積 228,941.17m ²)
容積対象延床面積	全体の容積対象延床面積	243,452.50m ² (今回計画 14,511.33m ²)	
容積率	全体の容積率	99.92%	
その他の必要な事項	文教地区、都市景観形成地区 (四谷・山手通)、緑化地域 宅地造成工事規制区域、都市計画施設 (学校)、地下鉄沿線30m以内		

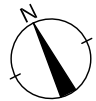
申請建物		1	2	合計
棟名称	新研究棟	渡り廊下棟		
構造	S造、一部CFT造	S造		
耐火建築物	耐火建築物	その他		
階数	6階	2階		
最高軒高	30.445m (NP+67.475)	9.20m (NP+46.70)		
最高高さ	30.915m (NP+67.945)	9.70m (NP+47.20)		
地盤面 (NP+)	37.03	37.50		
地盤	杭地盤	直接基礎+地盤改良		

面積表 (単位: m ²)				
建築面積	2,842.37	87.18	2,929.55	
延床面積	6	2,413.87	2,413.87	
	5	2,450.36	2,450.36	
	4	2,423.03	2,423.03	
	3	2,484.17	2,484.17	
	2	2,407.59	0.00	2,407.59
	1	2,598.58	0.00	2,598.58
合計	14,777.60	0.00	14,777.60	
駐車場面積	113.51		113.51	
昇降路面積	152.76		152.76	
容積対象延床面積	14,511.33		14,511.33	

凡例		A1	A3
△	出入口 (令125条1項)	申請建物	植栽
—	道路境界線	EXPJ	(任) 任意擁壁
□	今回事業範囲	既存建物	敷地内通路
***	地盤高さ (NP)	***	建物各部分の高さ (NPからの高さ)
***	設計GL=37.50 (NP)	---	延焼の恐れのある部分 (1階=3M) (2階以上=5M)
***	KBM=36.45 (NP)		



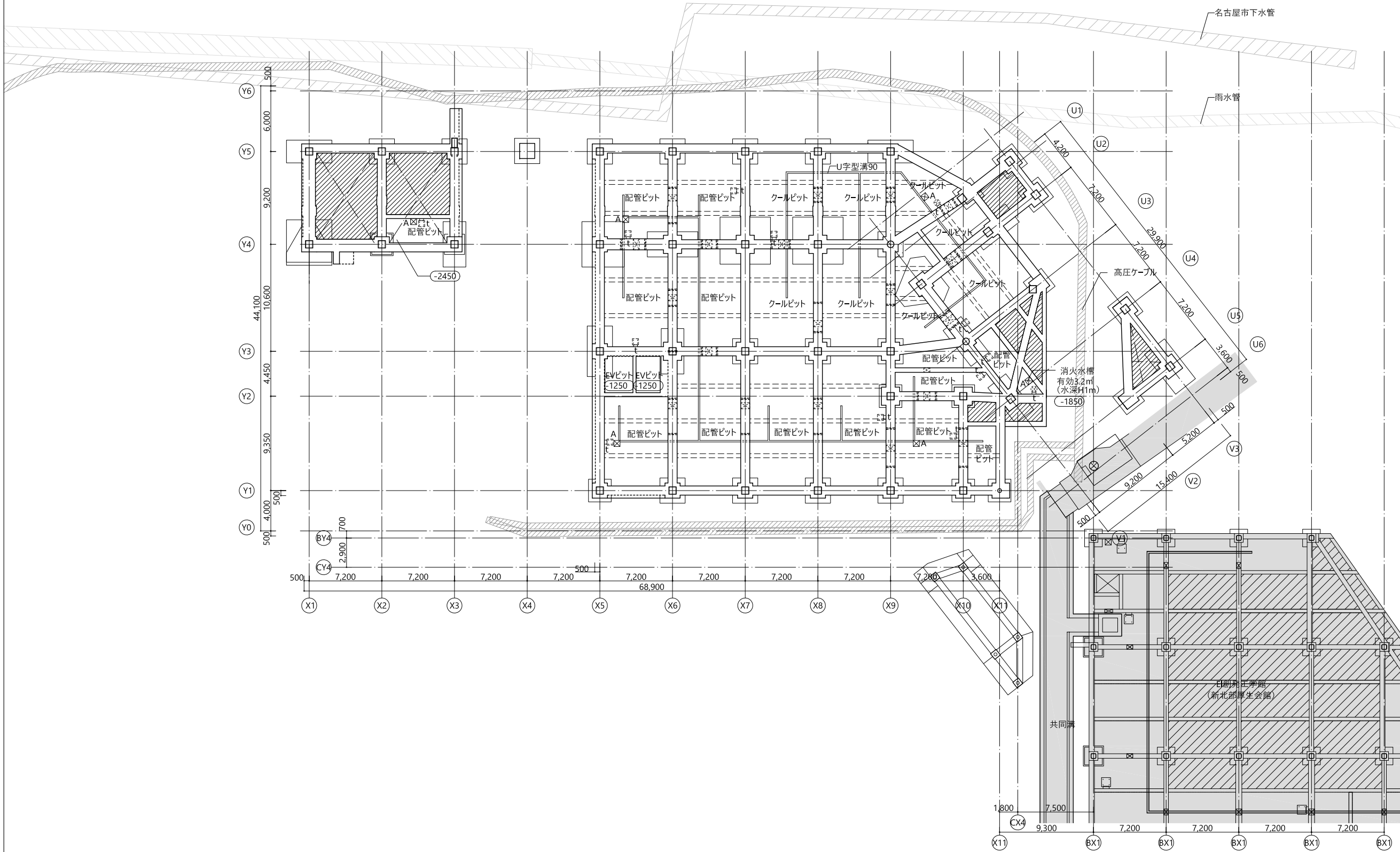
株式会社 山下設計 YAMASHITA SEKKEI INC. ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS	資格/番号	記名	製図	PM	設計業務名	課長	工事名	図面名称	図面番号
	代表設計者	一級建築士 第280128号 小林 史	五木田 伊藤		東海国立大学機構 (東山) グランドナレッジ研究棟 (仮称) 新営その他設計業務		東海国立大学機構 (東山) LYKEION 研究棟 (仮称) 新営その他工事	配置図・計画概要	A-004
担当設計者	一級建築士 第336396号 伊藤 潤	設備設計一級建築士 第1881号 兼松 裕之			東海国立大学機構 施設統括部		縮尺 (A1) S=1/400 (A3) S=1/800		令和6年度



凡例		
	人通孔	(I-1)
	通気管VPφ100	(I-1)
	釜場600×600×H500	(I-2)
	マンホール (上部)	
	床下点検口 (上部)	
	トラップ	(I-1)
	U字型側溝90	(I-2)
	1FLを基準とした仕上げレベル 特記なき限りピット床レベルは1FL-2100	
	埋戻し	
	既存建物	

ピット内部仕上		
配管ピット	床	CK
	壁	RC打放し (防水なし)
クールピット	床	RC打放し (防水なし)
	壁	RC打放し (防水なし)
消火水槽	床	ポリマーセメント系防水 (塗工法)
	壁	ポリマーセメント系防水 (塗工法)
EVピット	床	K防水 (塗工法)
	壁	K防水 (塗工法)

配管ピット、クールピットの床は捨てコンクリートt50とする。

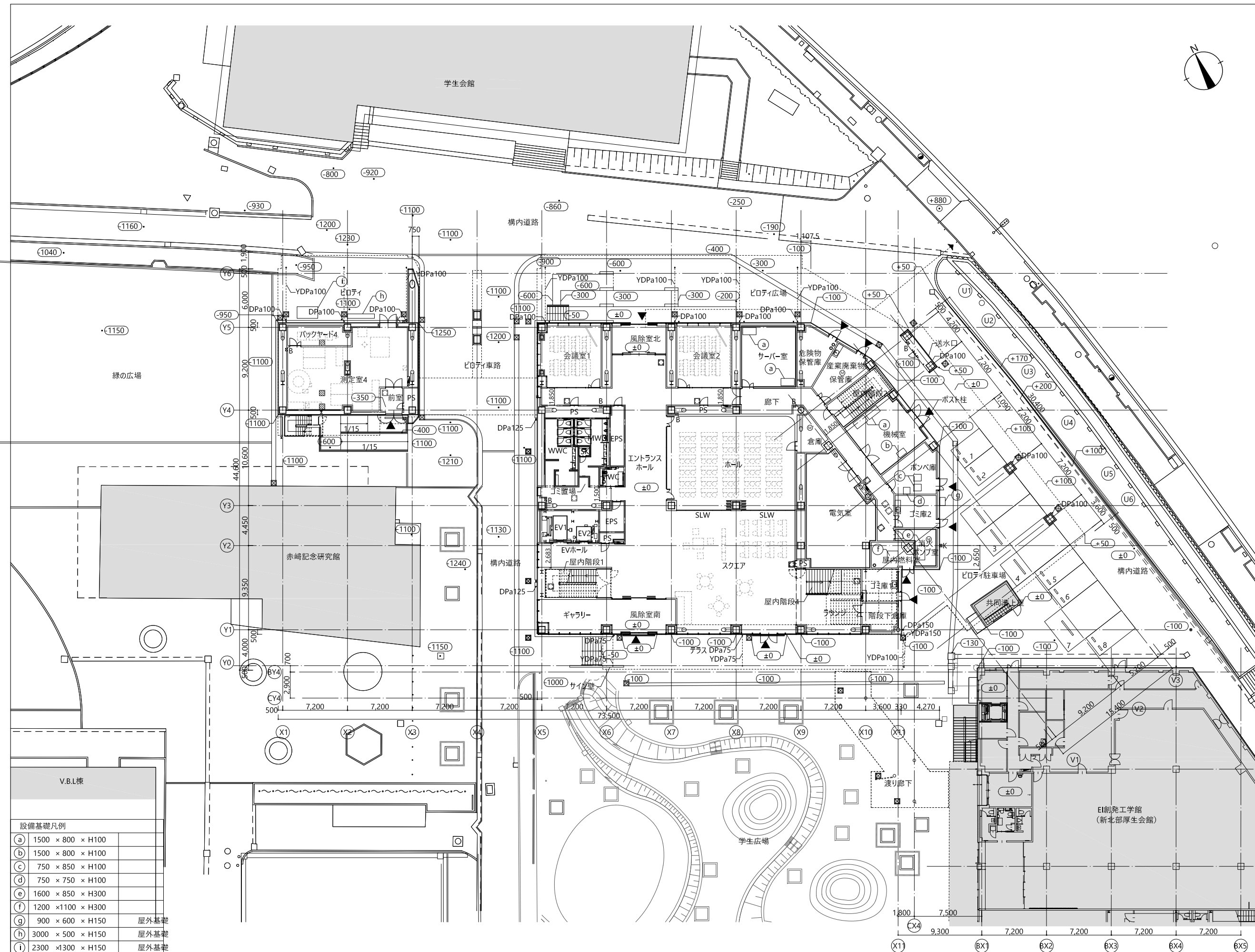


資格/番号	記名	製図	PM
代表設計者 一級建築士 第280128号	小林 史	五木田	伊藤
担当設計者 一級建築士 第336396号	伊藤 潤	設備設計一級建築士 第1881号	兼松 裕之

設計業務名
東海国立大学機構 (東山)
グランドナレッジ研究棟 (仮称) 新営その他設計業務

課長
工事名 東海国立大学機構 (東山) LYKEION 研究棟 (仮称) 新営その他工事
東海国立大学機構 施設統括部

図面名称
ピット平面図
縮尺 (A1) S=1/200
(A3) S=1/400
図面番号
A-011
令和6年度



凡例	
■B	消火器BOX
■K	壁掛け消火器BOX
○	置き型消火器 (別途工事)
■	屋内消火栓
■	消火器BOX一体型屋内消火栓
□	連結送水口
□	移動式粉末消火器
+	丸環 (A-9)
■	雨水枡
二 OF	OF管
○---○	横引き配管
□	床下点検口A 600×600
■	床下点検口B 600×600
■	床下点検口C 600×600
◎	マンホール φ600
□	誘導用及び注意喚起用床材
◀	屋外への出口
└	SUSタラップ
---▶	敷地内通路
※	FLを基準とした仕上げレベル (±0=NP+37.60)
■	既存建物

設備基礎凡例		
Ⓐ	1500 × 800 × H100	
Ⓑ	1500 × 800 × H100	
Ⓒ	750 × 850 × H100	
Ⓓ	750 × 750 × H100	
Ⓔ	1600 × 850 × H300	
Ⓕ	1200 × 1100 × H300	
Ⓖ	900 × 600 × H150	屋外基礎
Ⓗ	3000 × 500 × H150	屋外基礎
Ⓘ	2300 × 300 × H150	屋外基礎


株式会社 山下設計
 YAMASHITA SEKKEI INC.
 ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS

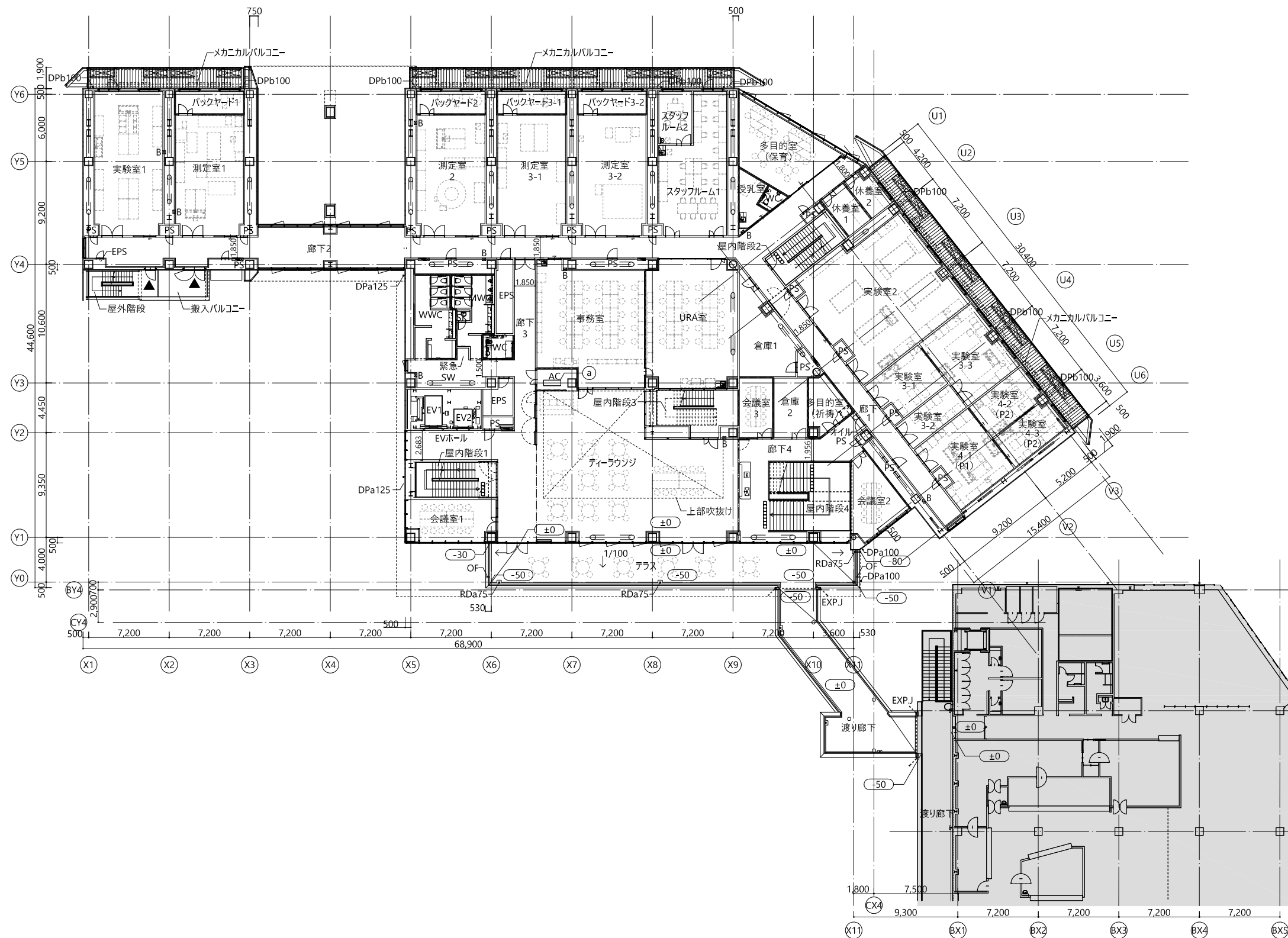
資格/番号	記名	製図	PM
代表設計者 一級建築士 第280128号	小林 史	五木田 伊藤	
担当設計者 一級建築士 第336396号	伊藤 潤	設備設計一級建築士 第1881号	兼松 裕之

設計業務名
東海国立大学機構 (東山) グランドナレッジ研究棟 (仮称) 新営その他設計業務

課長
 工事名 **東海国立大学機構 (東山) LYKEION 研究棟 (仮称) 新営その他工事**

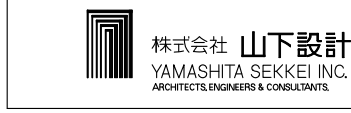
図面名称 **1階平面図**
 縮尺 (A1) S=1/200
 (A3) S=1/400
 図面番号 **A-012**
 令和6年度

東海国立大学機構 施設統括部



凡例	A1	A3
■B	消火器BOX	
■K	壁掛け消火器BOX	
○	置き型消火器 (別途工事)	
■	屋内消火栓	
■	消火器BOX一体型屋内消火栓	
□	連結送水口	
□	移動式粉末消火器	
+	丸環 (A-9)	
■	雨水枡	
二 OF	OF管	
○--->	横引き配管	
□	床下点検口A 600×600	
■	床下点検口B 600×600	
■	床下点検口C 600×600	
◎	マンホール φ600	
□	誘導用及び注意喚起用床材	
◀	屋外への出口	
└	SUSタラップ	
----->	敷地内通路	
※	FLを基準とした仕上げレベル	
■	既存建物	

設備基礎凡例	
Ⓐ	1550 × 500 × H200

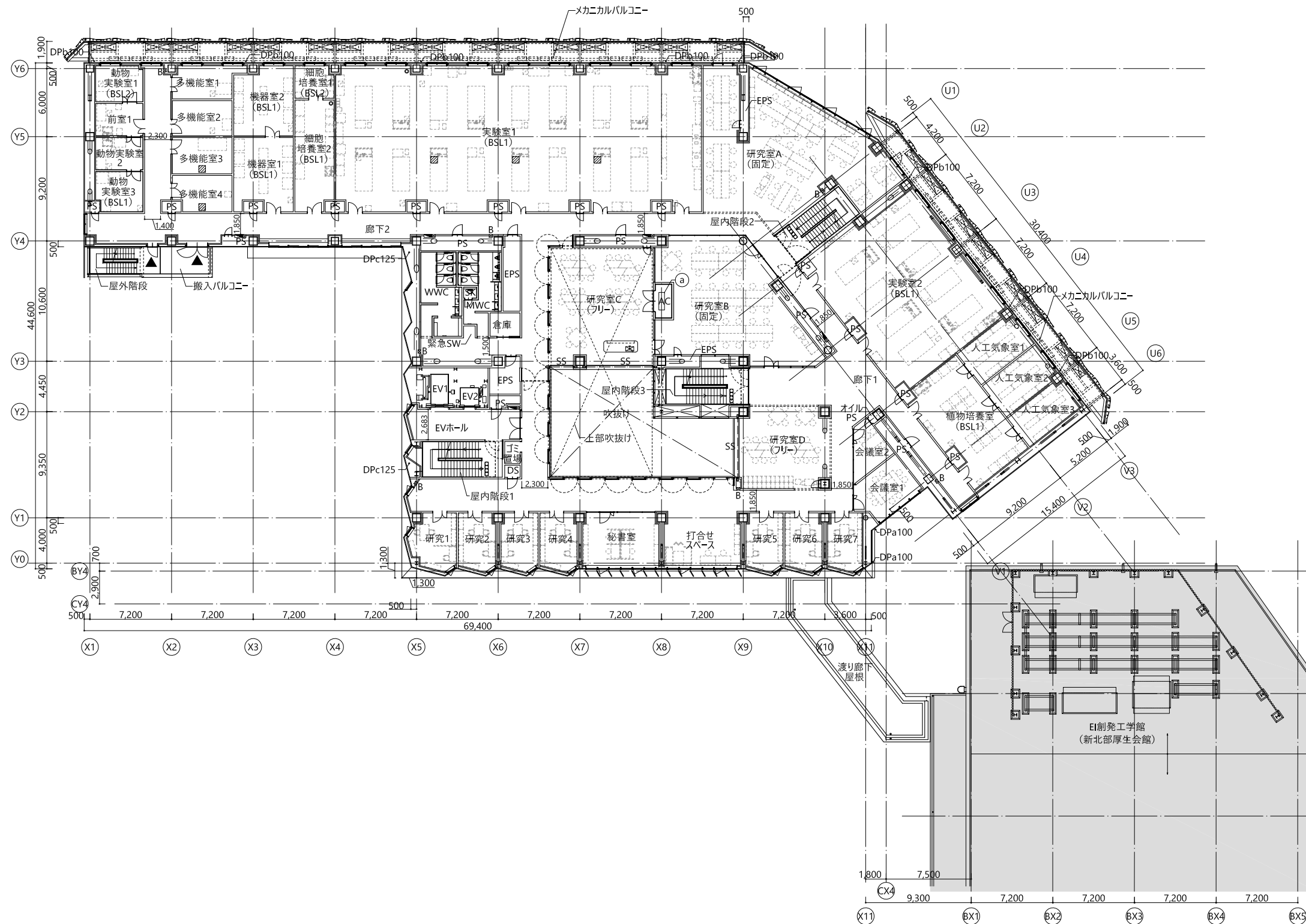
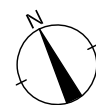


資格/番号	記名	製図	PM
代表設計者 一級建築士 第280128号	小林 史	五木田	伊藤
担当設計者 一級建築士 第336396号	伊藤 潤	設備設計一級建築士 第1881号	兼松 裕之

設計業務名
東海国立大学機構 (東山)
グランドナレッジ研究棟 (仮称) 新営その他設計業務

課長
工事名 東海国立大学機構 (東山) LYKEION 研究棟 (仮称) 新営その他工事
東海国立大学機構 施設統括部

図面名称 2階平面図
縮尺 (A1) S=1/200
(A3) S=1/400
図面番号 A-013
令和6年度



凡例	
■ B	消火器BOX
■ K	壁掛け消火器BOX
○	置き型消火器 (別途工事)
■	屋内消火栓
■	消火器BOX一体型屋内消火栓
□	連結送水口
□	移動式粉末消火器
+	丸環 (A-9)
■	雨水枡
二 OF	OF管
○---○	横引き配管
□	床下点検口A 600×600
■	床下点検口B 600×600
■	床下点検口C 600×600
◎	マンホール φ600
□	誘導用及び注意喚起用床材
◀	屋外への出口
⌈	SUSタラップ
---▶	敷地内通路
※	FLを基準とした仕上げレベル
■	既存建物

設備基礎凡例	
①	1550 × 500 × H200



資格/番号	記名	製図	PM
代表 設計者 一級建築士 第280128号	小林 史	五木田	伊藤
担当 設計者 一級建築士 第336396号	伊藤 潤	設備設計一級建築士 第1881号	兼松 裕之

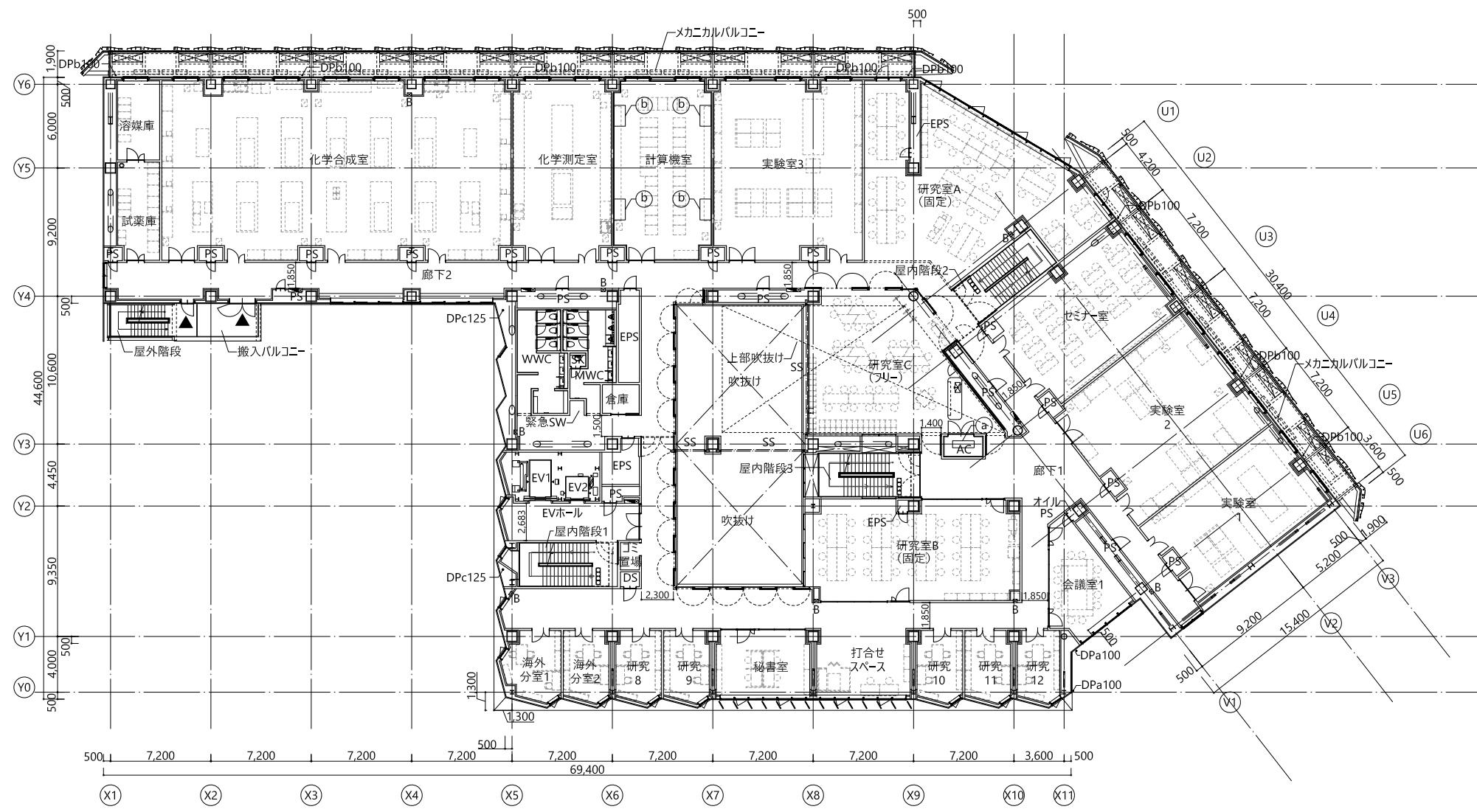
設計業務名	課長	工事名
東海国立大学機構 (東山) グランドナレッジ研究棟 (仮称) 新営その他設計業務		東海国立大学機構 (東山) LYKEION 研究棟 (仮称) 新営その他工事
		東海国立大学機構 施設統括部

図面名称	縮尺
3階平面図	(A1) S=1/200 (A3) S=1/400


図面番号	年度
A-014	令和6年度

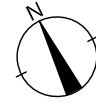


凡例	
■B	消火器BOX
■K	壁掛け消火器BOX
○	置き型消火器 (別途工事)
■	屋内消火栓
■	消火器BOX一体型屋内消火栓
□	連結送水口
□	移動式粉末消火器
↑	丸環 (A-9)
■	雨水枡
二 OF	OF管
○---○	横引き配管
□	床下点検口A 600×600
■	床下点検口B 600×600
■	床下点検口C 600×600
◎	マンホール φ600
□	誘導用及び注意喚起用床材
◀	屋外への出口
┌	SUSタラップ
---▶	敷地内通路
※	FLを基準とした仕上げレベル

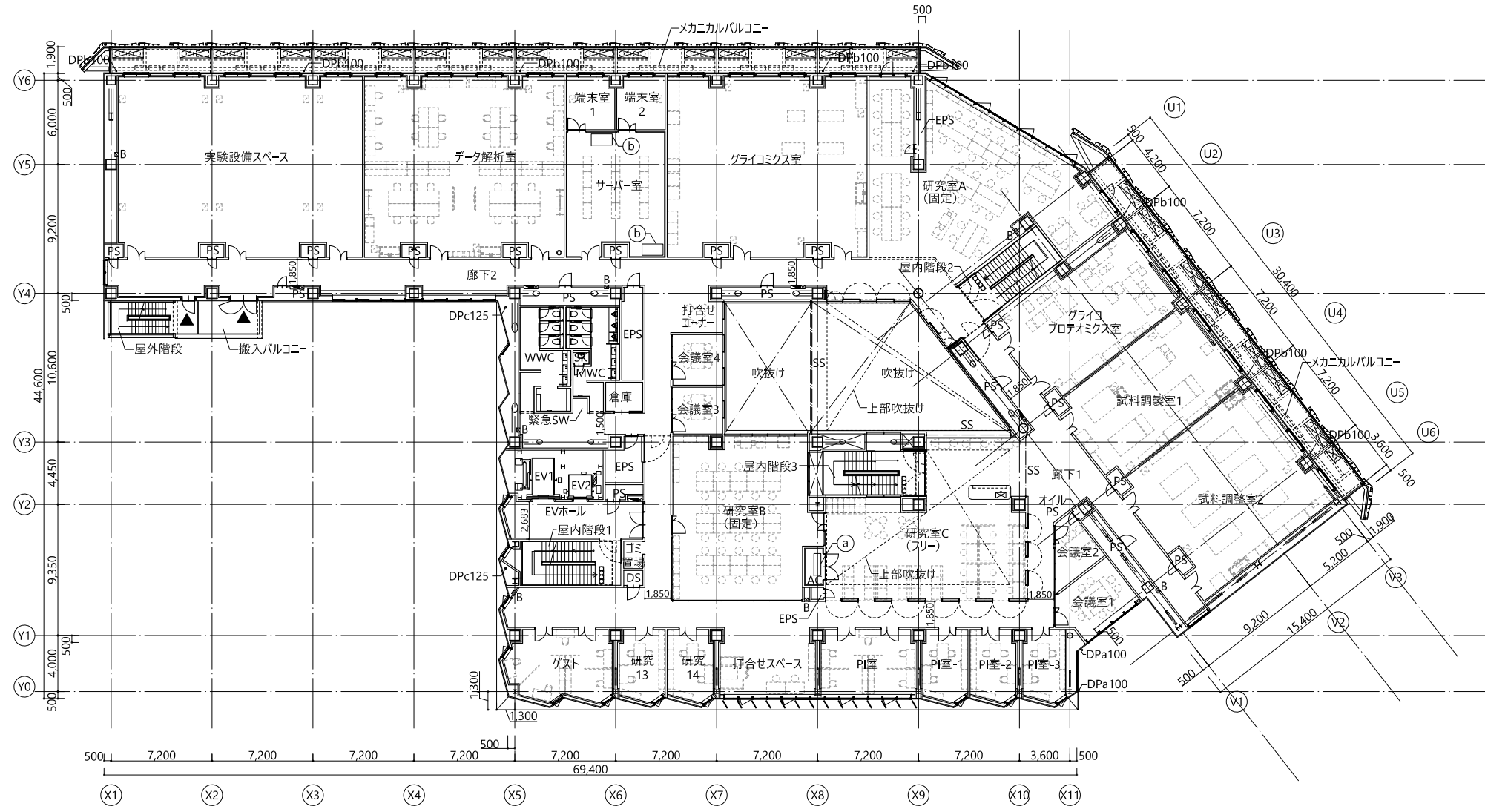


設備基礎凡例	
Ⓐ	1550 × 500 × H200
Ⓑ	1500 × 800 × H100

 株式会社 山下設計 YAMASHITA SEKKEI INC. ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS	資格/番号 代表設計者 一級建築士 第280128号 小林 史 製図 五木田 伊藤 記名 兼松 裕之 設備設計一級建築士 第1881号 兼松 裕之	設計業務名 東海国立大学機構 (東山) グランドナレッジ研究棟 (仮称) 新営その他設計業務	課長 東海国立大学機構 (東山) LYKEION 研究棟 (仮称) 新営その他工事 東海国立大学機構 施設統括部	図面名称 4階平面図	図面番号 A-015
	代表設計者 一級建築士 第336396号 伊藤 潤 設備設計一級建築士 第1881号 兼松 裕之	縮尺 (A1) S=1/200 (A3) S=1/400	令和6年度		



凡例	
■B	消火器BOX
■K	壁掛け消火器BOX
○	置き型消火器 (別途工事)
■	屋内消火栓
■	消火器BOX一体型屋内消火栓
□	連結送水口
□	移動式粉末消火器
+	丸環 (A-9)
■	雨水枡
二 OF	OF管
○---○	横引き配管
□	床下点検口A 600×600
■	床下点検口B 600×600
■	床下点検口C 600×600
◎	マンホール φ600
□	誘導用及び注意喚起用床材
◀	屋外への出口
┌	SUSタラップ
---▶	敷地内通路
※	FLを基準とした仕上げレベル



設備基礎凡例	
(a)	1550 × 500 × H200
(b)	1500 × 800 × H100


株式会社 山下設計
 YAMASHITA SEKKEI INC.
 ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS

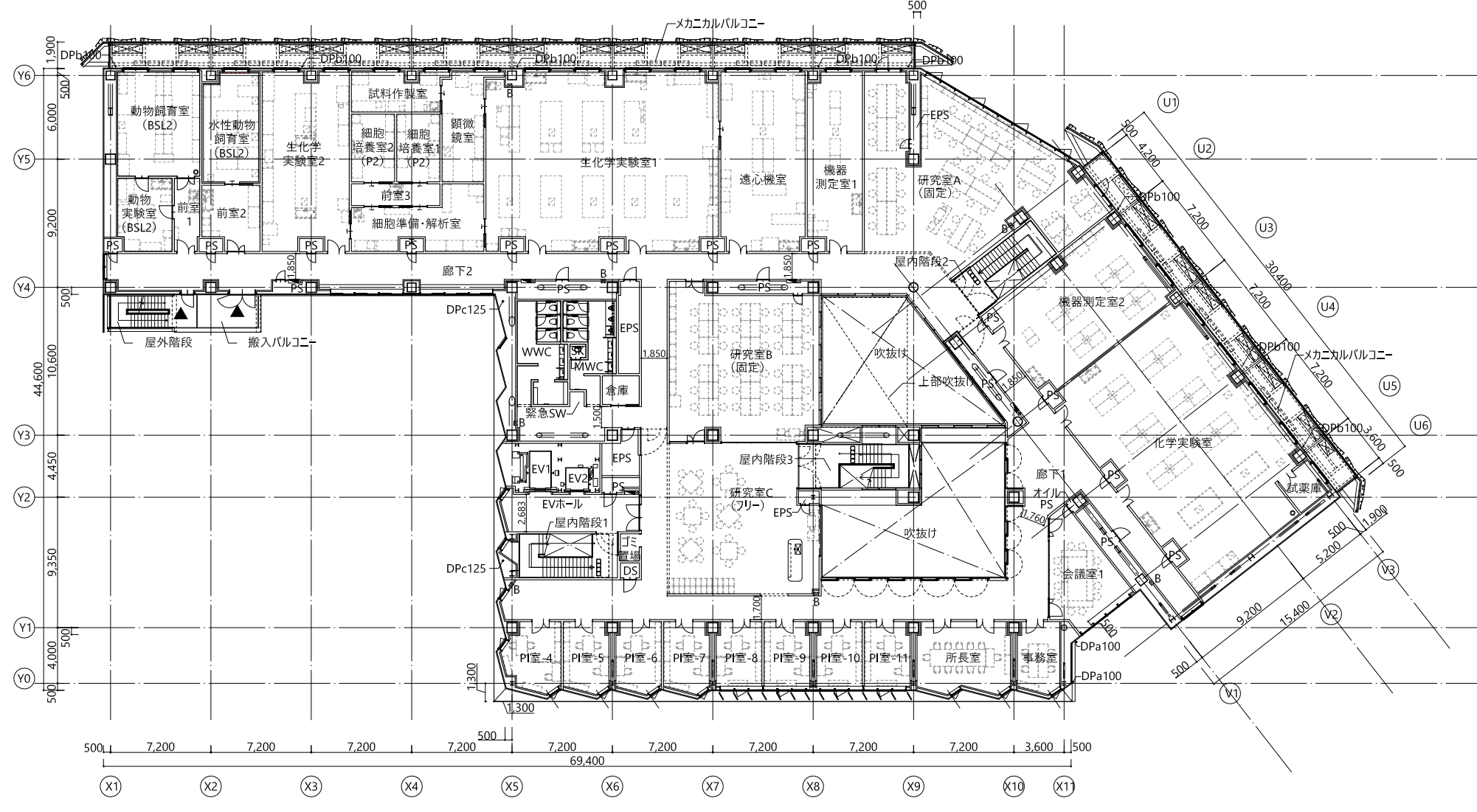
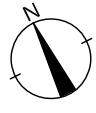
資格/番号	記名	製図	PM
代表設計者 一級建築士 第280128号	小林 史	五木田	伊藤
担当設計者 一級建築士 第336396号	伊藤 潤	設備設計一級建築士 第1881号	兼松 裕之

設計業務名
 東海国立大学機構 (東山)
 グランドナレッジ研究棟 (仮称) 新営その他設計業務

課長
 工事名 東海国立大学機構 (東山) LYKEION 研究棟 (仮称) 新営その他工事
 東海国立大学機構 施設統括部

図面名称 5階平面図
 縮尺 (A1) S=1/200
 (A3) S=1/400

図面番号
 A-016
 令和6年度



凡例	
■B	消火器BOX
■K	壁掛け消火器BOX
○	置き型消火器 (別途工事)
■	屋内消火栓
■	消火器BOX一体型屋内消火栓
□	連結送水口
□	移動式粉末消火器
↑	丸環 (A-9)
■	雨水枡
二 OF	OF管
○→○	横引き配管
□	床下点検口A 600×600
■	床下点検口B 600×600
■	床下点検口C 600×600
⊙	マンホール φ600
□	誘導用及び注意喚起用床材
◀	屋外への出口
⌒	SUSタラップ
---▶	敷地内通路
※	FLを基準とした仕上げレベル

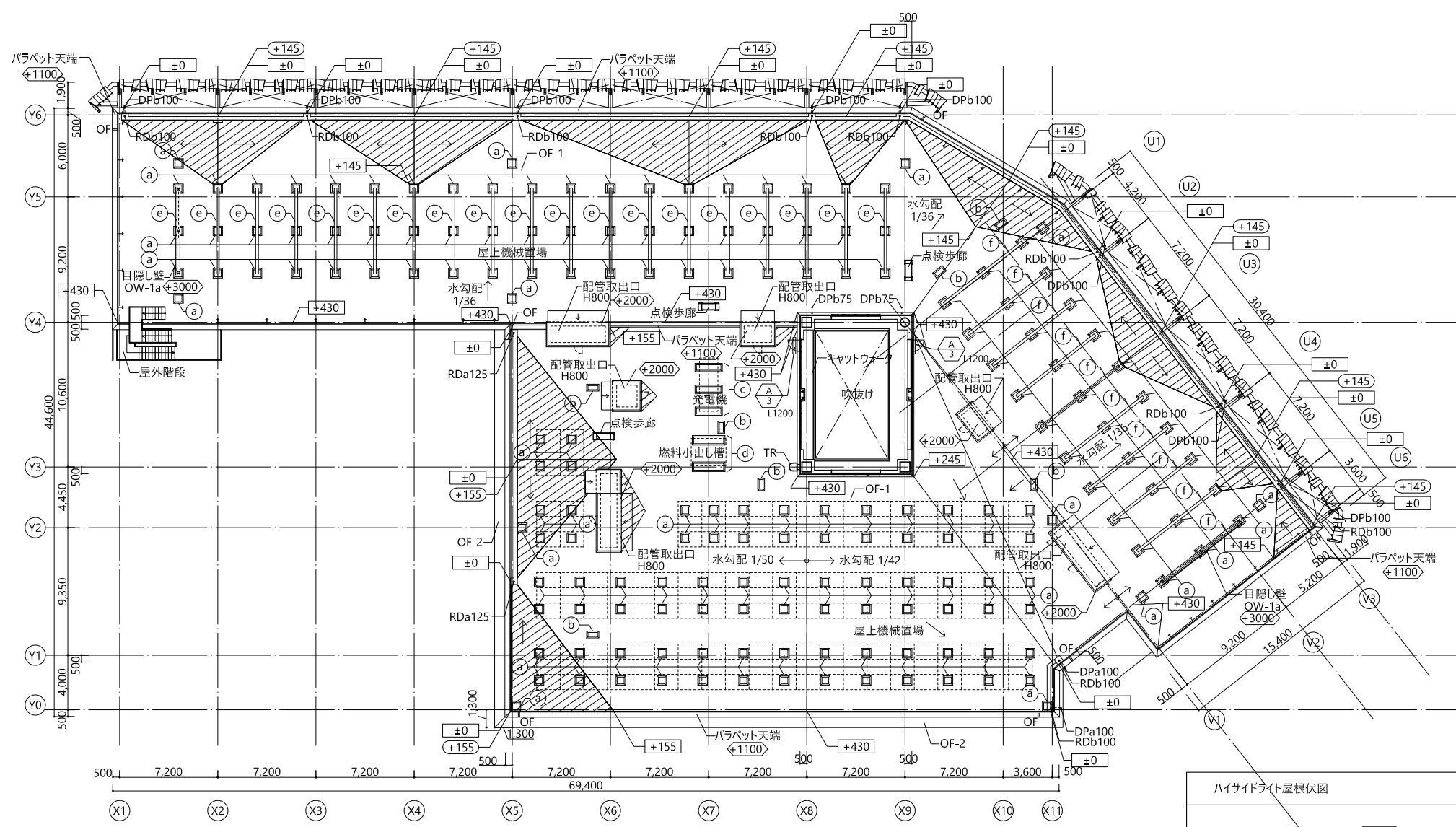


資格/番号	記名	製図	PM
代表設計者 一級建築士 第280128号	小林 史	五木田	伊藤
担当設計者 一級建築士 第336396号	伊藤 潤	設備設計一級建築士 第1881号	兼松 裕之

設計業務名
東海国立大学機構 (東山)
グランドナレッジ研究棟 (仮称) 新営その他設計業務

課長
工事名
東海国立大学機構 (東山) LYKEION 研究棟 (仮称) 新営その他工事
東海国立大学機構 施設統括部

図面名称	6階平面図	図面番号	A-017
縮尺	(A1) S=1/200 (A3) S=1/400		令和6年度

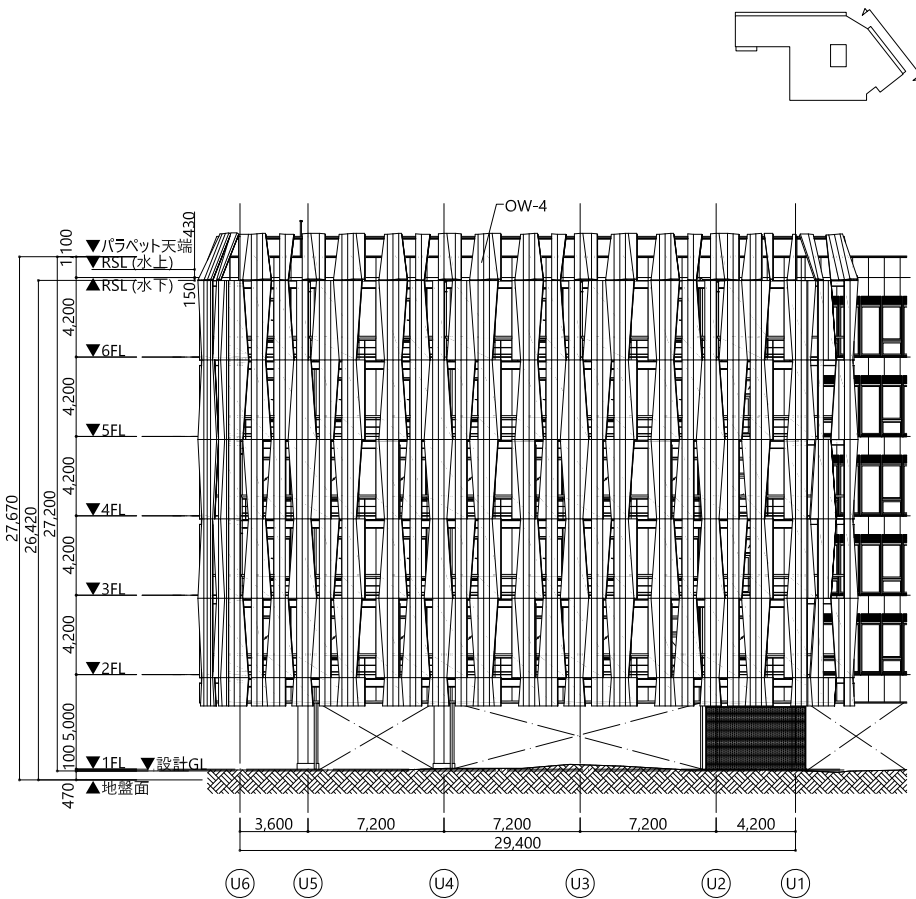


凡例	
■B	消火器BOX
■K	壁掛け消火器BOX
○	置き型消火器 (別途工事)
■	屋内消火栓
■	消火器BOX一体型屋内消火栓
□	連結送水口
□	移動式粉末消火器
+	丸環 (A-9)
■	雨水枡
二 OF	OF管
○---○	横引き配管
□	床下点検口A 600×600
■	床下点検口B 600×600
■	床下点検口C 600×600
◎	マンホール φ600
□	誘導用及び注意喚起用床材
◀	屋外への出口
┌	SUSタラップ
---	敷地内通路
※	RSL(水下)からのスラブ上増打天端レベル
※	RSL(水下)からのスラブ天端レベル
■	スラブ上増打部分
◁	RSL(水下)からの仕上天端レベル

設備基礎凡例	
(a)	500 × 500 × H500
(b)	700 × 300 × H300
(c)	1800 × 400 × H600
(d)	2200 × 500 × H600
(e)	H-200 × 200 (L=6300)
(f)	H-200 × 200 (L=7300)

株式会社 山下設計 YAMASHITA SEKKEI INC. ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS	資格/番号 代表設計者 一級建築士 第280128号 小林 史 製図 五木田 伊藤 記名 伊藤 潤 設備設計一級建築士 第1881号 兼松 裕之	設計業務名 東海国立大学機構 (東山) グランドナレッジ研究棟 (仮称) 新営その他設計業務	課長 東海国立大学機構 施設統括部	工事名 東海国立大学機構 (東山) LYKEION 研究棟 (仮称) 新営その他工事	図面名称 屋上平面図	図面番号 A-018
	縮尺 (A1) S=1/200 (A3) S=1/400	令和6年度				

北立面図1

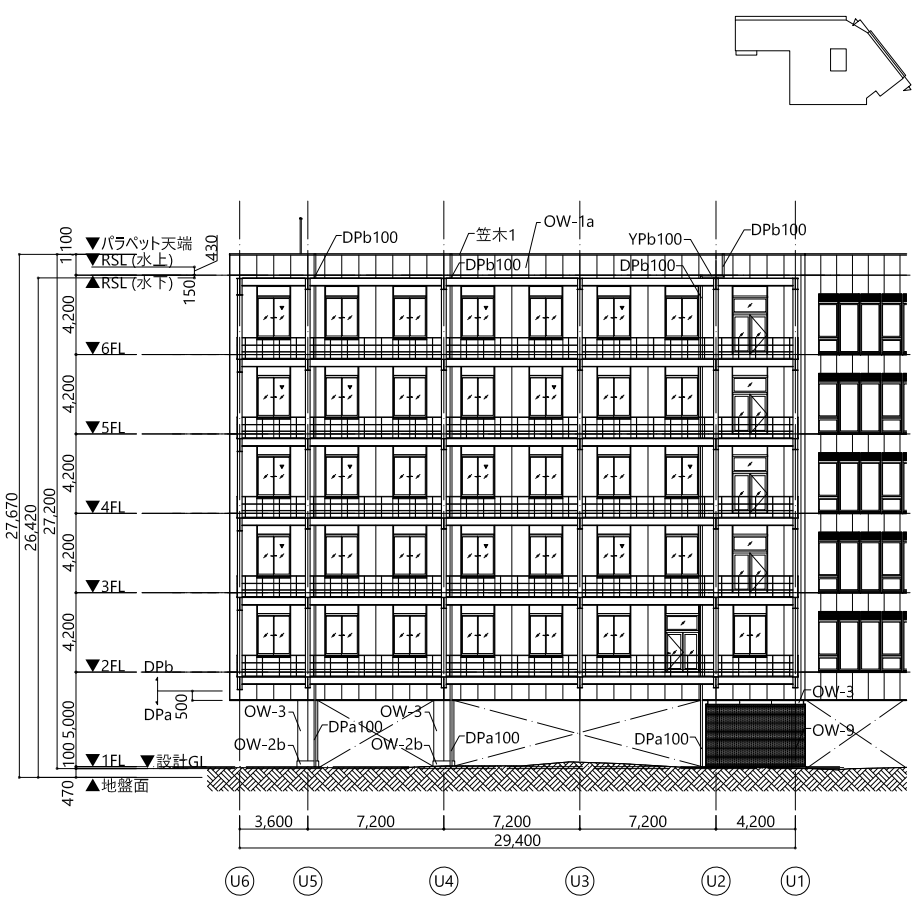


北立面図2

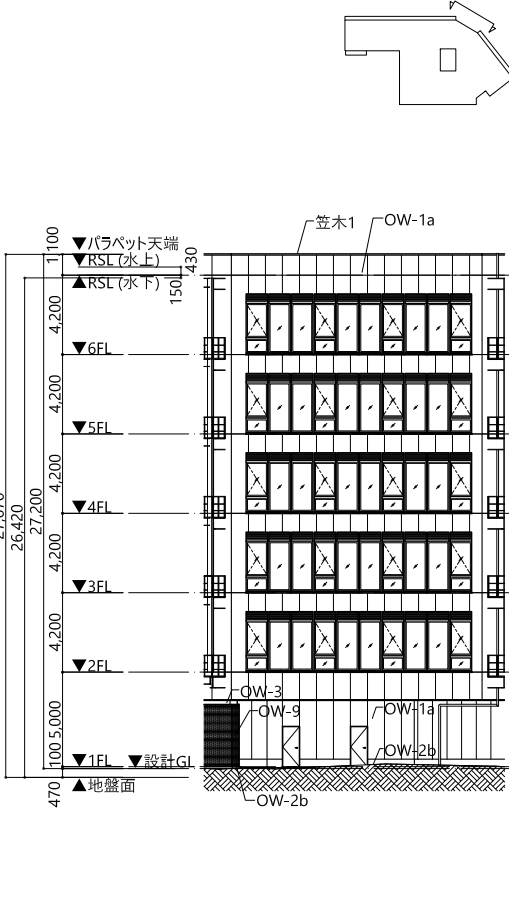


A1 1/200 A3 1/400

北立面図3



北立面図4



北立面図5

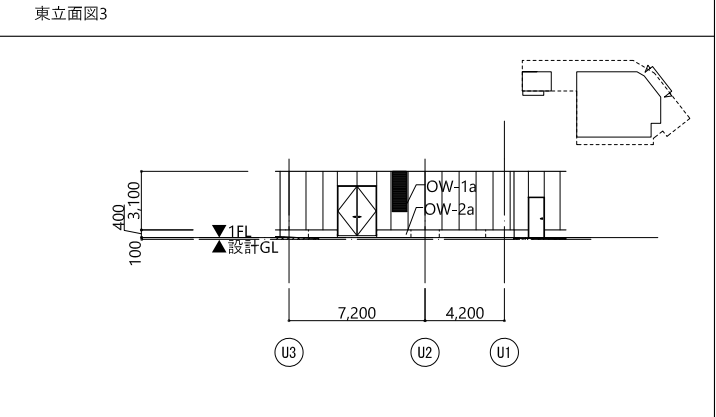
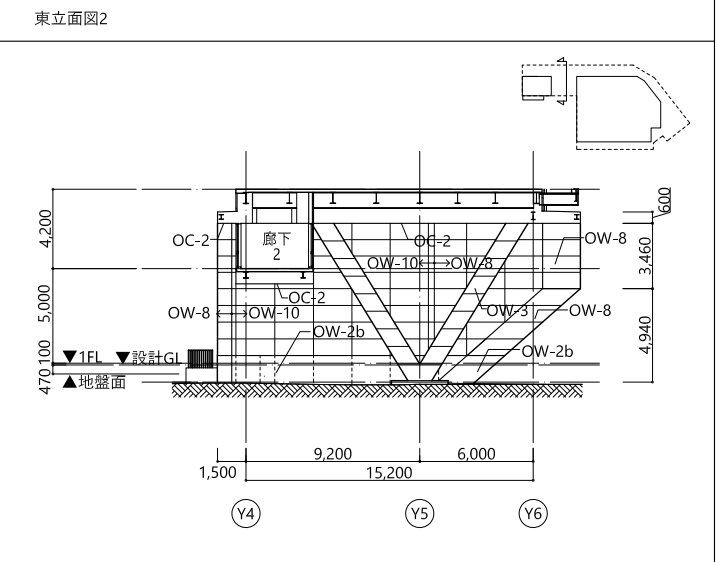
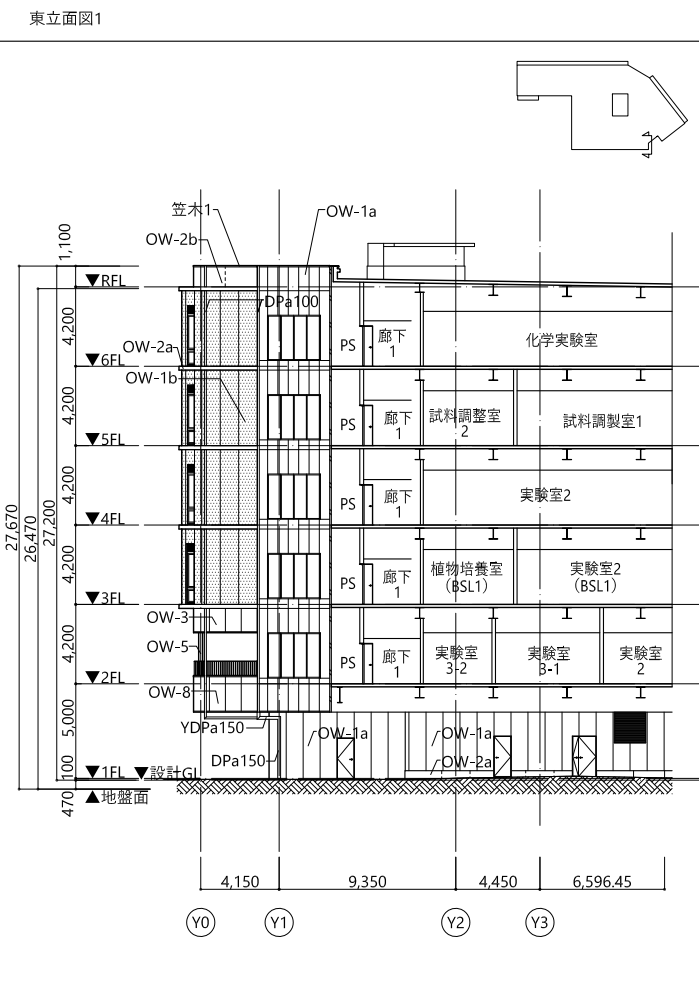
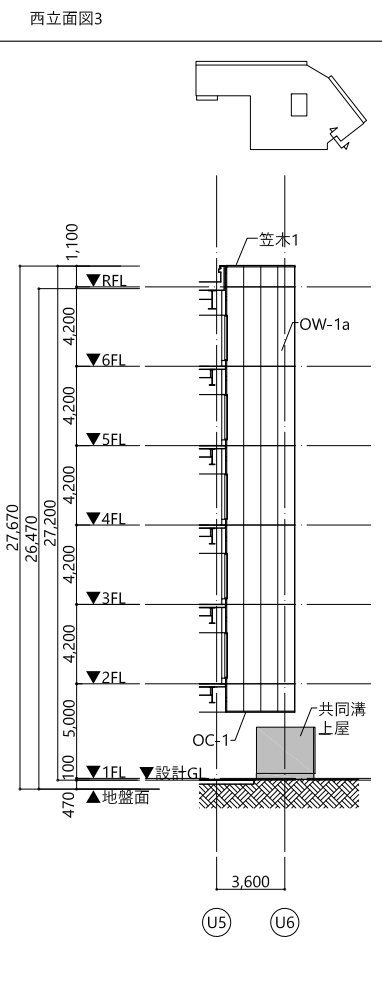
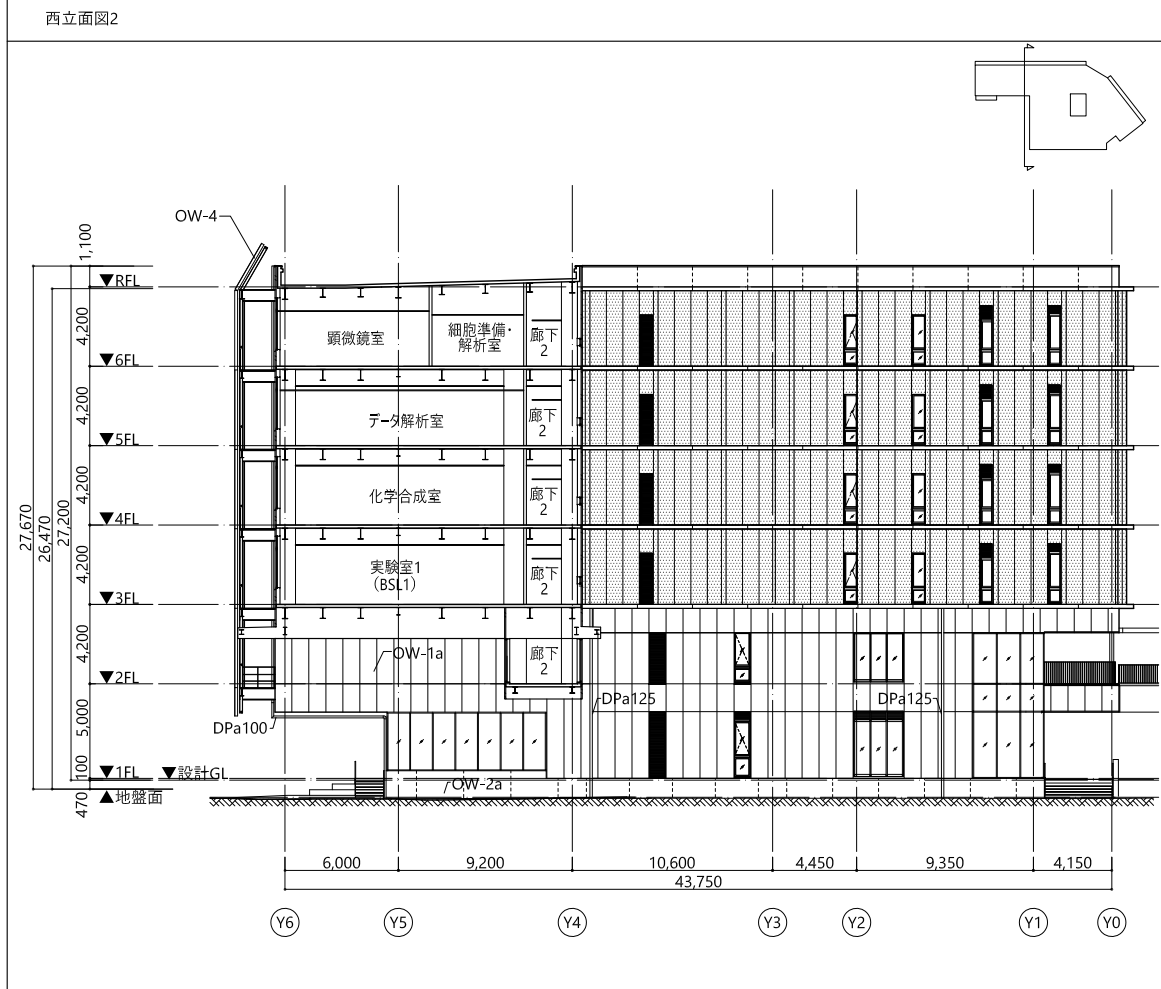
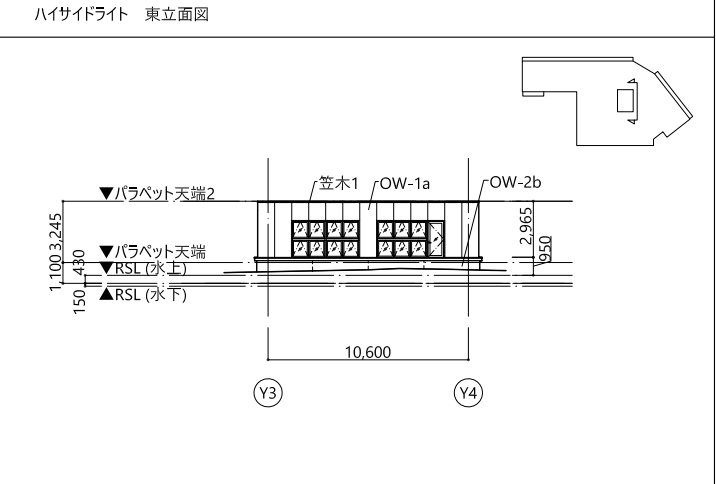
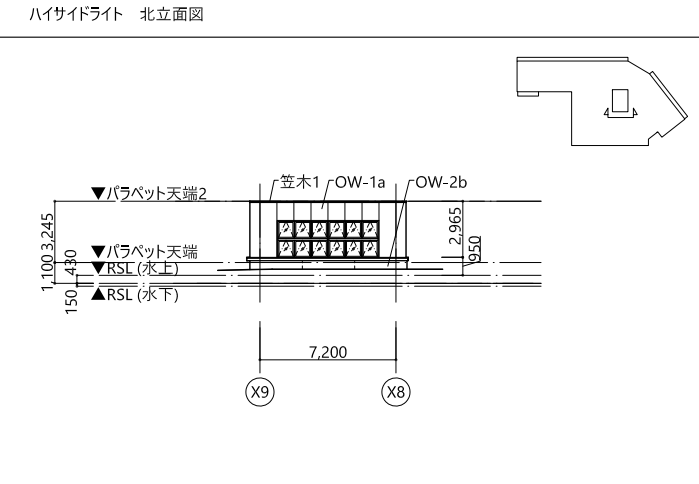
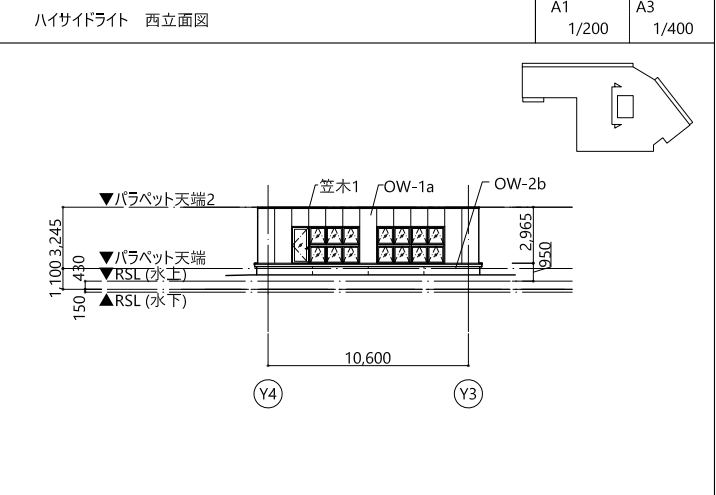
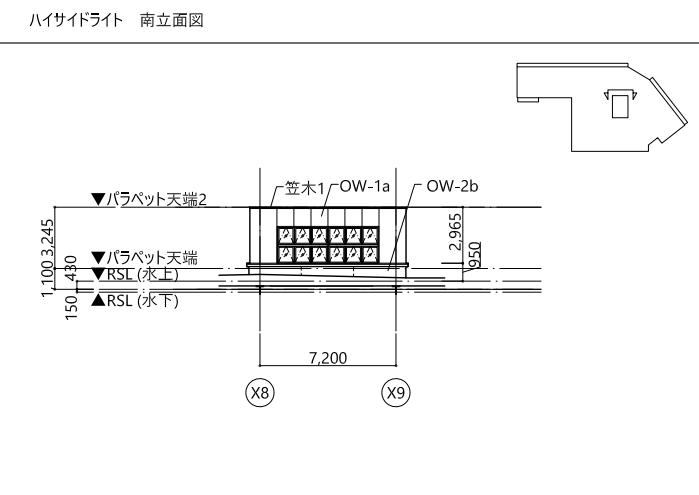
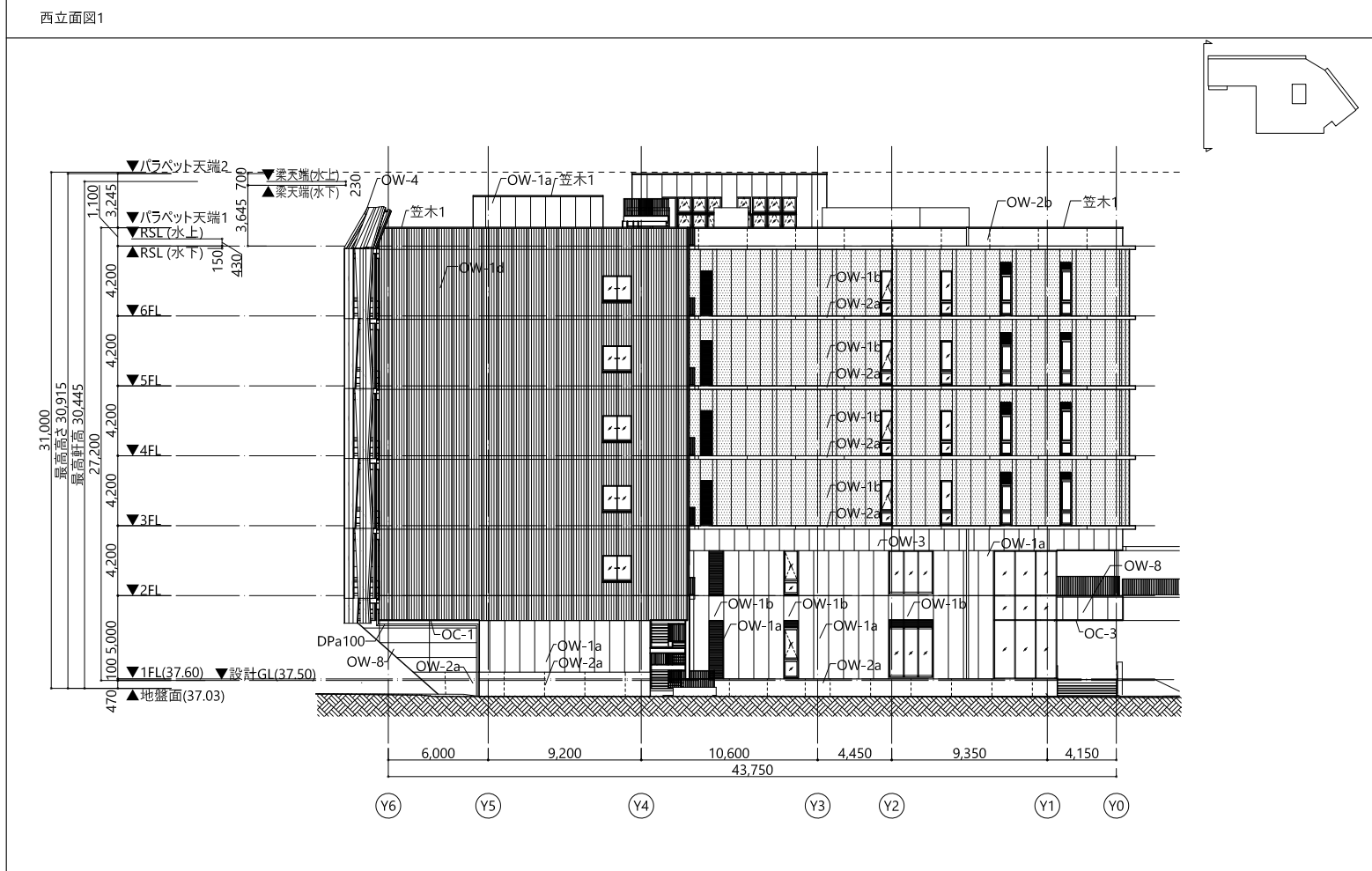


資格/番号	記名	製図	PM
一級建築士 第280128号	小林 史	五木田 伊藤	
一級建築士 第336396号	伊藤 潤	設備設計一級建築士 第1881号	兼松 裕之

設計業務名
東海国立大学機構（東山）
グランドナレッジ研究棟（仮称）新宮その他設計業務

課長

工事名	東海国立大学機構（東山）LYKEION 研究棟（仮称）新宮その他工事	図面名称	立面図1	図面番号	A-019
	東海国立大学機構 施設統括部	縮尺	(A1) S=1/200 (A3) S=1/400		令和6年度



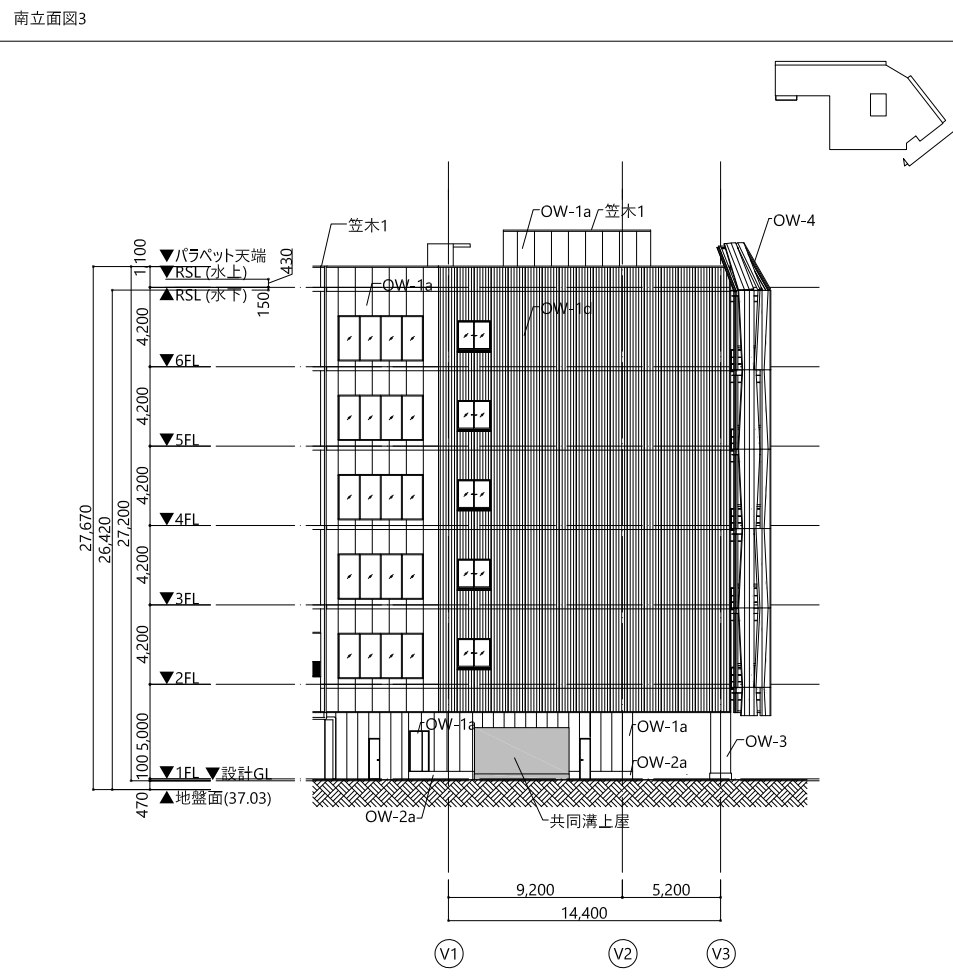
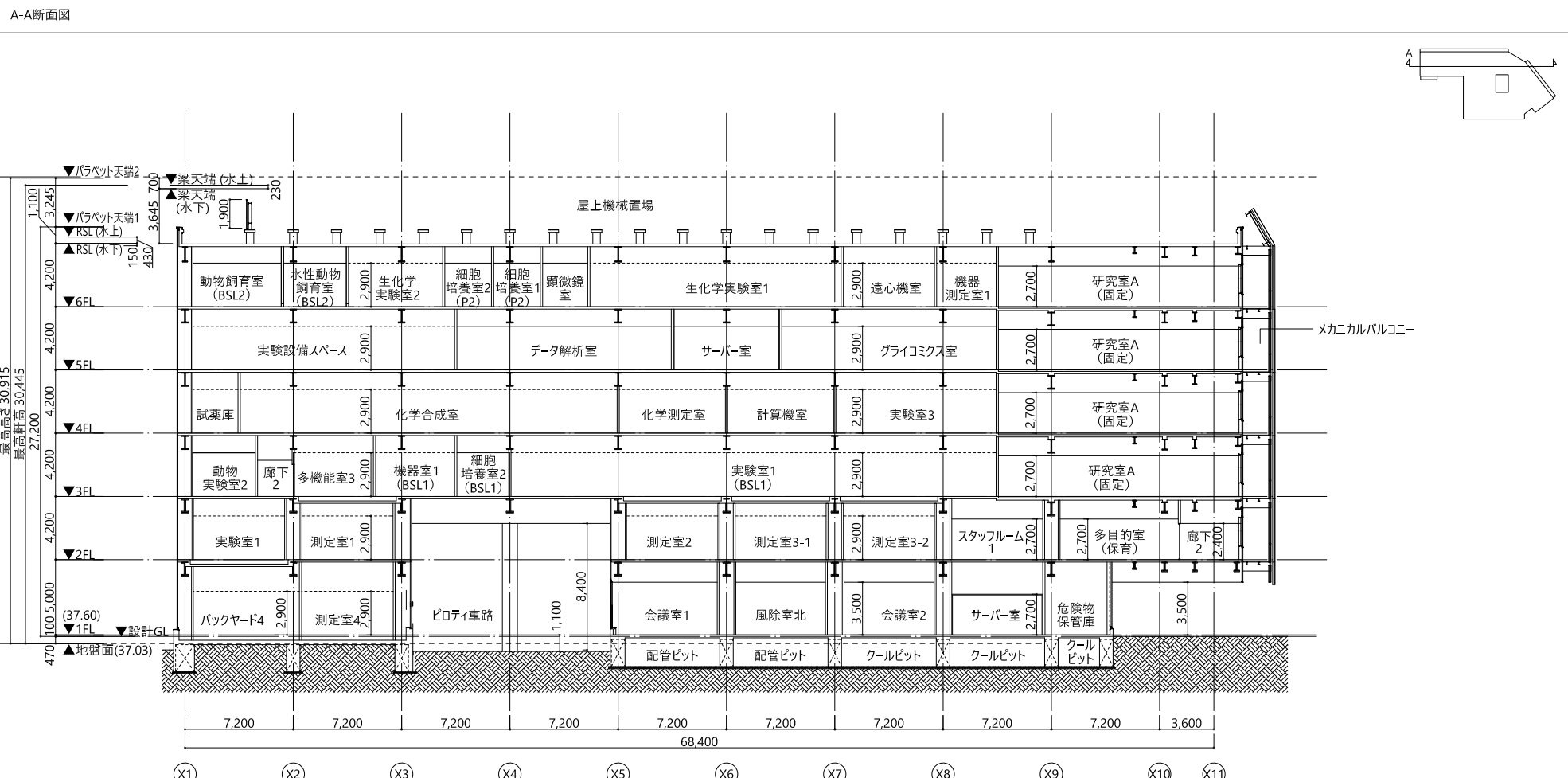
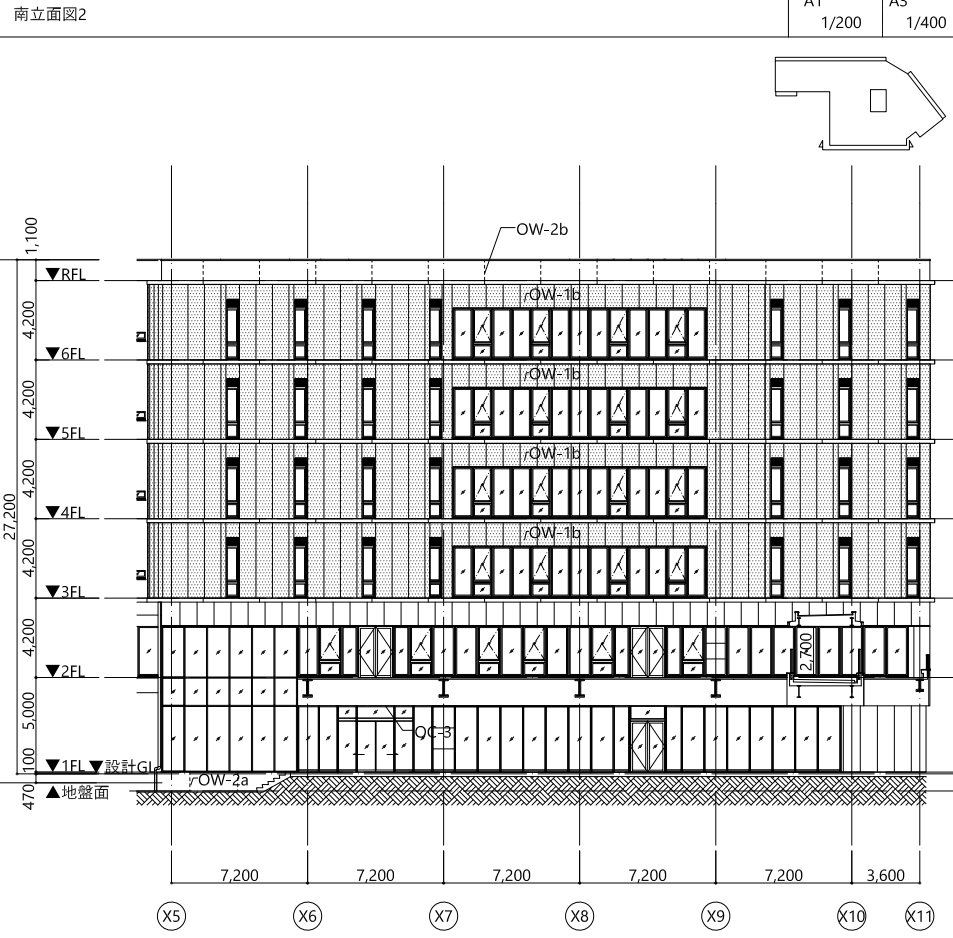
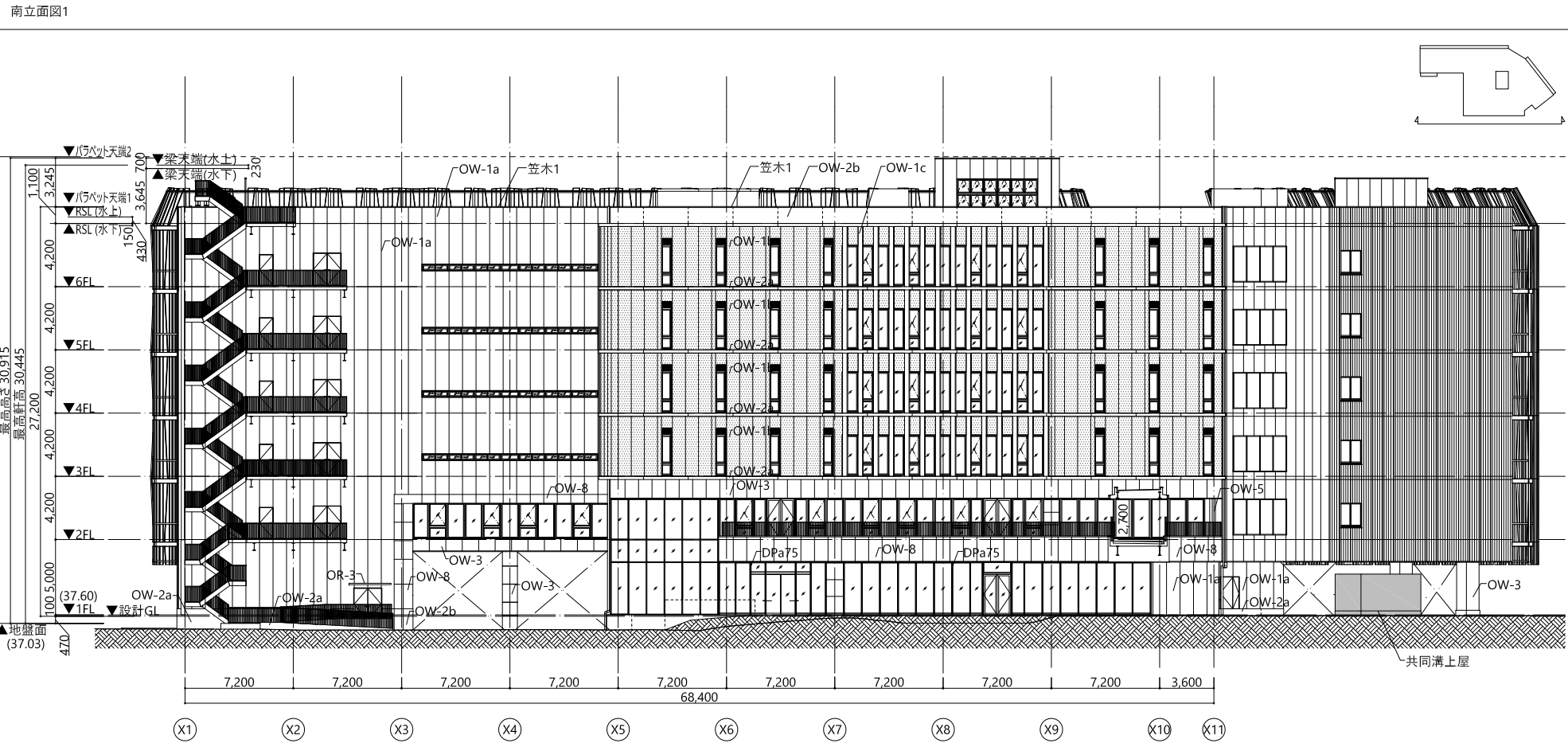
株式会社 山下設計
YAMASHITA SEKKEI INC.
ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS

資格/番号	記名	製図	PM
代表設計者 一級建築士 第280128号	小林 史	五木田 伊藤	
担当設計者 一級建築士 第336396号	伊藤 潤	設備設計一級建築士 第1881号	兼松 裕之

設計業務名
東海国立大学機構 (東山)
グランドナレッジ研究棟 (仮称) 新営その他設計業務

課長 工事名 東海国立大学機構 (東山) LYKEION 研究棟 (仮称) 新営その他工事
東海国立大学機構 施設統括部

図面名称 立面図2
縮尺 (A1) S=1/200
(A3) S=1/400
図面番号 A-020
令和6年度




株式会社 山下設計
 YAMASHITA SEKKEI INC.
 ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS

資格/番号	記名	製図	PM
代表設計者 一級建築士 第280128号	小林 史	五木田 伊藤	
担当設計者 一級建築士 第336396号	伊藤 潤	設備設計一級建築士 第1881号	兼松 裕之

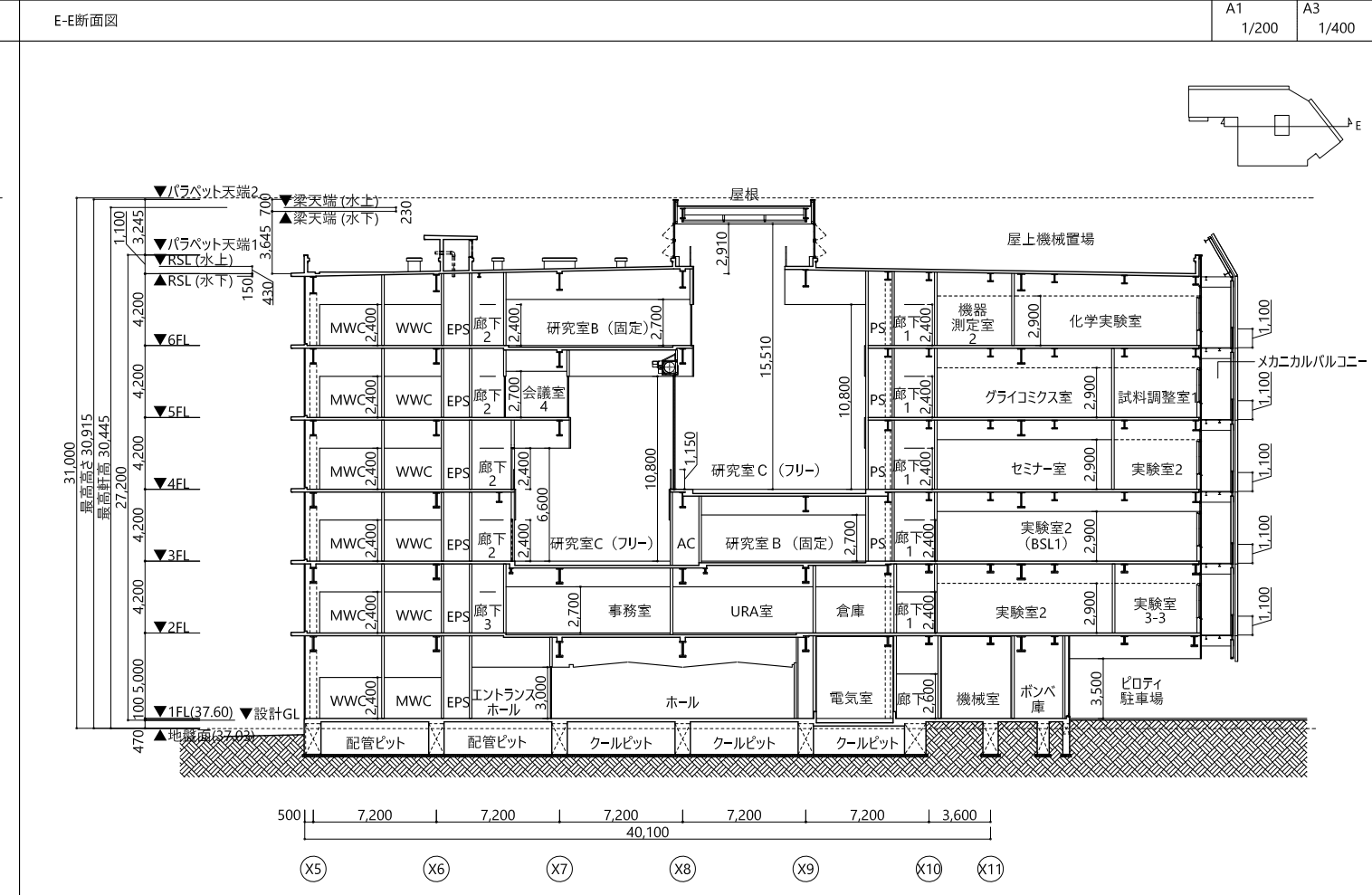
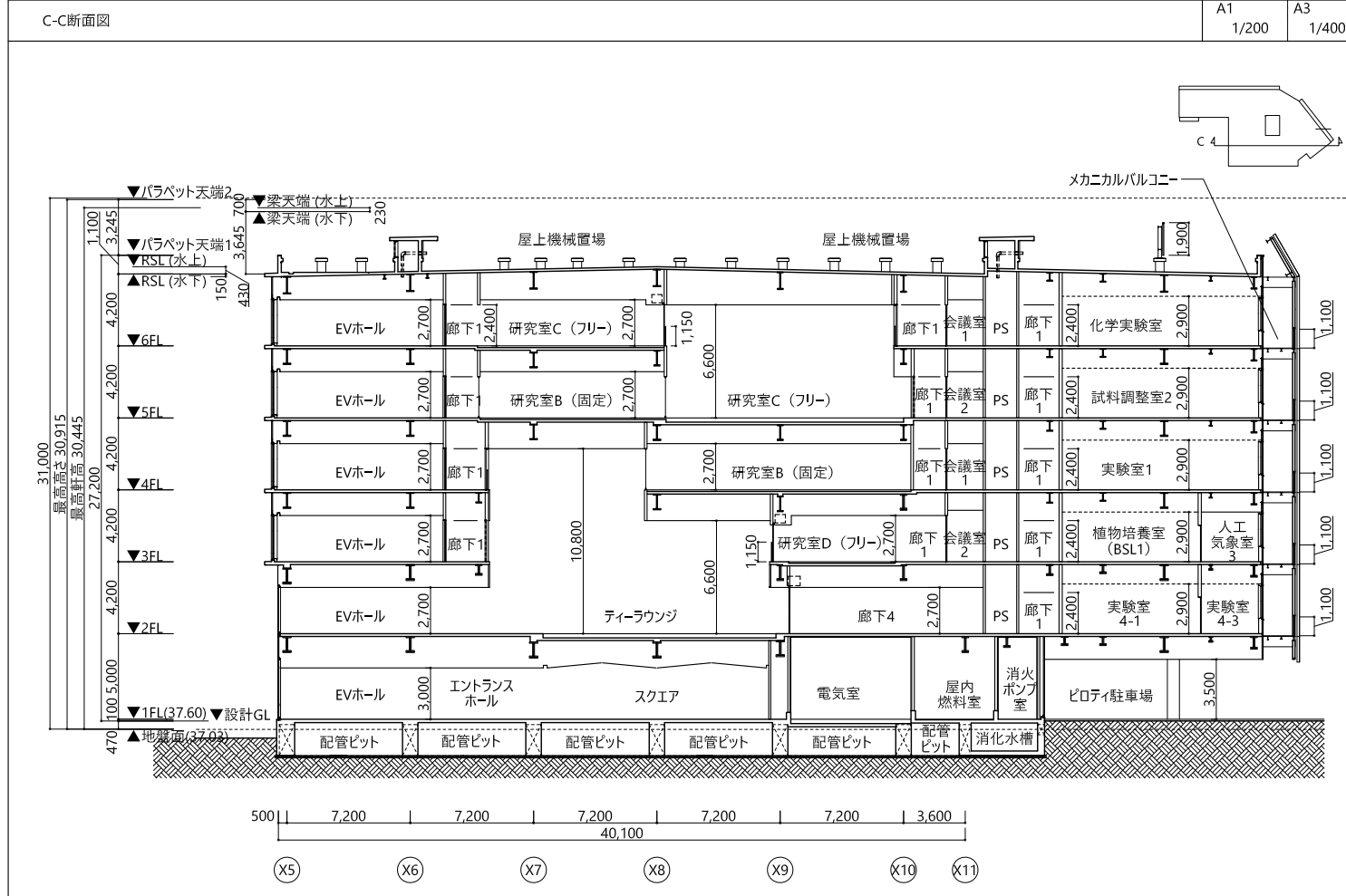
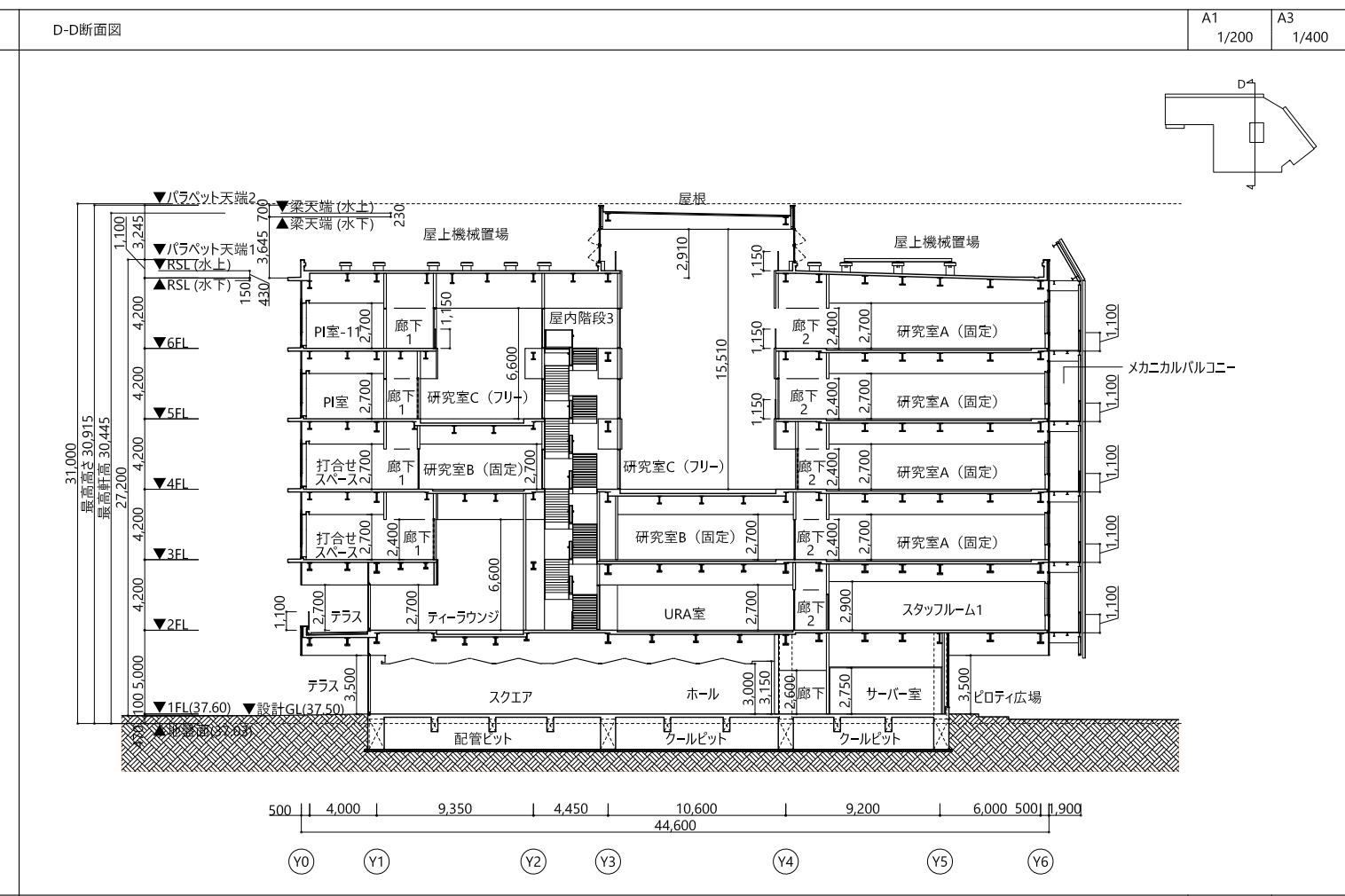
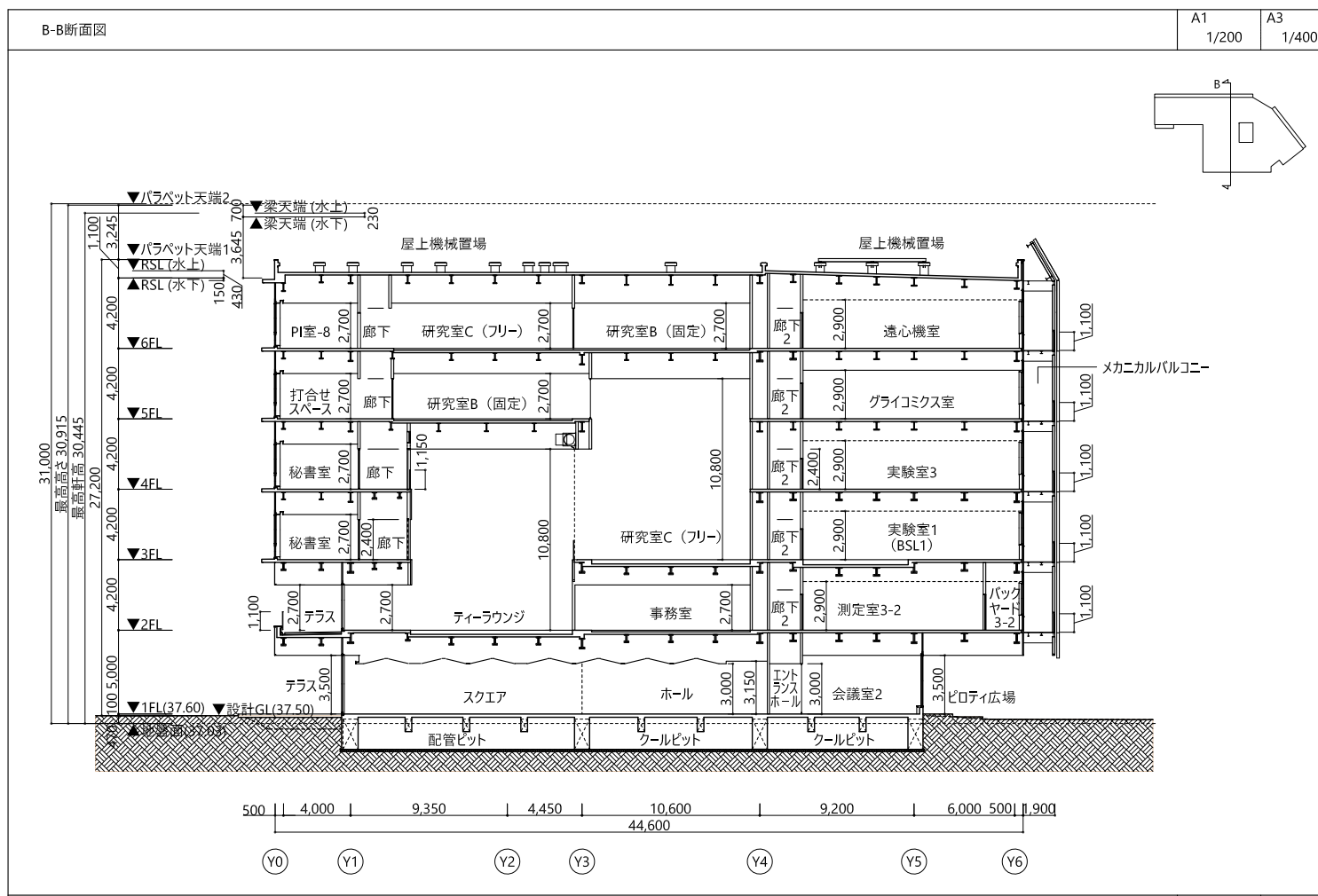
設計業務名
 東海国立大学機構 (東山)
 グランドナレッジ研究棟 (仮称) 新営その他設計業務

課長

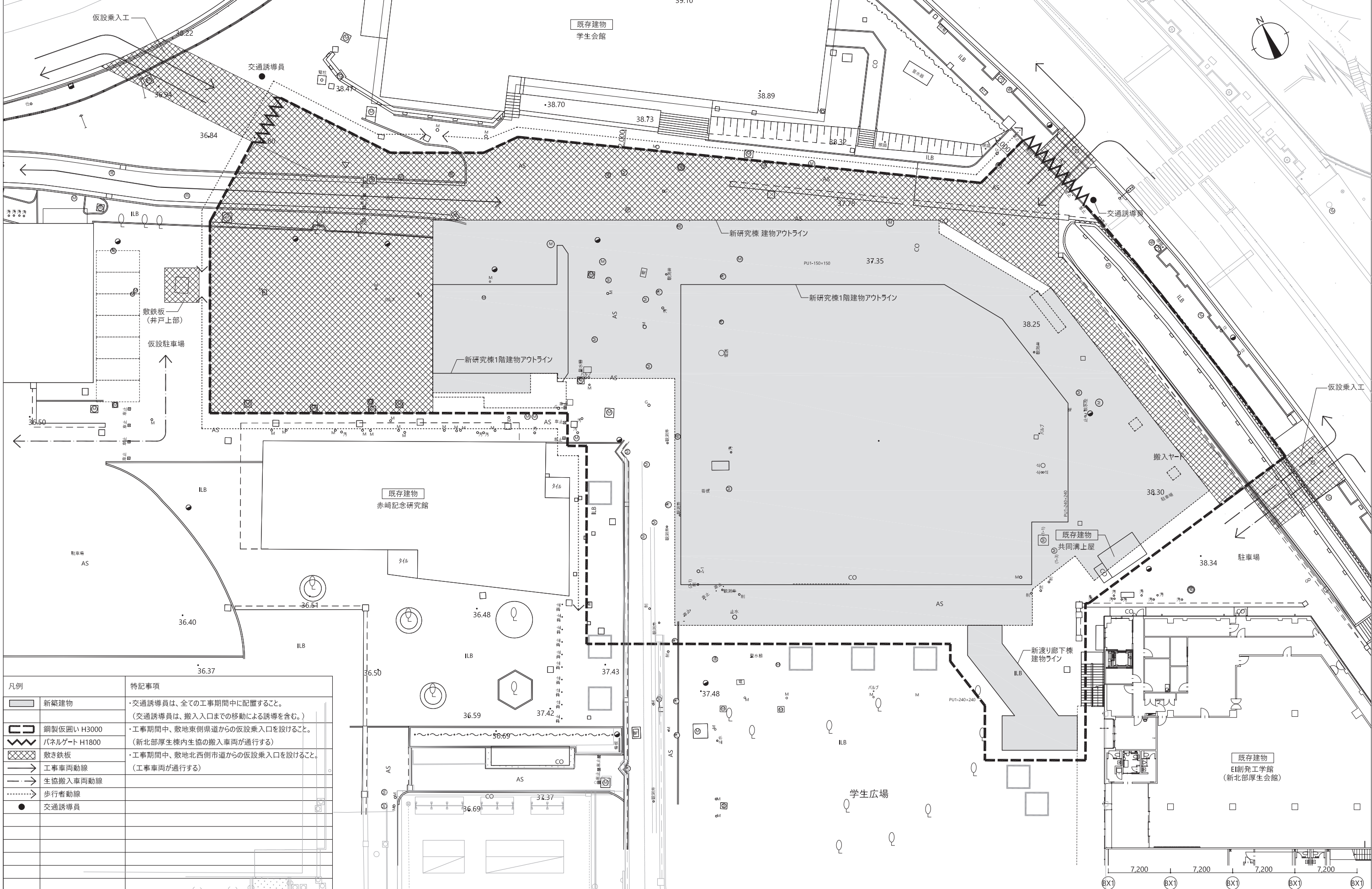
工事名 東海国立大学機構 (東山) LYKEION 研究棟 (仮称) 新営その他工事
 東海国立大学機構 施設統括部

図面名称 立面図3・断面図1
 縮尺 (A1) S=1/200
 (A3) S=1/400

図面番号
 A-021
 令和6年度

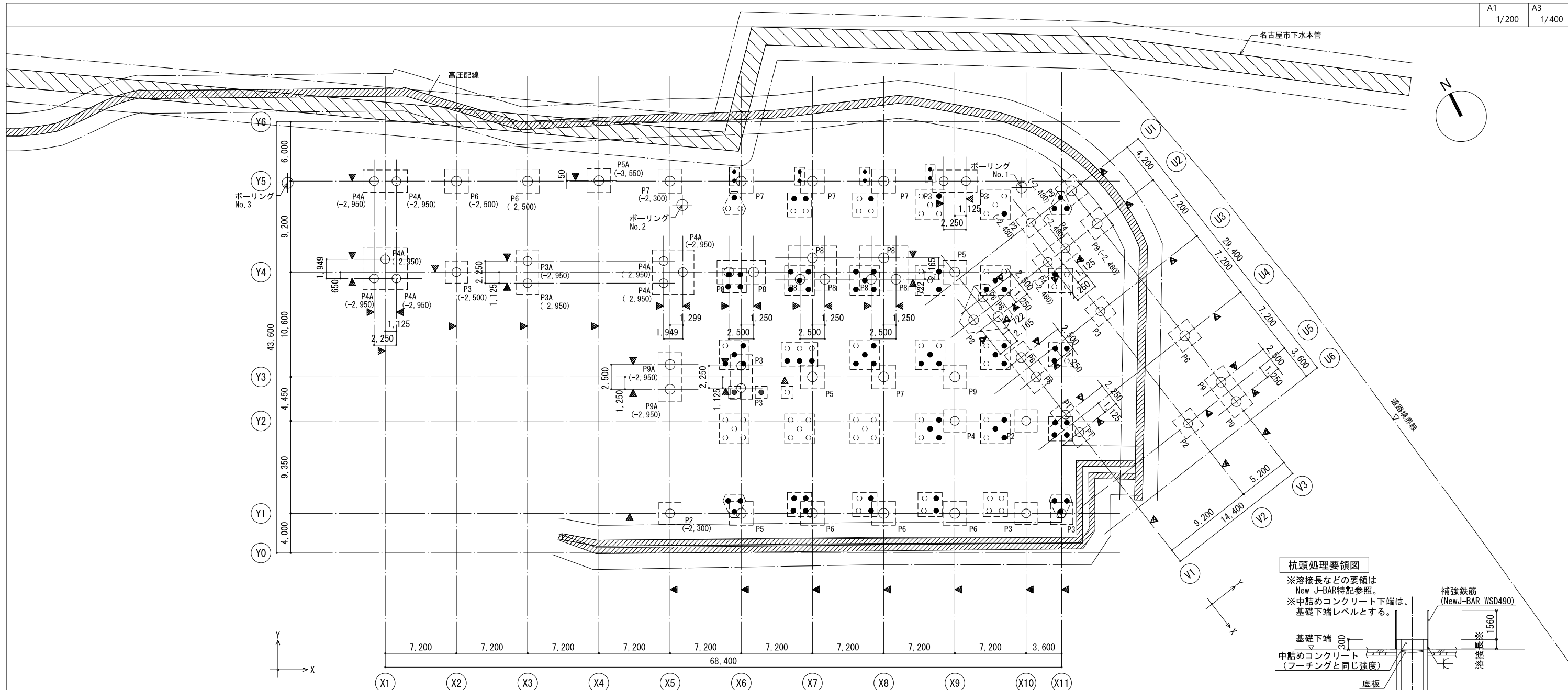


 <p>株式会社 山下設計 YAMASHITA SEKKEI INC. ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS</p>	資格/番号	記名	製図	PM	設計業務名	課長	工事名	図面名称	断面図2	図面番号
	代表 設計者	一級建築士 第280128号	小林 史	五木田						
担当 設計者	一級建築士 第336396号	伊藤 潤	設備設計一級建築士 第1881号	兼松 裕之	東海国立大学機構 施設統括部					



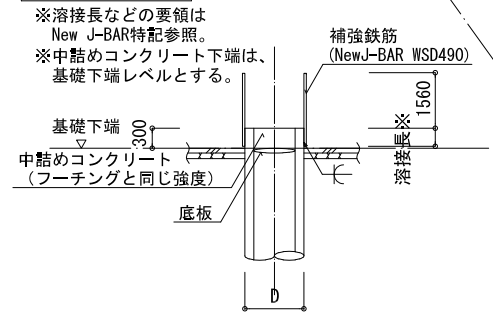
凡例	特記事項
	新築建物
	鋼製仮囲い H3000
	パネルゲート H1800
	敷き鉄板
	工事車両動線
	生協搬入車両動線
	歩行者動線
	交通誘導員

 株式会社 山下設計 YAMASHITA SEKKEI INC. ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS	代表 設計者 一級建築士 第280128号 小林 史	記名 一級建築士 第336396号 伊藤 潤	製図 PM 五木田 伊藤 設備設計一級建築士 第1881号 兼松 裕之	設計業務名 東海国立大学機構 (東山) グランドナレッジ研究棟 (仮称) 新宮その他設計業務	課長 東海国立大学機構 (東山) LYKEION 研究棟 (仮称) 新宮その他工事 東海国立大学機構 施設統括部	工事名 東海国立大学機構 (東山) LYKEION 研究棟 (仮称) 新宮その他工事	図面 名称 仮設計画図 (参考図)	図面番号 A-116 縮尺 (A1) S=1/200 (A3) S=1/400
	令和6年度							



杭伏図 A1:1/200 A3:1/400

杭頭処理要領図



※SC杭の鋼管材種：SKK490またはSTK490

杭符号	杭全長 (m)	上杭		中杭 1		中杭 2		下杭		本数	径比	設計掘削 径比比 es	長期許容支持力 (KN/本)	柱頭 補強鉄筋
		杭種	杭長 (m)	杭種	杭長 (m)	杭種	杭長 (m)	杭種	杭長 (m)					
P1	37.0	900φ-SC杭105 t=9	4.0	900φ-PHC杭105 A種	11.0	900φ-PHC杭105 A種	11.0	900-1100φ-PHC節杭105 A種	11.0	2本	1.5	-	5800	10-D41
P2	37.0	900φ-SC杭105 t=12	4.0	900φ-PHC杭105 B種	11.0	900φ-PHC杭105 B種	11.0	900-1100φ-PHC節杭105 B種	11.0	4本	1.5	-	5800	16-D41
P3	37.0	900φ-SC杭105 t=14	4.0	900φ-PHC杭105 C種	11.0	900φ-PHC杭105 C種	11.0	900-1100φ-PHC節杭105 C種	11.0	8本	1.5	-	5800	18-D41
P3A	36.0	900φ-SC杭105 t=14	4.0	900φ-PHC杭105 C種	10.0	900φ-PHC杭105 C種	11.0	900-1100φ-PHC節杭105 C種	11.0	2本	1.5	-	5800	18-D41
P4	37.0	900φ-SC杭105 t=16	4.0	900φ-PRC杭105 A種-D25	11.0	900φ-PHC杭105 C種	11.0	900-1100φ-PHC節杭105 C種	11.0	3本	1.5	-	5800	20-D41
P4A	36.0	900φ-SC杭105 t=16	4.0	900φ-PRC杭105 A種-D25	10.0	900φ-PHC杭105 C種	11.0	900-1100φ-PHC節杭105 C種	11.0	8本	1.5	-	5800	20-D41
P5	37.0	1000φ-SC杭105 t=9	4.0	1000φ-PHC杭105 A種	11.0	1000φ-PHC杭105 A種	11.0	1000-1200φ-PHC節杭105 A種	11.0	3本	1.6	-	7400	10-D41
P5A	36.0	1000φ-SC杭105 t=9	4.0	1000φ-PHC杭105 A種	10.0	1000φ-PHC杭105 A種	11.0	1000-1200φ-PHC節杭105 A種	11.0	1本	1.6	1.6	8500	10-D41
P6	37.0	1000φ-SC杭105 t=12	4.0	1000φ-PHC杭105 B種	11.0	1000φ-PHC杭105 B種	11.0	1000-1200φ-PHC節杭105 B種	11.0	6本	1.6	-	7400	18-D41
P7	37.0	1000φ-SC杭105 t=14	4.0	1000φ-PHC杭105 C種	11.0	1000φ-PHC杭105 C種	11.0	1000-1200φ-PHC節杭105 C種	11.0	5本	1.6	-	7400	20-D41
P8	37.0	1000φ-SC杭105 t=16	4.0	1000φ-PRC杭105 A種-D25	11.0	1000φ-PHC杭105 C種	11.0	1000-1200φ-PHC節杭105 C種	11.0	13本	1.6	-	7400	22-D41
P9	37.0	1000φ-SC杭105 t=16	4.0	1000φ-PRC杭105 A種-D25	11.0	1000φ-PRC杭105 A種-D25	11.0	1000-1200φ-PRC節杭105 A種-D25	11.0	5本	1.6	-	7400	23-D41
P9A	36.0	1000φ-SC杭105 t=16	4.0	1000φ-PRC杭105 A種-D25	10.0	1000φ-PRC杭105 A種-D25	11.0	1000-1200φ-PRC節杭105 A種-D25	11.0	2本	1.6	-	7400	23-D41
合計										62本				

杭工法：拡大根固め埋込み杭（砂質地盤） 認定番号：TACP-0586
（粘土質地盤）認定番号：TACP-5888

杭継手：トリプルプレートジョイント（T・P JOINT:接続プレート・嵌合方式無溶接継手） 評定番号：BCJ評定-FD 0183-08

共通事項（特記なき限り下記による）

- 設計GL=NP+37.5=1FL-100
- () 内数値は設計GLからの杭先端レベルを示し、特記なき限り設計GL-2.150(N.P.+35.35)とする。
- ⊙ はボーリング位置を示す。
- 杭頭補強工法：New J-BAR工法
- 杭芯ずれの水平許容値は±100mm、鉛直許容値は±50mmとし、超えた場合の処置は監理者と協議すること。
- 未撤去の既存杭と新設杭の外間距離が1m以下になる場合はオールケーシングを用いた杭施工を行うこと。
- 試験杭は最初の1本を本設杭と兼用とし、ボーリング調査位置の近傍で行うこと。
- 支持地盤はボーリングNo.2における設計GL-35.81m(N.P.+1.69)の固結シルト層以深とする。
- 点線は既存埋設躯体（参考表現とする）。また ● の杭は事前解体工事にて撤去済みの杭を示す。
- 杭の継手は無溶接（機械式）継手とする。
- 杭施工に際して、地下鉄近接工事に該当するため、影響ライン以深の杭支持や、地下鉄構造物に影響を与えない施工計画を立案すること。図面内容から変更が生じる場合は、監理者に確認すること。
- ▶ : 杭芯位置を示し、特記なき限り、柱芯=杭芯とする。

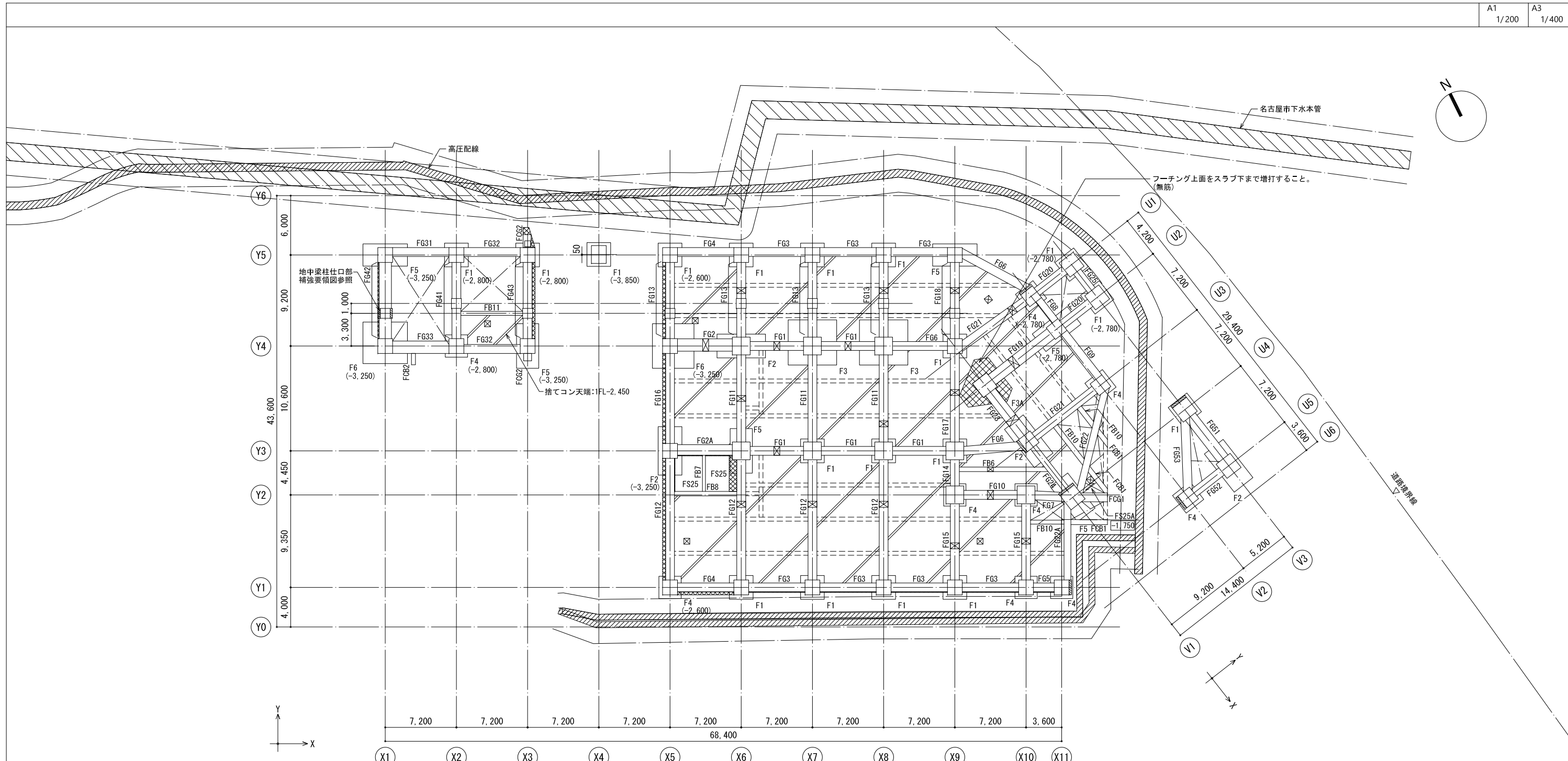


資格/番号	記名	製図	PM
一級建築士 第280128号	小林 史	藤井	伊藤
一級建築士 第311377号	國原 紀之	構造設計一級建築士 第8196号	國原 紀之

設計業務名
東海国立大学機構（東山）
グランドナレッジ研究棟（仮称）新営その他設計業務

課長
工事名 東海国立大学機構（東山）LYKEION 研究棟（仮称）新営その他工事
東海国立大学機構 施設統括部

図面名称	杭伏図	図面番号
縮尺 (A1) S=1/200 (A3) S=1/400		S-37

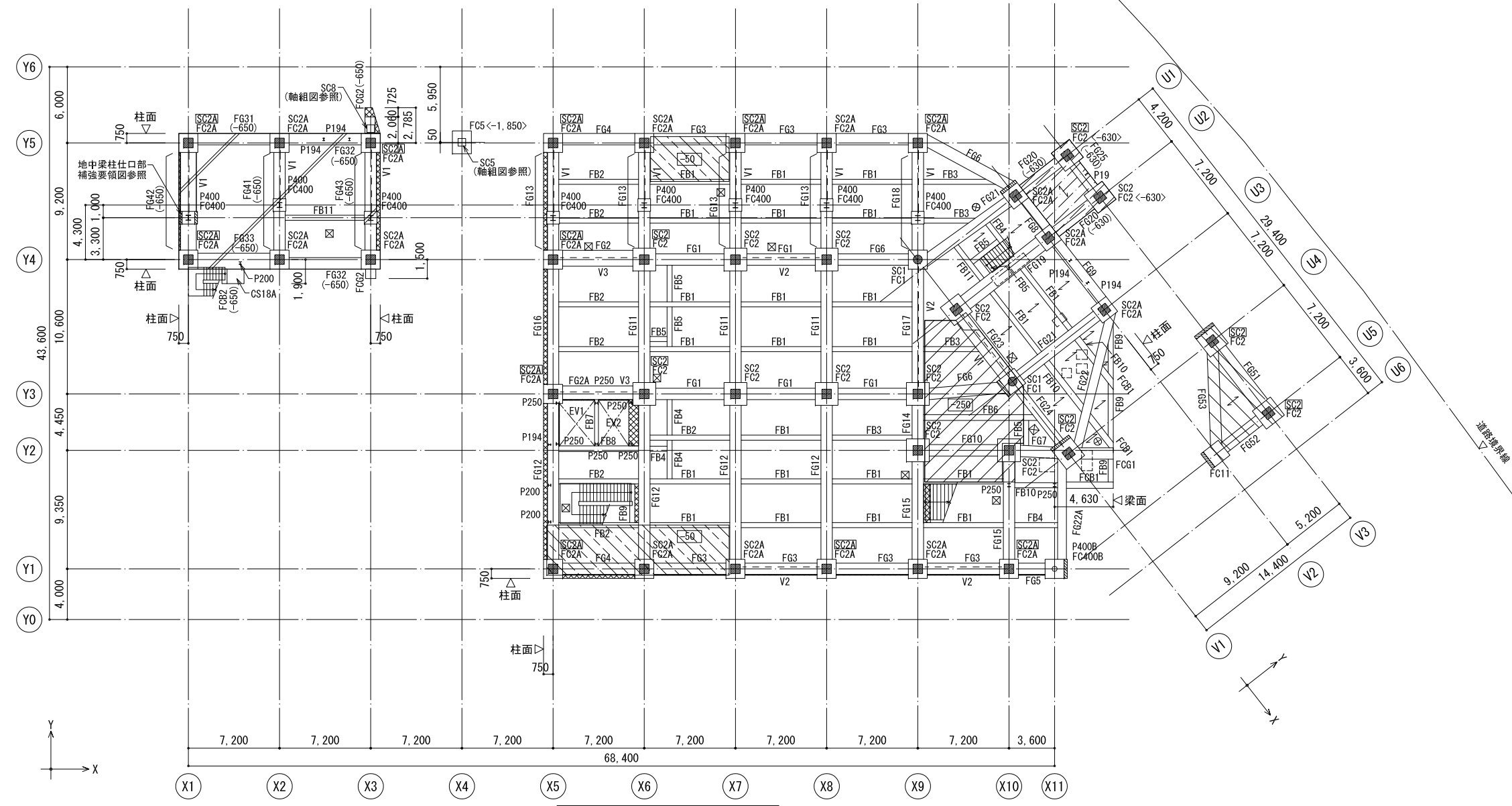
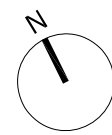


基礎及びピット伏図 A1:1/200 A3:1/400

共通事項 (特記なき限り下記による)

- () 内数値は設計GLからの基礎下端レベルを示し、特記なき限り設計GL-2.450とする。
- 一般耐圧版天端：設計GL-1.150
□ 内数値は、設計GLからのスラブ天端レベルを示す。
- スラブ主筋方向は ← で示す。
特記なきはX方向 (↔) とする。
- ⊗ は、増打コンクリートを示す。
- ⊗ は、地中梁柱仕口部補強要領を示す。
- ⊗ は、改良土による埋戻しを示す。
- ⊗ は、捨てコンピット部を示し、捨てコンt=50mmとする。(捨てコンピット天端:1FL-2.100)
- ⊗ は、釜場を示す。
- ⊗ は、人通孔(600φ)を示す。
- 一点鎖線は、地中埋設物から1mオフセットしたラインを示すので、土工事・山留め工事において参照すること。

<p>株式会社 山下設計 YAMASHITA SEKKEI INC. ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS</p>	<p>資格/番号 記名 製図 PM</p> <p>代表設計者 一級建築士 第280128号 小林 史 藤井 伊藤</p> <p>担当設計者 一級建築士 第311377号 園原 紀之 構造設計一級建築士 第8196号 園原 紀之</p>	<p>設計業務名</p> <p>東海国立大学機構 (東山) グランドナレッジ研究棟 (仮称) 新営その他設計業務</p>	<p>課長</p>	<p>工事名</p> <p>東海国立大学機構 (東山) LYKEION 研究棟 (仮称) 新営その他工事</p> <p>東海国立大学機構 施設統括部</p>	<p>図面名称</p> <p>基礎及びピット伏図</p> <p>縮尺 (A1) S=1/200 (A3) S=1/400</p>	<p>図面番号</p> <p>S-38</p> <p>令和6年度</p>
--	---	--	-----------	--	--	--------------------------------------



1階伏図 A1:1/200 A3:1/400

共通事項 (特記なき限り下記による)

1. 1FL=設計GL+100
2. スラブ符号: S18
3. 一般礎柱・梁天端: 1FL-300
4. 一般床版天端: 1FL-10
5. スラブ主力筋方向は \leftarrow で示す。
6. 特記なきはY方向 (\downarrow) とする。
7. () 内数値は、1FLからの梁天端レベルを示す。
8. 礎柱天端は接続する梁と同レベルとする。
9. < > 内数値は、1FLからの礎柱天端レベルを示す。
10. □ 内数値は、1FLからのスラブ天端レベルを示す。

10. 床レベル表示
 :FL-50
 :FL-100
 :FL-250
 :FL-450
11. は、増打コンクリートを示す。
12. は、地中梁柱仕口部補強要領を示す。
13. : 機械基礎を示す。
14. : マンホールを示す。
15. は、床開口を示す。
16. は、土間コンクリートを示す。(t=300、D13@200ダブルクロス)
 天端レベル: 1FL-360
 土間コンクリート下(t=1,000)地盤改良(添加量80kg/m³)

17. 柱はCFT柱を示す。
18. EV関係部材や開口補強等はEV図または意匠図参照。
19. 電気室のスラブは周辺の基礎梁と一体でコンクリート打設を行うこと。
20. 柱符号に □ が付く箇所については天井裏に溶接ピースを取り付けること。

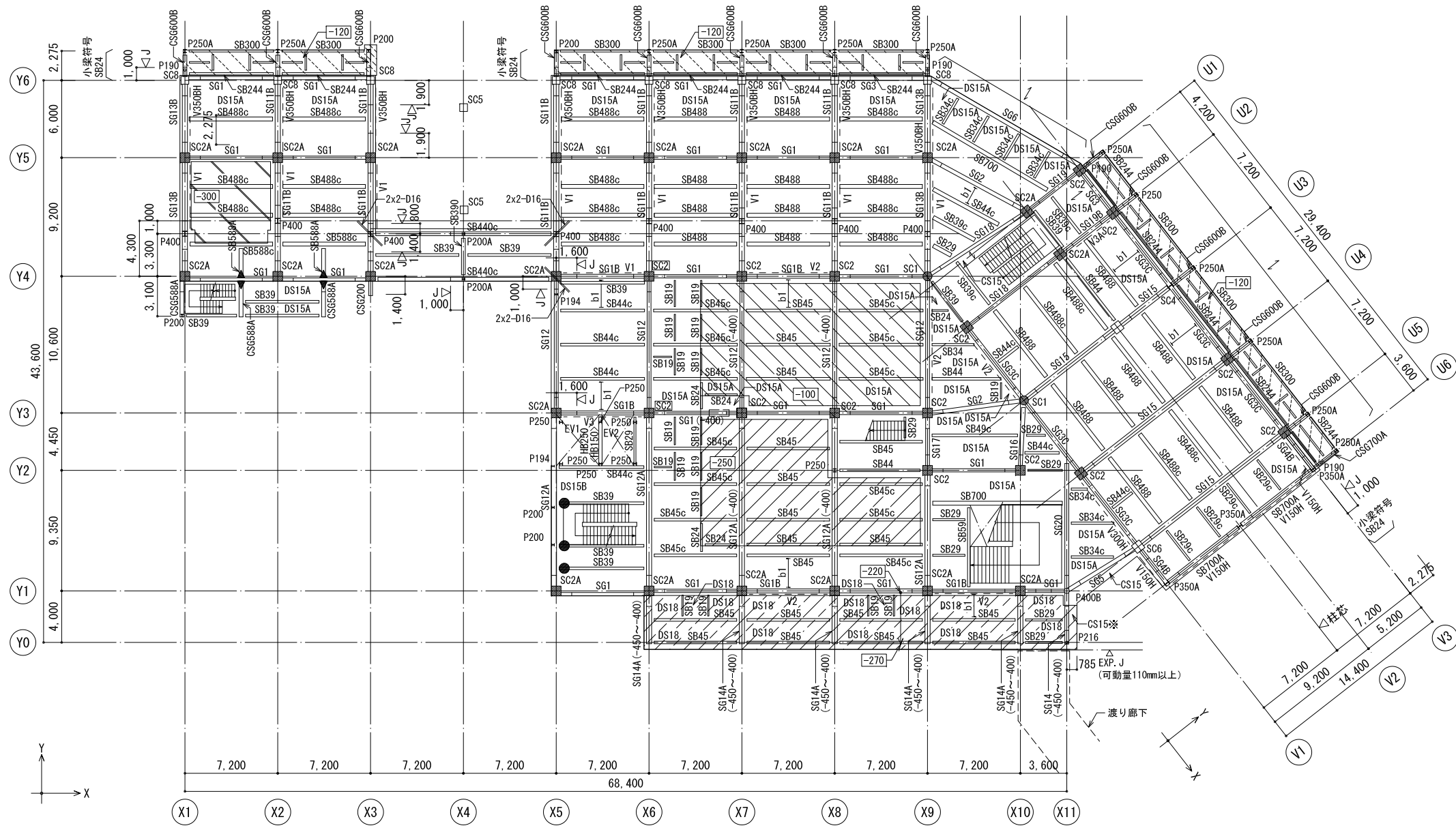
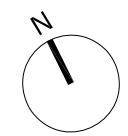


資格/番号	記名	製図	PM
代表設計者 一級建築士 第280128号	小林 史	藤井	伊藤
担当設計者 一級建築士 第311377号	園原 紀之	構造設計一級建築士 第8196号	園原 紀之

設計業務名
東海国立大学機構 (東山)
グランドナレッジ研究棟 (仮称) 新営その他設計業務

課長
工事名 東海国立大学機構 (東山) LYKEION 研究棟 (仮称) 新営その他工事
東海国立大学機構 施設統括部

図面名称	1階伏図	図面番号	S-39
縮尺	(A1) S=1/200 (A3) S=1/400	図面番号	令和6年度



2階伏図 A1:1/200 A3:1/400

共通事項 (特記なき限り下記による)

- スラブ符号: DS15
- 一般梁天端: 2FL-160
- 一般床版天端: 2FL-10
- スラブ主力筋方向は \swarrow で示す。
特記なきはY方向 (\swarrow) とする。
- () 内数値は、2FLからの梁天端レベルを示す。
- 内数値は、2FLからのスラブ天端レベルを示す。

- 床レベル表示

	:FL-100		:FL-250		:FL-300
	:図示とする。				
- 鉄骨表示

	ピン接合を示す
	剛接合を示す
- : 有孔鋼板床範囲を示し、レベルはFL-120とする。

- 柱はCFT柱を示す。
- 部分には、方材材を設ける。
- 特記なき小梁は取り付くスラブの内、最も低いレベルのスラブ下端を小梁天端とする。
- 上図にない中段ビーム梁符号は、軸組図参照。
< > 梁符号: 中段ビームとする。
- Joint位置は柱芯・梁芯から1,200とする。
ジョイントが干渉する場合は監理者に確認すること。
- J▷ : 梁継手位置を示す。
- 外周部の大梁外側のスラブ (寸出600mm以下) は接するスラブと同じ符号、同じ主力筋方向とする。

- [-]: 機械基礎を示す。
- 外周の立ち上がり壁 (パラペット含む) は、建築図による。
- EV関係部材や開口補強等はEV図または意匠図参照。
- EVシャフト内レール支持柱等は、EV詳細図による。(建築工事)
- ※付スラブは主筋と配筋の組方で上下を逆にする。
- 柱符号に □ が付く箇所については天井裏に溶接ピースを取り付けること。
- 以下の表に示す通りの片持ち架構については、長期たわみをキャンセルするキャンパーを配置の上、建て方すること。適用する階は、2~RFLとする。

通り名	X1	X2	X3	X5	X6	X7	X8	X9
Y6-2,275	10	15	9	17	15	14	12	6
Y6	7	11	6	12	12	11	9	4

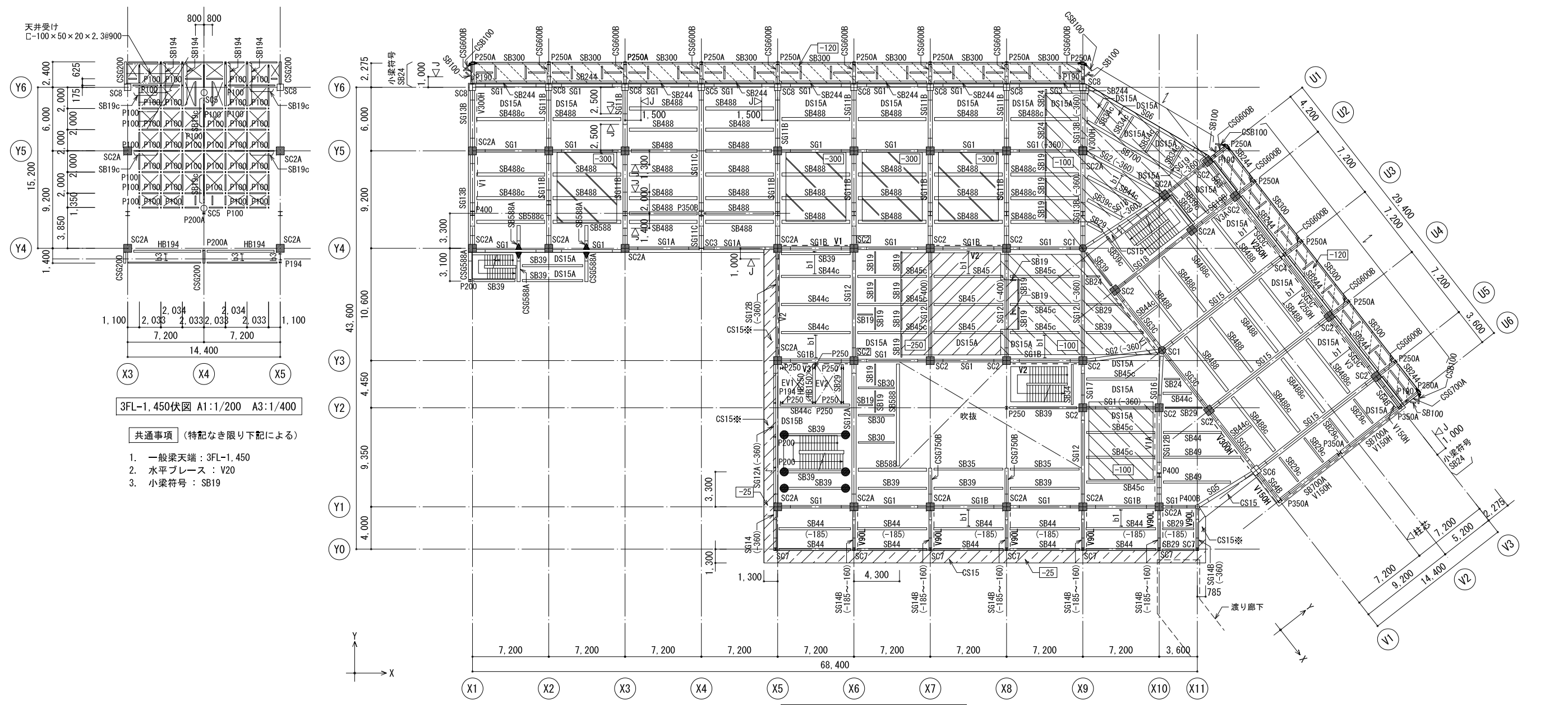
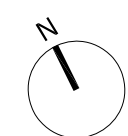


資格/番号	記名	製図	PM
一級建築士 第280128号	小林 史	藤井	伊藤
一級建築士 第311377号	國原 紀之	構造設計一級建築士 第8196号	國原 紀之

設計業務名
東海国立大学機構 (東山)
グランドナレッジ研究棟 (仮称) 新営その他設計業務

課長
工事名 東海国立大学機構 (東山) LYKEION 研究棟 (仮称) 新営その他工事
東海国立大学機構 施設統括部

図面名称	2階伏図	図面番号	S-40
縮尺	(A1) S=1/200 (A3) S=1/400	図面年度	令和6年度



- 3FL-1,450伏図 A1:1/200 A3:1/400**
- 共通事項 (特記なき限り下記による)**
- 一般梁天端: 3FL-1,450
 - 水平ブレース: V20
 - 小梁符号: SB19

3階伏図 A1:1/200 A3:1/400

共通事項 (特記なき限り下記による)

- | | | | |
|---|---|---|--|
| <ol style="list-style-type: none"> スラブ符号: DS15 一般梁天端: 3FL-160 一般床版天端: 3FL-10 スラブ主力筋方向は ← で示す。
特記なきはV方向 (↓) とする。 () 内数値は、3FLからの梁天端レベルを示す。 □ 内数値は、3FLからのスラブ天端レベルを示す。 | <ol style="list-style-type: none"> 床レベル表示
 鉄骨表示
 有孔鋼板床範囲を示し、レベルはFL-120とする。 | <ol style="list-style-type: none"> 柱はCFT柱を示す。 部分には、方杖材を設ける。 特記なき小梁は取り付くスラブの内、最も低いレベルのスラブ下端を小梁天端とする。 上図にない中段ビーム梁符号は、軸組図参照。
< > 梁符号: 中段ビームとする。 Joint位置は柱芯・梁芯から1,200とする。
ジョイントが干渉する場合は監理者に確認すること。 J▷ : 梁継手位置を示す。 | <ol style="list-style-type: none"> 外部部の大梁外側のスラブ (出寸法600mm以下) は接するスラブと同じ符号、同じ主力筋方向とする。 □: 機械基礎を示す。 外周の立ち上がり壁 (バラベツ含む) は、建築図による。 EVシャフト内レール支持柱等は、EV群細図による。(建築工事) EV関係部材や開口補強等はEV図または意匠図参照。 ※付スラブは主筋と配力筋の組方で上下を逆にする。 柱符号に □ が付く箇所については天井裏に溶接ビースを取り付けること。 |
|---|---|---|--|

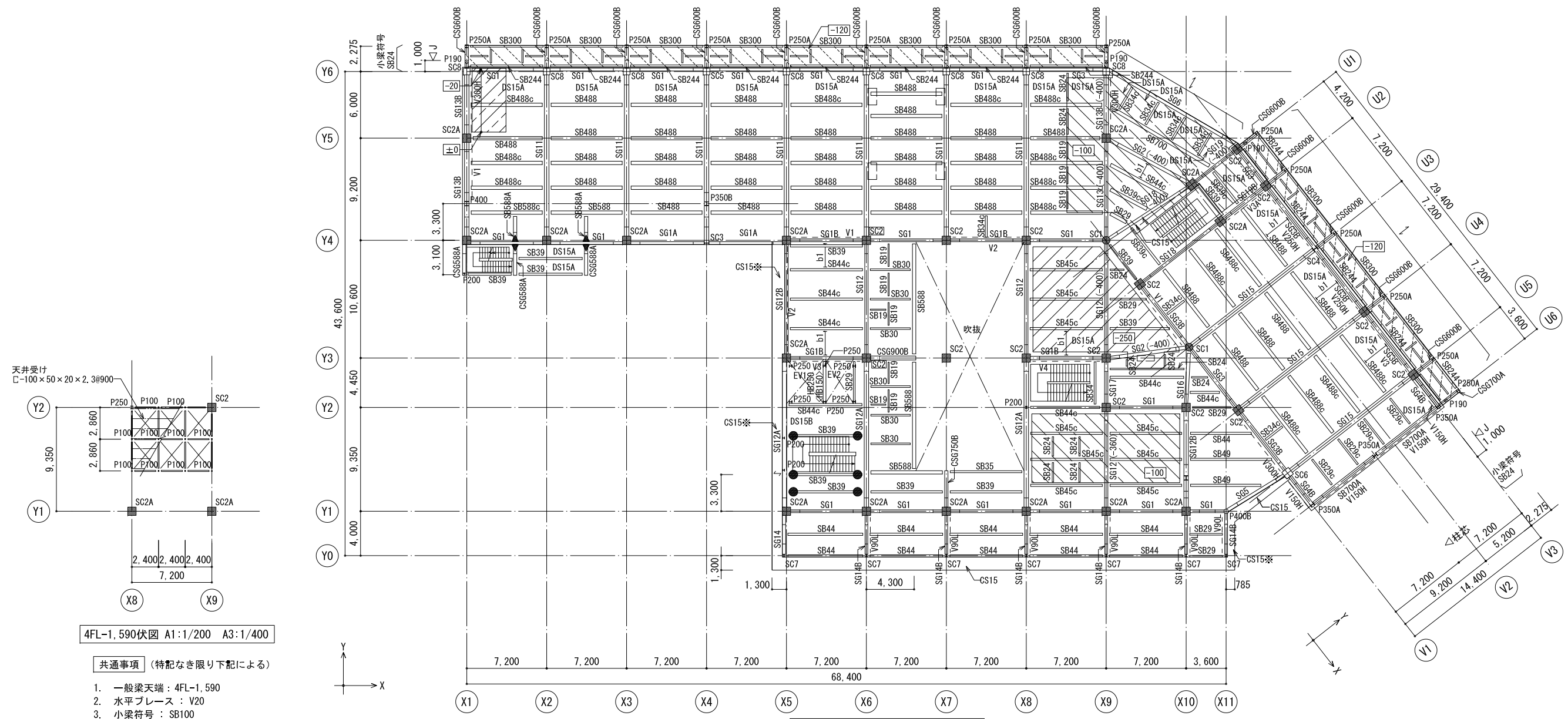
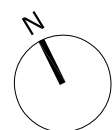


資格/番号	記名	製図	PM
代表設計者 一級建築士 第280128号	小林 史	藤井	伊藤
担当設計者 一級建築士 第311377号	園原 紀之	構造設計一級建築士 第8196号	園原 紀之

設計業務名
東海国立大学機構 (東山)
グランドナレッジ研究棟 (仮称) 新営その他設計業務

課長
東海国立大学機構 (東山) LYKEION 研究棟 (仮称) 新営その他工事
東海国立大学機構 施設統括部

図面名称	3階伏図	図面番号	S-41
縮尺	(A1) S=1/200 (A3) S=1/400	図面年度	令和6年度



4FL-1,590伏図 A1:1/200 A3:1/400

共通事項 (特記なき限り下記による)

1. 一般梁天端: 4FL-1,590
2. 水平ブレース: V20
3. 小梁符号: SB100

4階伏図 A1:1/200 A3:1/400

共通事項 (特記なき限り下記による)

1. スラブ符号: DS15
2. 一般梁天端: 4FL-160
3. 一般床版天端: 4FL-10
4. スラブ主力筋方向は、 \leftarrow で示す。
特記なきはY方向(↓)とする。
5. ()内数値は、4FLからの梁天端レベルを示す。
6. □内数値は、4FLからのスラブ天端レベルを示す。

7. 床レベル表示
 :FL-100
 :FL-250
 :図示とする。
8. 鉄骨表示
 :ピン接合を示す
 :剛接合を示す
9. :有孔鋼板床範囲を示し、レベルはFL-120とする。

10. 柱はCFT柱を示す。
11. 部分には、方杖材を敷ける。
12. 特記なき小梁は取り付くスラブの内、最も低いレベルのスラブ下端を小梁天端とする。
13. 上図にない中段ビーム梁符号は、軸組図参照。
< >梁符号: 中段ビームとする。
14. Joint位置は柱芯・梁芯から1,200とする。
ジョイントが干渉する場合は監理者に確認すること。
15. J▷ : 梁継手位置を示す。

16. 外周部の大梁外側のスラブ(出寸法600mm以下)は接するスラブと同じ符号、同じ主力筋方向とする。
17. □: 機械基礎を示す。
18. 外周の立ち上がり壁(バラベツ含む)は、建築図による。
19. EV関係部材や開口補強等はEV図または意匠図参照。
20. EVシャフト内レール支持柱等は、EV詳細図による。(建築工事)
21. ※付スラブは主筋と配力筋の組方で上下を逆にする。
22. 柱符号に□が付く箇所については天井裏に溶接ピースを取り付けること。

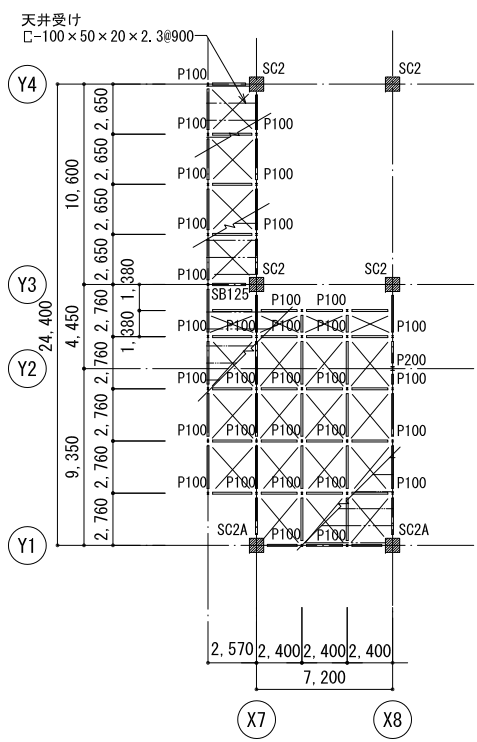


代表設計者	資格/番号	記名	製図	PM
担当設計者				

設計業務名
東海国立大学機構(東山) グランドナレッジ研究棟(仮称)新営その他設計業務

課長
東海国立大学機構 施設統括部

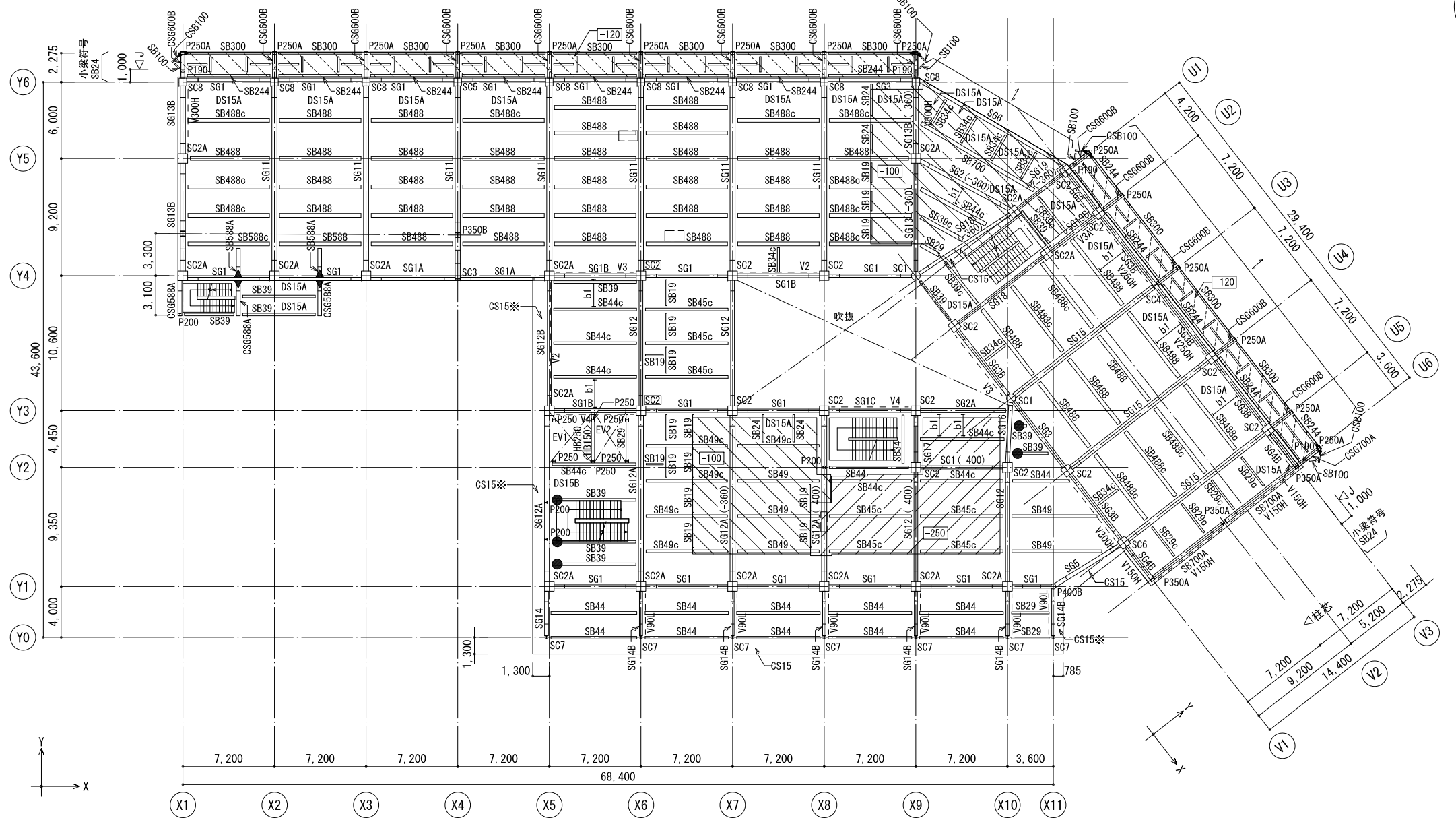
図面名称	4階伏図	図面番号	S-42
縮尺	(A1) S=1/200 (A3) S=1/400	図面番号	令和6年度



5FL-1,590伏図 A1:1/200 A3:1/400

共通事項 (特記なき限り下記による)

1. 一般梁天端 : 5FL-1,590
2. 水平ブレース : V20
3. 小梁符号 : SB100



5階伏図 A1:1/200 A3:1/400

共通事項 (特記なき限り下記による)

1. スラブ符号 : DS15
2. 一般梁天端 : 5FL-160
3. 一般床版天端 : 5FL-10
4. スラブ主力筋方向は \swarrow で示す。特記なきはY方向 (\searrow) とする。
5. () 内数値は、5FLからの梁天端レベルを示す。
6. □ 内数値は、5FLからのスラブ天端レベルを示す。

7. 床レベル表示
 : FL-100 : FL-250
8. 鉄骨表示
 : ピン接合を示す
 : 剛接合を示す
9. : 有孔鋼板床版範囲を示し、レベルはFL-120とする。

10. ● 部分には、方杖材を設ける。
11. 特記なき小梁は取り付くスラブの内、最も低いレベルのスラブ下端を小梁天端とする。
12. 上図にない中段ビーム梁符号は、軸組図参照。
< > 梁符号 : 中段ビームとする。
13. Joint位置は柱芯・梁芯から1,200とする。ジョイントが干渉する場合は監理者に確認すること。
14. J▷ : 梁継手位置を示す。
15. 外周部の大梁外側のスラブ (寸法600mm以下) は接するスラブと同じ符号、同じ主力筋方向とする。

16. □ : 機械基礎を示す。
17. 外周の立ち上がり壁 (バラベツ含む) は、建築図による。
18. EV関係部材や開口補強等はEV図または意匠図参照。
19. EVシャフト内レール支持柱等は、EV詳細図による。(建築工事)
20. ※付スラブは主筋と配力筋の組方で上下を逆にする。
21. 柱符号に □ が付く箇所については天井裏に溶接ピースを取り付けること。

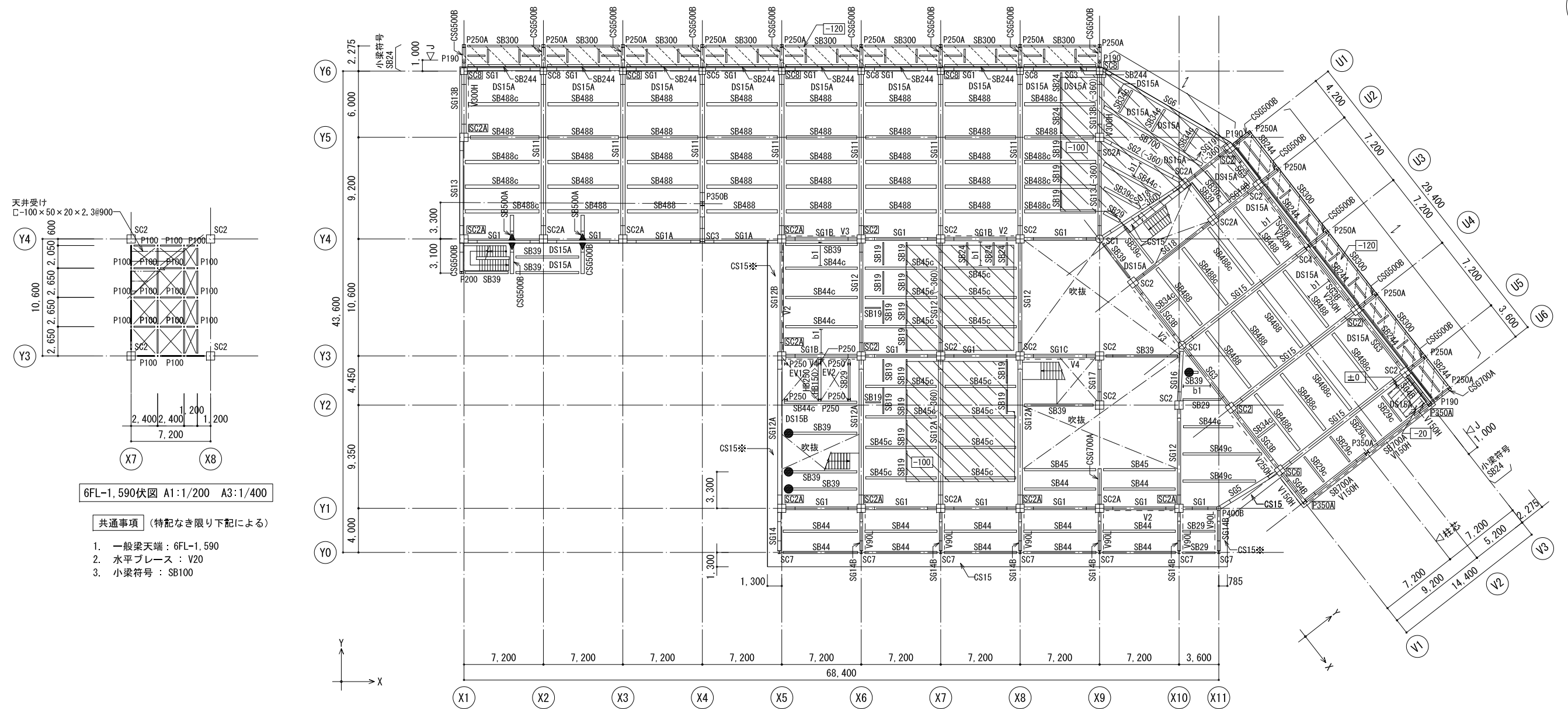
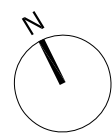


資格/番号	記名	製図	PM
代表設計者 一級建築士 第280128号	小林 史	藤井	伊藤
担当設計者 一級建築士 第311377号	園原 紀之	構造設計一級建築士 第8196号	園原 紀之

設計業務名
東海国立大学機構 (東山)
グランドナレッジ研究棟 (仮称) 新営その他設計業務

課長
東海国立大学機構 (東山) LYKEION 研究棟 (仮称) 新営その他工事
東海国立大学機構 施設統括部

図面名称	5階伏図	図面番号	S-43
縮尺	(A1) S=1/200 (A3) S=1/400	図面番号	令和6年度



6FL-1,590伏図 A1:1/200 A3:1/400

- 共通事項 (特記なき限り下記による)
1. 一般梁天端 : 6FL-1,590
 2. 水平ブレース : V20
 3. 小梁符号 : SB100

6階伏図 A1:1/200 A3:1/400

共通事項 (特記なき限り下記による)

1. スラブ符号 : DS15
2. 一般梁天端 : 6FL-160
3. 一般床版天端 : 6FL-10
4. スラブ主力筋方向は ← で示す。
特記なきはY方向 (↓) とする。
5. () 内数値は、6FLからの梁天端レベルを示す。
6. □ 内数値は、6FLからのスラブ天端レベルを示す。

7. 床レベル表示
 : FL-100 : 図示とする。
8. 鉄骨表示
 : ピン接合を示す
 : 剛接合を示す
9. : 有孔鋼板床版範囲を示し、レベルはFL-120とする。

10. ● 部分には、方杖材を設ける。
11. 特記なき小梁は取り付くスラブの内、最も低いレベルのスラブ下端を小梁天端とする。
12. 上図にない中段ビーム梁符号は、軸組図参照。
< > 梁符号 : 中段ビームとする。
13. Joint位置は柱芯・梁芯から1,200とする。
ジョイントが干渉する場合は監理者に確認すること。
14. J▷ : 梁継手位置を示す。
15. 外周部の大梁外側のスラブ (出寸法600mm以下) は接するスラブと同じ符号、同じ主力筋方向とする。

16. [] : 機械基礎を示す。
17. 外周の立ち上がり壁 (バラベットの含む) は、建築図による。
18. EV関係部材や開口補強等はEV図または意匠図参照。
19. EVシャフト内レール支持柱等は、EV詳細図による。(建築工事)
20. ※付スラブは主筋と配筋の組方で上下を逆にする。
21. 柱符号に □ が付く箇所については天井裏に溶接ピースを取り付けること。



資格/番号	記名	製図	PM
一級建築士 第280128号	小林 史	藤井	伊藤
担当設計者	一級建築士 第311377号	構造設計一級建築士 第8196号	一級建築士 第311377号
代表設計者	一級建築士 第280128号	構造設計一級建築士 第8196号	一級建築士 第311377号

設計業務名
東海国立大学機構 (東山)
グランドナレッジ研究棟 (仮称) 新営その他設計業務

課長

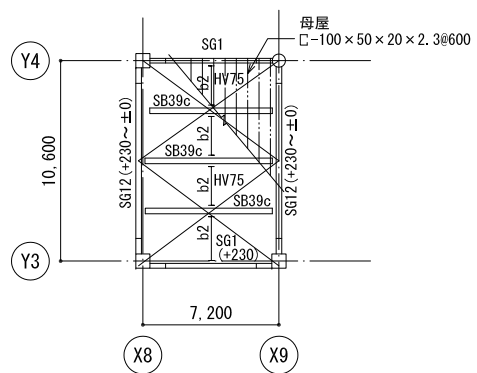
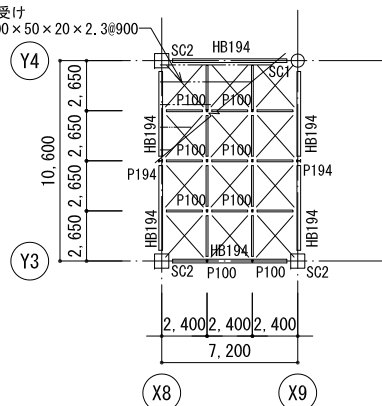
工事名
東海国立大学機構 (東山) LYKEION 研究棟 (仮称) 新営その他工事
東海国立大学機構 施設統括部

図面名称	6階伏図	図面番号	S-44
縮尺	(A1) S=1/200 (A3) S=1/400	令和6年度	

PHRFL-635伏図 A1:1/200 A3:1/400

共通事項 (特記なき限り下記による)

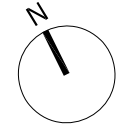
1. 一般梁天端: PHRFL-635
2. 水平ブレース: V20
3. 小梁符号: SB100



PHF階伏図 A1:1/200 A3:1/400

共通事項 (特記なき限り下記による)

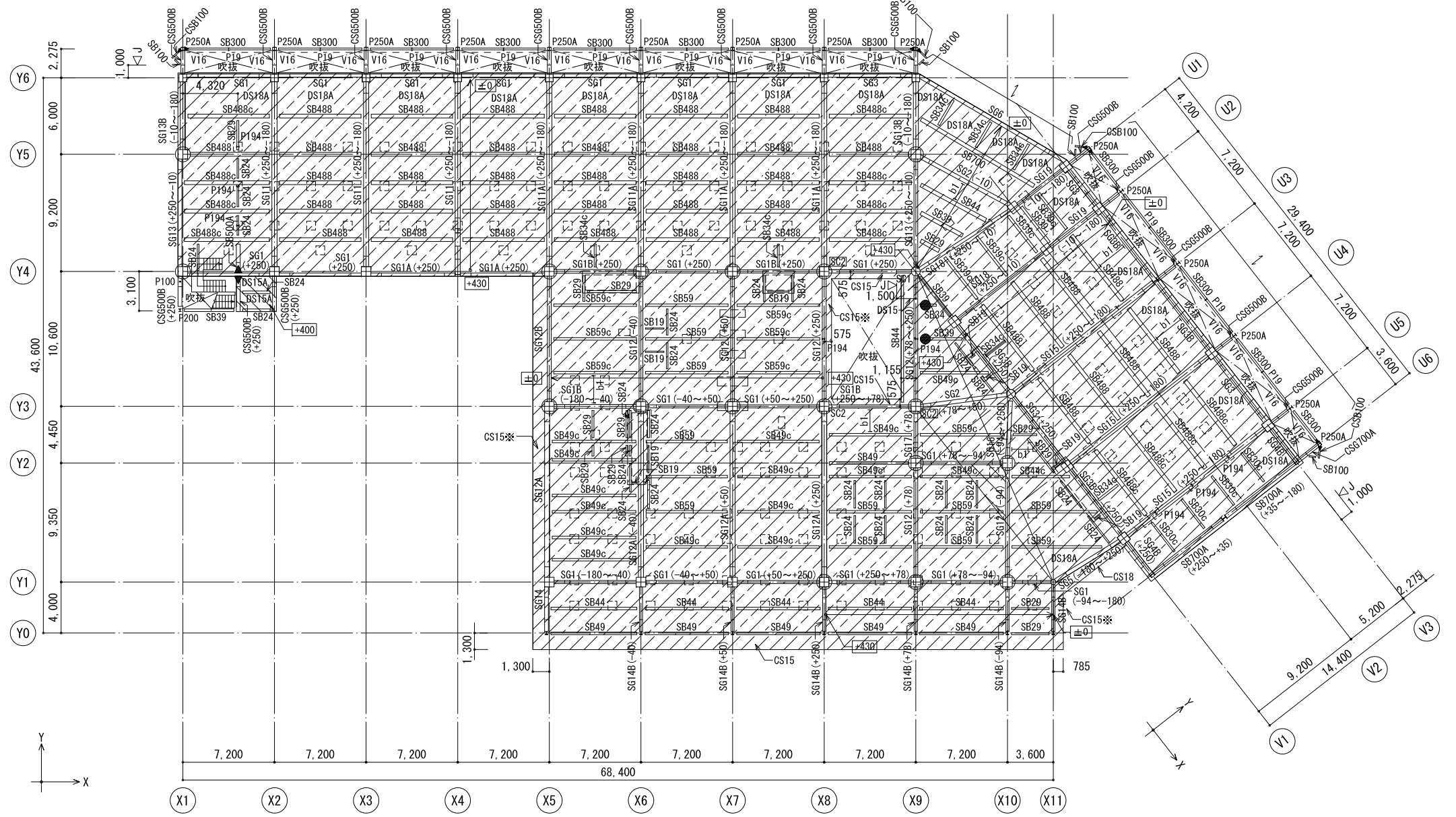
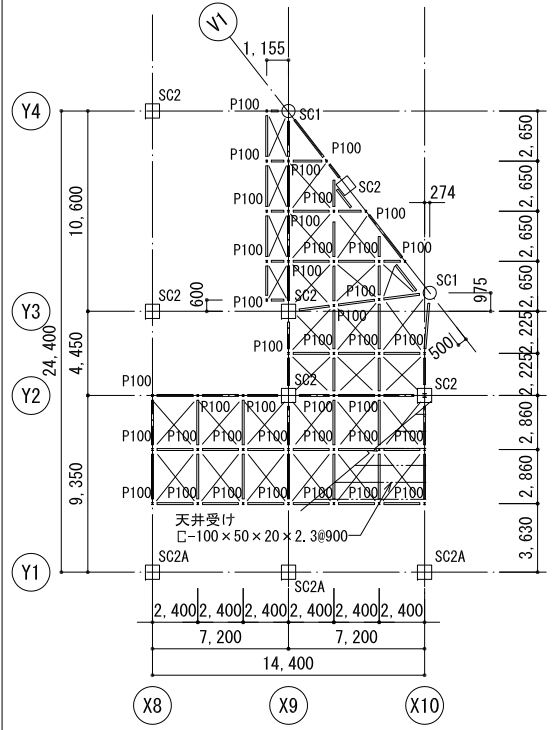
1. 一般梁天端: 勾配なりとする。
2. 内数値は、PHRFLからのスラブ天端レベルを示す。
3. は、屋根勾配を示す。
4. 鉄骨表示
 - : ピン接合を示す
 - : 剛接合を示す
5. Joint位置は柱芯・梁芯から1,200とする。
6. J▷ : 梁継手位置を示す。
7. ⊠ : 水平ブレースを示す。
8. 水平ブレースは原則上フランジ天端-100とする。
9. EV関係部材や開口補強等はEV図または意匠図参照。



RFL-1,590伏図 A1:1/200 A3:1/400

共通事項 (特記なき限り下記による)

1. 一般梁天端: RFL-1,590
2. 水平ブレース: V20
3. 小梁符号: SB100



R階伏図 A1:1/200 A3:1/400

共通事項 (特記なき限り下記による)

1. スラブ符号: DS18
2. 一般梁天端: RSL-180
3. 一般床版天端: 屋根勾配による。
4. スラブ主力筋方向は ↖ で示す。特記なきはY方向 (↓) とする。
5. () 内数値は、RFLからの梁天端レベルを示す。
6. □ 内数値は、RFLからのスラブ天端レベルを示す。
7. 床レベル表示
 - ▨ : FL±0
 - ▨ : FL+400
 - ▨ : 図示とする。
8. 鉄骨表示
 - : ピン接合を示す
 - : 剛接合を示す
9. ○ 印は、柱仕口範囲を口-750x750x28 (BCP325) とする。
10. ● 部分には、方木材を敷ける。
11. 特記なき小梁は取り付くスラブの内、最も低いレベルのスラブ下端を小梁天端とする。
12. 上図にない中段ビーム梁符号は、軸組図参照。< > 梁符号: 中段ビームとする。
13. Joint位置は柱芯・梁芯から1,200とする。ジョイントが干渉する場合は監理者に確認すること。
14. J▷ : 梁継手位置を示す。
15. 外周部の大梁外側のスラブ (出寸法600mm以下) は接するスラブと同じ符号、同じ主力筋方向とする。
16. □ : 機械基礎を示す。
17. 外周の立ち上がり壁 (バラベツ含む) は、建築図による。
18. EV関係部材や開口補強等はEV図または意匠図参照。
19. EVシャフト内レール支持柱等は、EV詳細図による。(建築工事)
20. ※付スラブは主筋と配力筋の組方で上下を逆にする。
21. 柱符号に □ が付く箇所については天井裏に溶接ブレースを取り付けること。

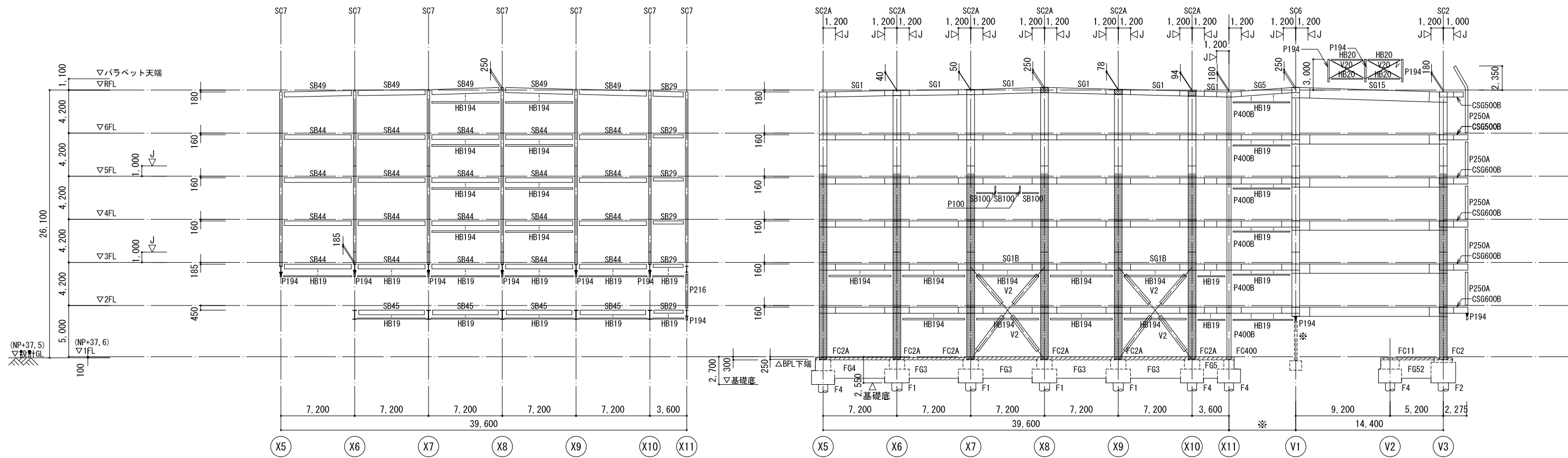


資格/番号	記名	製図	PM
代表設計者 一級建築士 第280128号	小林 史	藤井	伊藤
担当設計者 一級建築士 第311377号	園原 紀之	構造設計一級建築士 第8196号	園原 紀之

設計業務名
東海国立大学機構 (東山)
グランドナレッジ研究棟 (仮称) 新営その他設計業務

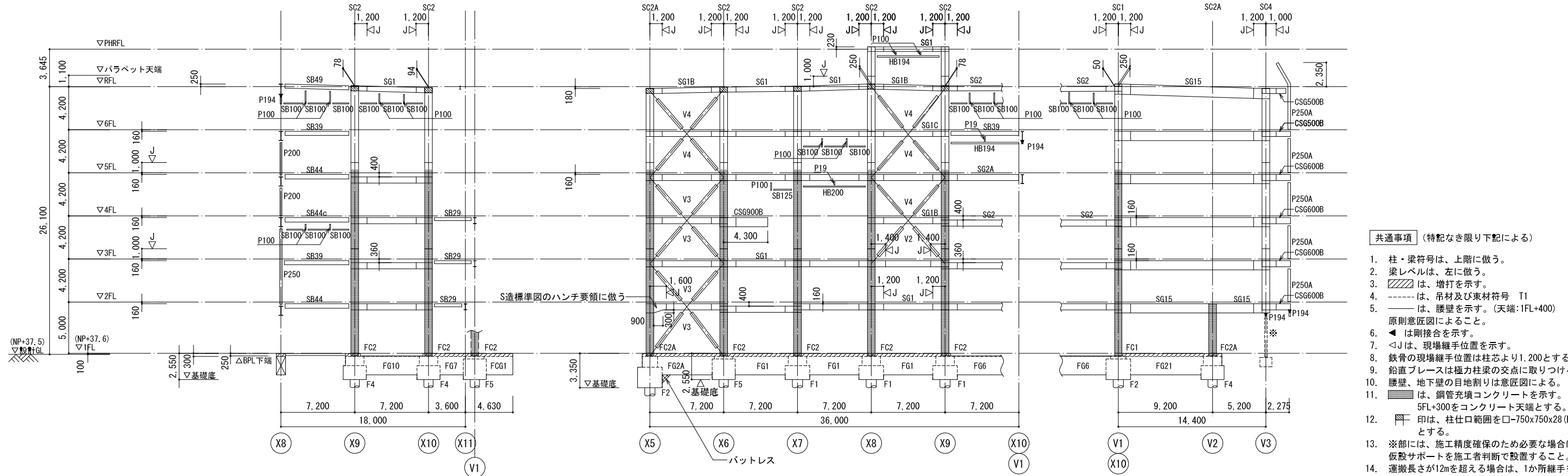
課長
工務名
東海国立大学機構 (東山) LYKEION 研究棟 (仮称) 新営その他工事
東海国立大学機構 施設統括部

図面番号	図面名称	縮尺	図面番号
S-45	R階伏図	(A1) S=1/200 (A3) S=1/400	令和6年度



Y0通り軸組図 A1:1/200 A3:1/400

Y1~U5通り軸組図 A1:1/200 A3:1/400



Y2通り軸組図 A1:1/200 A3:1/400

Y3通り軸組図 A1:1/200 A3:1/400

U3通り軸組図 A1:1/200 A3:1/400

- 共通事項 (特記なき限り下記による)
- 柱・梁符号は、上階に倣う。
 - 梁レベルは、左に倣う。
 - 斜線は、増打を示す。
 - は、吊材及び束材符号 T1
 - は、腰壁を示す。(天端:1FL+400)
原則意匠図によること。
 - ◁Jは剛接合を示す。
 - △は現場継手位置を示す。
 - 鉄骨の現場継手位置は柱芯より1,200とする。
 - 鉛直ブレースは極力柱梁の交点に取りつける。
 - 腰壁、地下壁の目地割りは意匠図による。
 - は、鋼管充填コンクリートを示す。
5FL+300をコンクリート天端とする。
 - 印は、柱仕口範囲を口-750x750x28 (BCP325)とする。
 - ※部には、施工精度確保のため必要な場合に、仮設サポートを施工者判断で設置すること。
運搬長さが12mを超える場合は、1か所継手を設けることとし、現場で地組み (フランジ・ウェブ共にHTB接合) した後、建方すること。

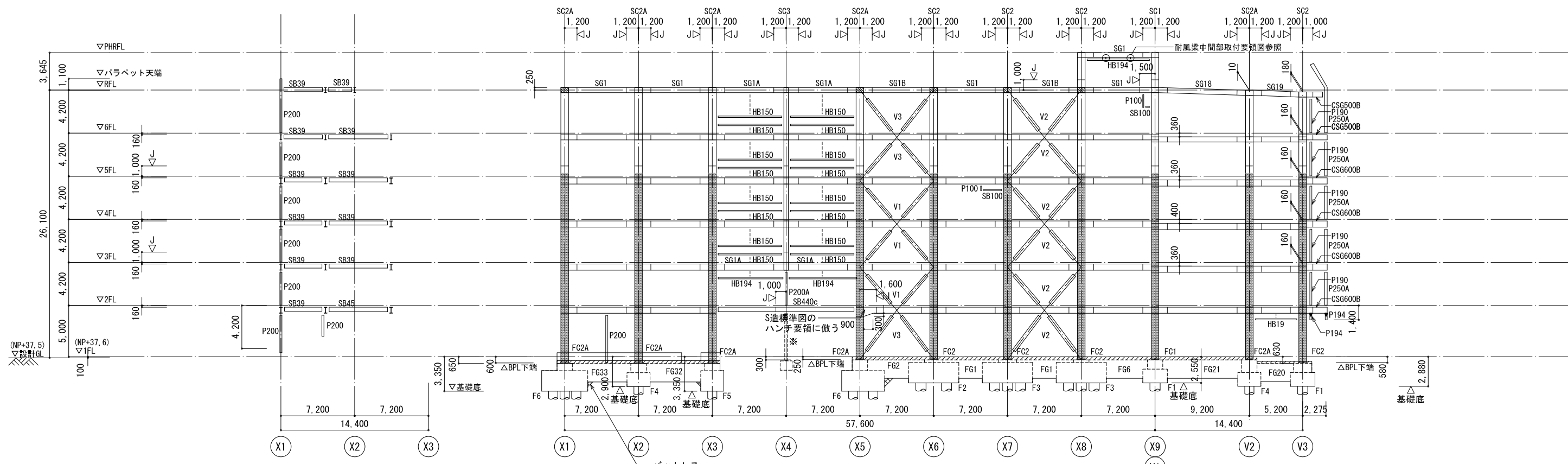


資格/番号	記名	製図	PM
一級建築士 第280128号	小林 史	藤井	伊藤
一級建築士 第311377号	國原 紀之	構造設計一級建築士 第8196号	國原 紀之

設計業務名
東海国立大学機構 (東山)
グランドナレッジ研究棟 (仮称) 新営その他設計業務

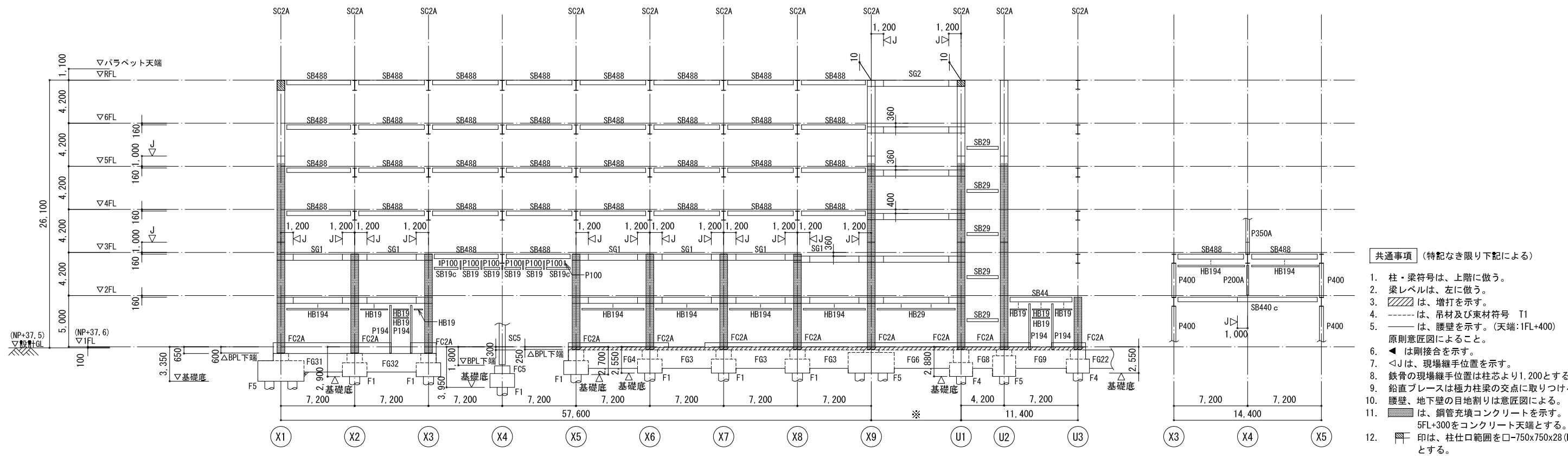
課長
工事名 東海国立大学機構 (東山) LYKEION 研究棟 (仮称) 新営その他工事
東海国立大学機構 施設統括部

図面番号	軸組図 (1)	図面番号	S-46
縮尺 (A1)	S=1/200	図面番号	令和6年度
縮尺 (A3)	S=1/400		



Y4-3, 100通り軸組図 A1:1/200 A3:1/400

Y4-U1通り軸組図 A1:1/200 A3:1/400
(注意事項)※X9-Y4とV1-U1は同一交点にない。



Y5-V2通り軸組図 A1:1/200 A3:1/400

Y4+3, 300通り軸組図 A1:1/200 A3:1/400

- 共通事項** (特記なき限り下記による)
- 柱・梁符号は、上階に倣う。
 - 梁レベルは、左に倣う。
 - //// は、増打を示す。
 - は、吊材及び束材符号 T1
 - は、腰壁を示す。(天端:1FL+400) 原則意匠図によること。
 - ◀ は剛接合を示す。
 - <Jは、現場継手位置を示す。
 - 鉄骨の現場継手位置は柱芯より1,200とする。
 - 鉛直ブレースは極力柱梁の交点に取りつける。
 - 腰壁、地下壁の目地割りは意匠図による。
 - は、鋼管充填コンクリートを示す。 5FL+300をコンクリート天端とする。
 - 印は、柱仕口範囲を□-750x750x28 (BCP325) とする。
 - ※部には、施工精度確保のため必要な場合に、仮設サポートを施工者判断で設置すること。 運搬長さが12mを超える場合は、1か所継手を設けることとし、現場で地組み (フランジ・ウェブ共にHTB接合) した後、建方すること。

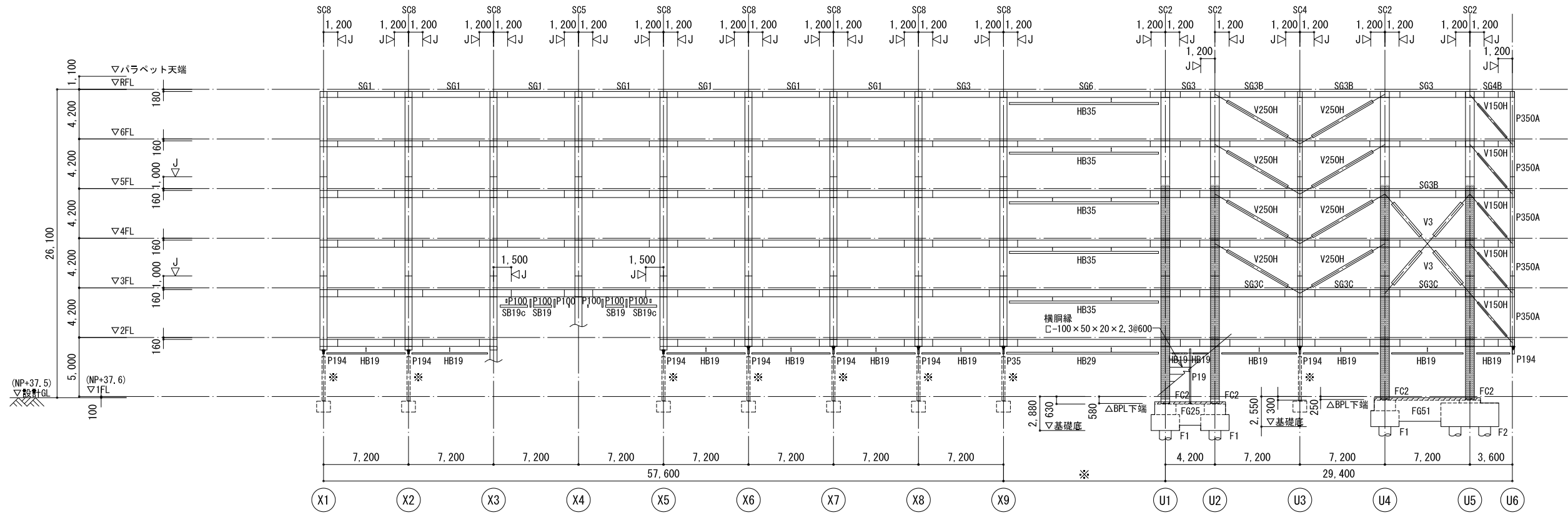


資格/番号	記名	製図	PM
代表設計者 一級建築士 第280128号	小林 史	藤井	伊藤
担当設計者 一級建築士 第311377号	園原 紀之	構造設計一級建築士 第8196号	園原 紀之

設計業務名
東海国立大学機構 (東山)
グランドナレッジ研究棟 (仮称) 新営その他設計業務

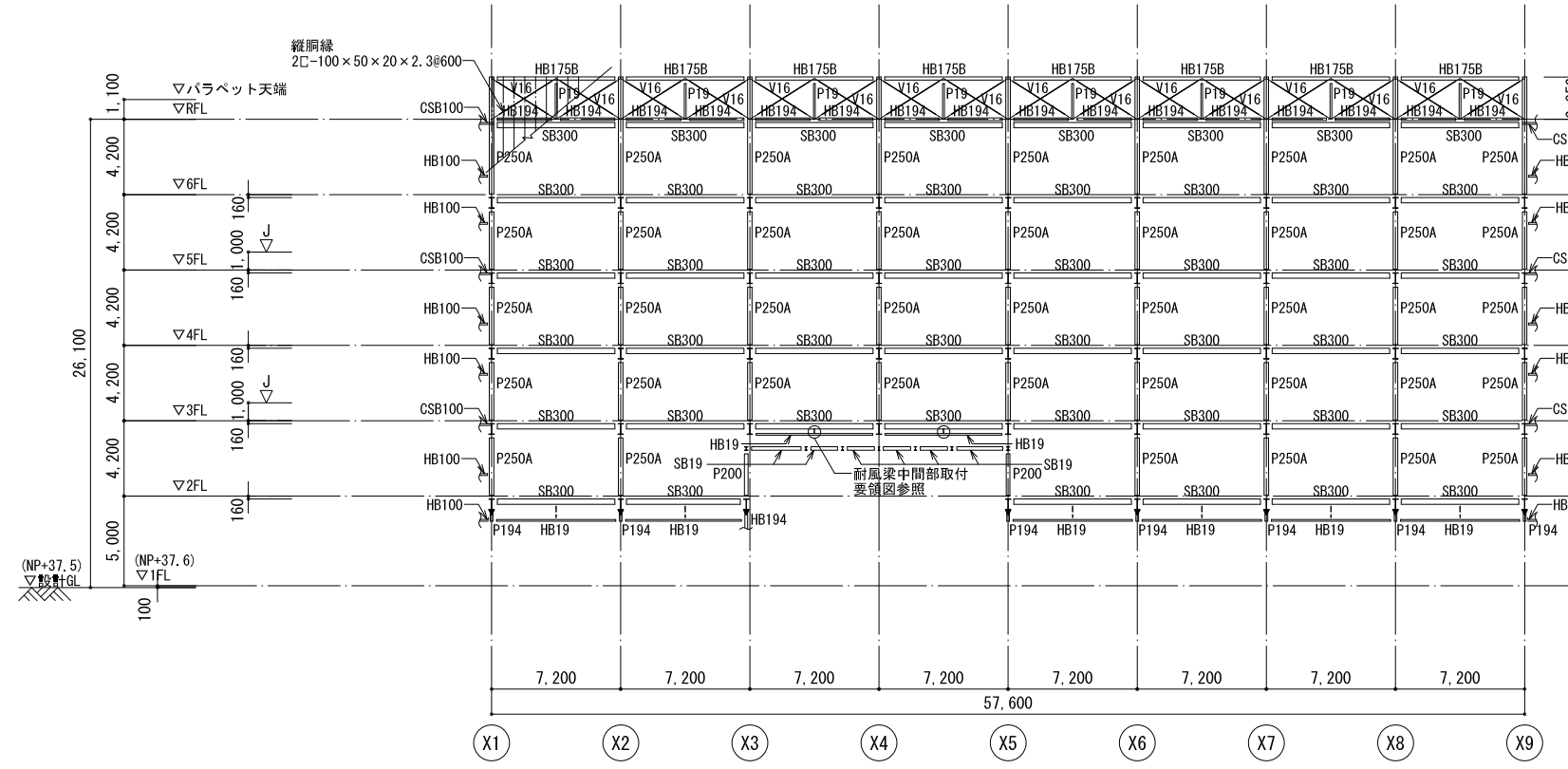
課長
工事名 東海国立大学機構 (東山) LYKEION 研究棟 (仮称) 新営その他工事
東海国立大学機構 施設統括部

図面番号	軸組図 (2)	図面番号	S-47
縮尺	(A1) S=1/200 (A3) S=1/400	図面年度	令和6年度

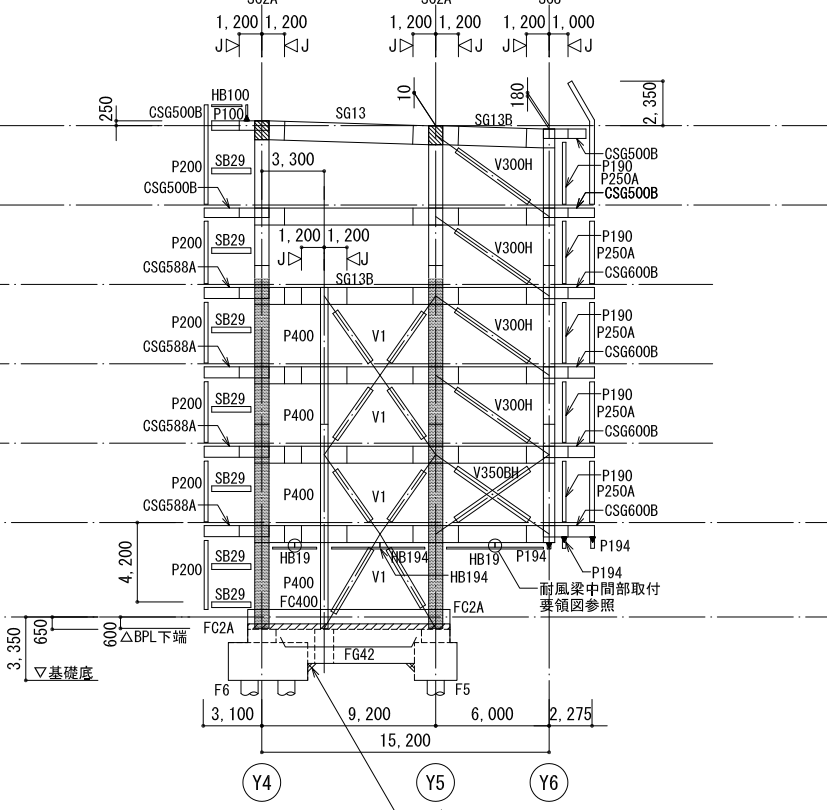


Y6~V3通り軸組図 A1:1/200 A3:1/400

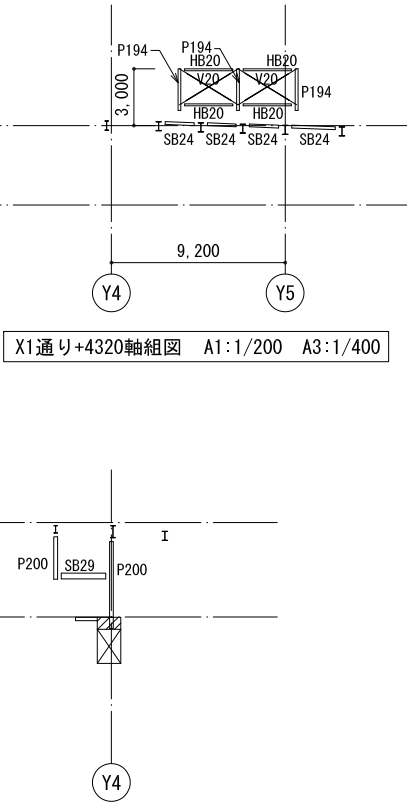
- 共通事項 (特記なき限り下記による)
- 柱・梁符号は、上階に効く。
 - 梁レベルは、左に効く。
 - 斜線は、増打を示す。
 - は、吊材及び束材符号 T1
 - は、腰壁を示す。(天端:1FL+400) 原則意匠図によること。
 - ◀は剛接合を示す。
 - <Jは、現場継手位置を示す。
 - 鉄骨の現場継手位置は柱芯より1,200とする。
 - 鉛直ブレースは極力柱梁の交点に取りつける。
 - 腰壁、地下壁の目地割りは意匠図による。
 - は、鋼管充填コンクリートを示す。5FL+300をコンクリート天端とする。
 - 印は、柱仕口範囲を□-750x750x28 (BCP325) とする。
 - ※部には、施工精度確保のため必要な場合に、仮設サポートを施工者判断で設置すること。運搬長さが12mを超える場合は、1か所継手を設けることとし、現場で地組み(フランジ・ウェブ共にHTB接合)した後、建方すること。



Y6+2.275通り軸組図 A1:1/200 A3:1/400



X1通り軸組図 A1:1/200 A3:1/400



X1通り+4100軸組図 A1:1/200 A3:1/400

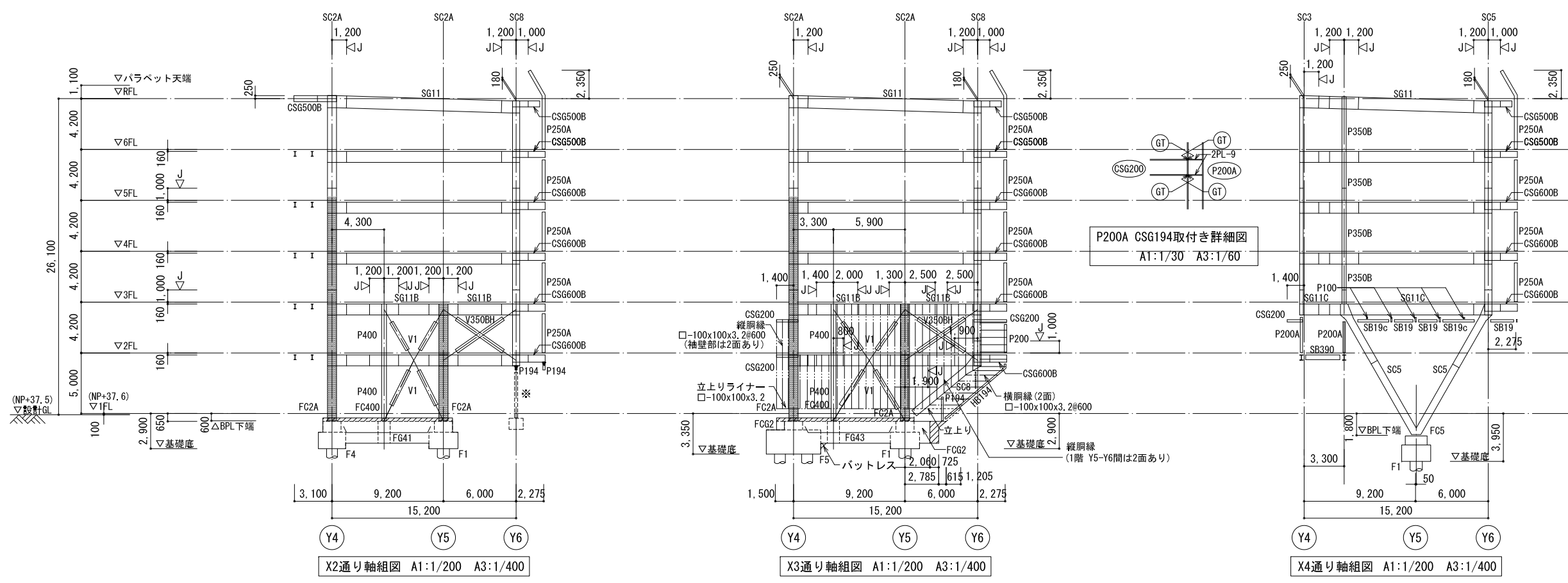


資格/番号	記名	製図	PM
代表設計者 一級建築士 第280128号	小林 史	藤井	伊藤
担当設計者 一級建築士 第311377号	國原 紀之	構造設計一級建築士 第8196号	國原 紀之

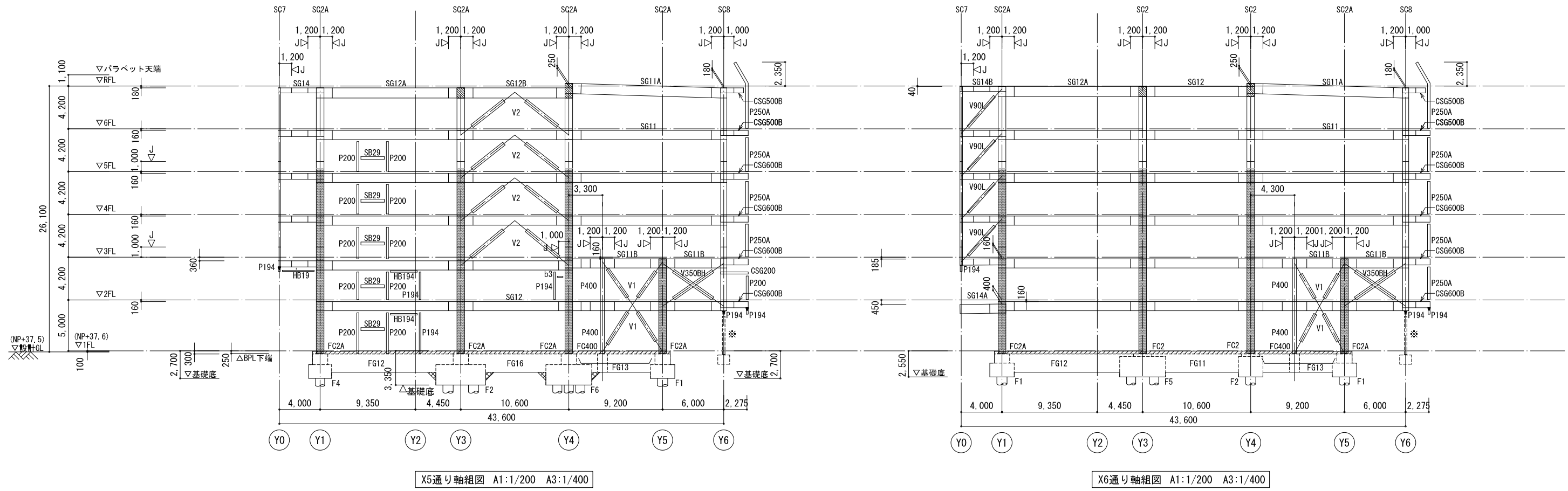
設計業務名
東海国立大学機構 (東山)
グランドナレッジ研究棟 (仮称) 新営その他設計業務

課長
工事名
東海国立大学機構 (東山) LYKEION 研究棟 (仮称) 新営その他工事
東海国立大学機構 施設統括部

図面名称	軸組図 (3)	図面番号	S-48
縮尺	(A1) S=1/200 (A3) S=1/400		令和6年度



- 共通事項 (特記なき限り下記による)
- 柱・梁符号は、上階に倣う。
 - 梁レベルは、左に倣う。
 - 斜線は、増打を示す。
 - は、吊材及び束材符号 T1
 - は、腰壁を示す。(天端:1FL+400)
- 原則意匠図によること。
- ◀は剛接合を示す。
 - <Jは、現場継手位置を示す。
 - 鉄骨の現場継手位置は柱芯より1,200とする。
 - 鉛直ブレースは極力柱梁の交点に取りつける。
 - 腰壁、地下壁の目地割りは意匠図による。
 - は、鋼管充填コンクリートを示す。
5FL+300をコンクリート天端とする。
 - 印は、柱口範囲を口-750x750x28 (BCP325)とする。
 - ※部には、施工精度確保のため必要な場合に、仮設サポートを施工者判断で設置すること。
運搬長さが12mを超える場合は、1か所継手を設けることとし、現場で地組み(フランジ・ウェブ共にHTB接合)した後、建方すること。

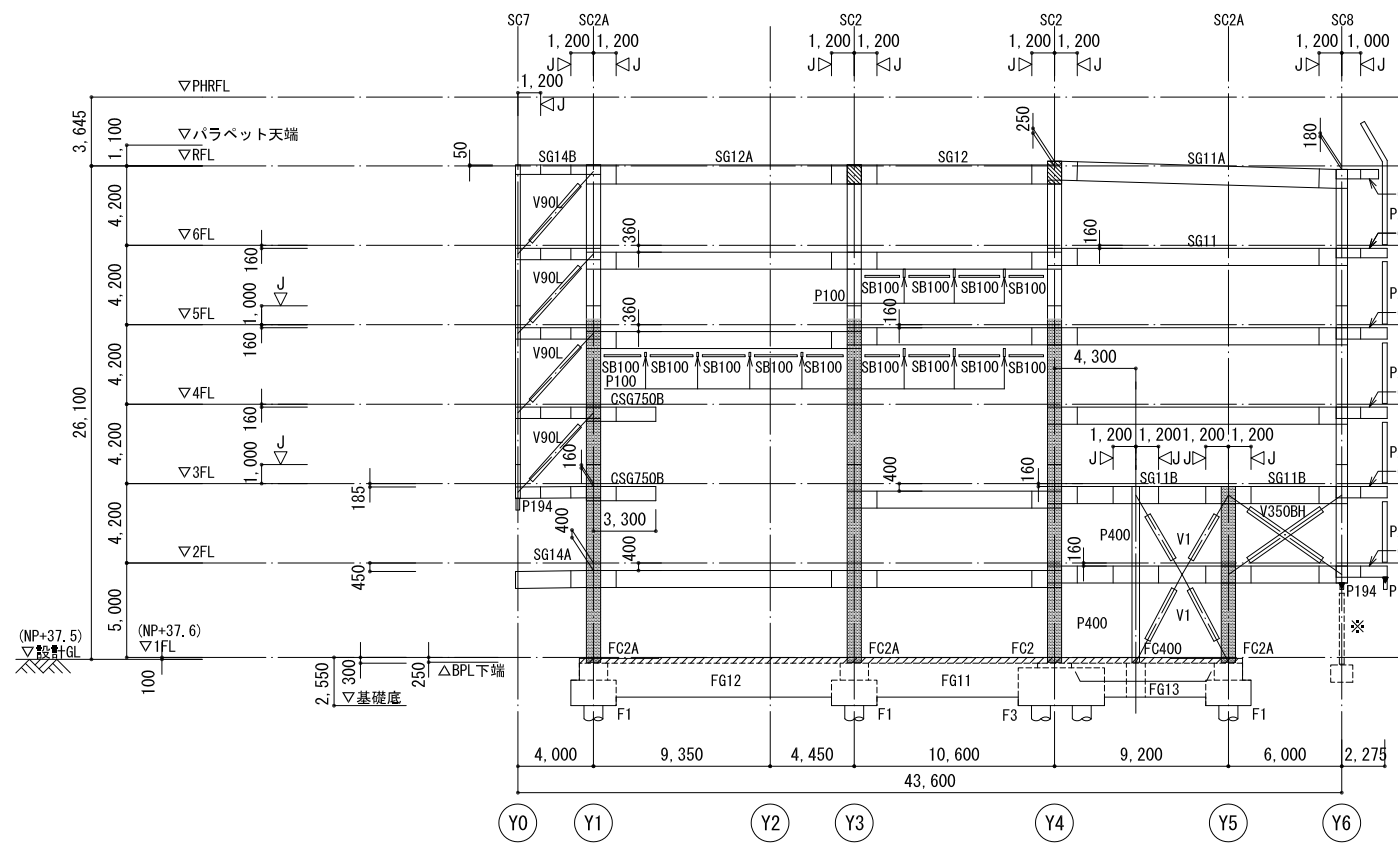


代表 設計者	資格/番号	記名	製図	PM
招 当 設計者				

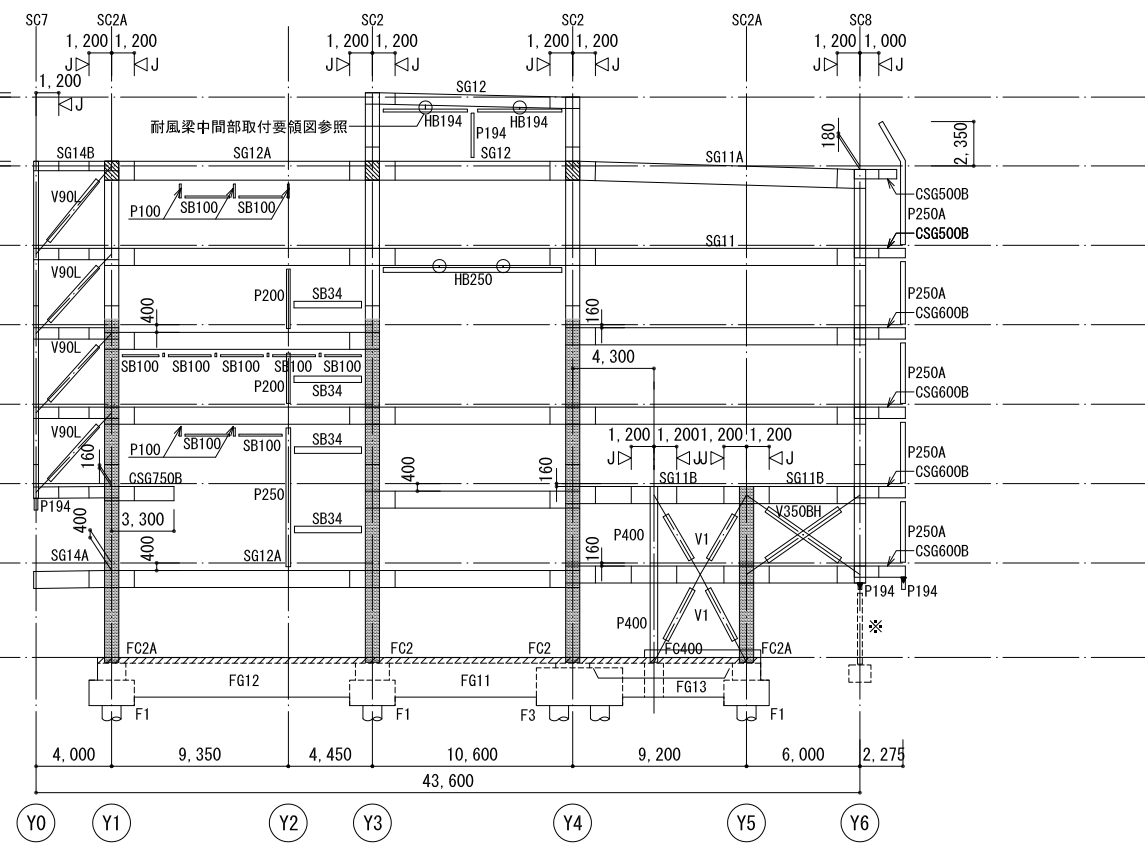
設計業務名
東海国立大学機構 (東山)
グランドナレッジ研究棟 (仮称) 新営その他設計業務

課長
工事名 東海国立大学機構 (東山) LYKEION 研究棟 (仮称) 新営その他工事
東海国立大学機構 施設統括部

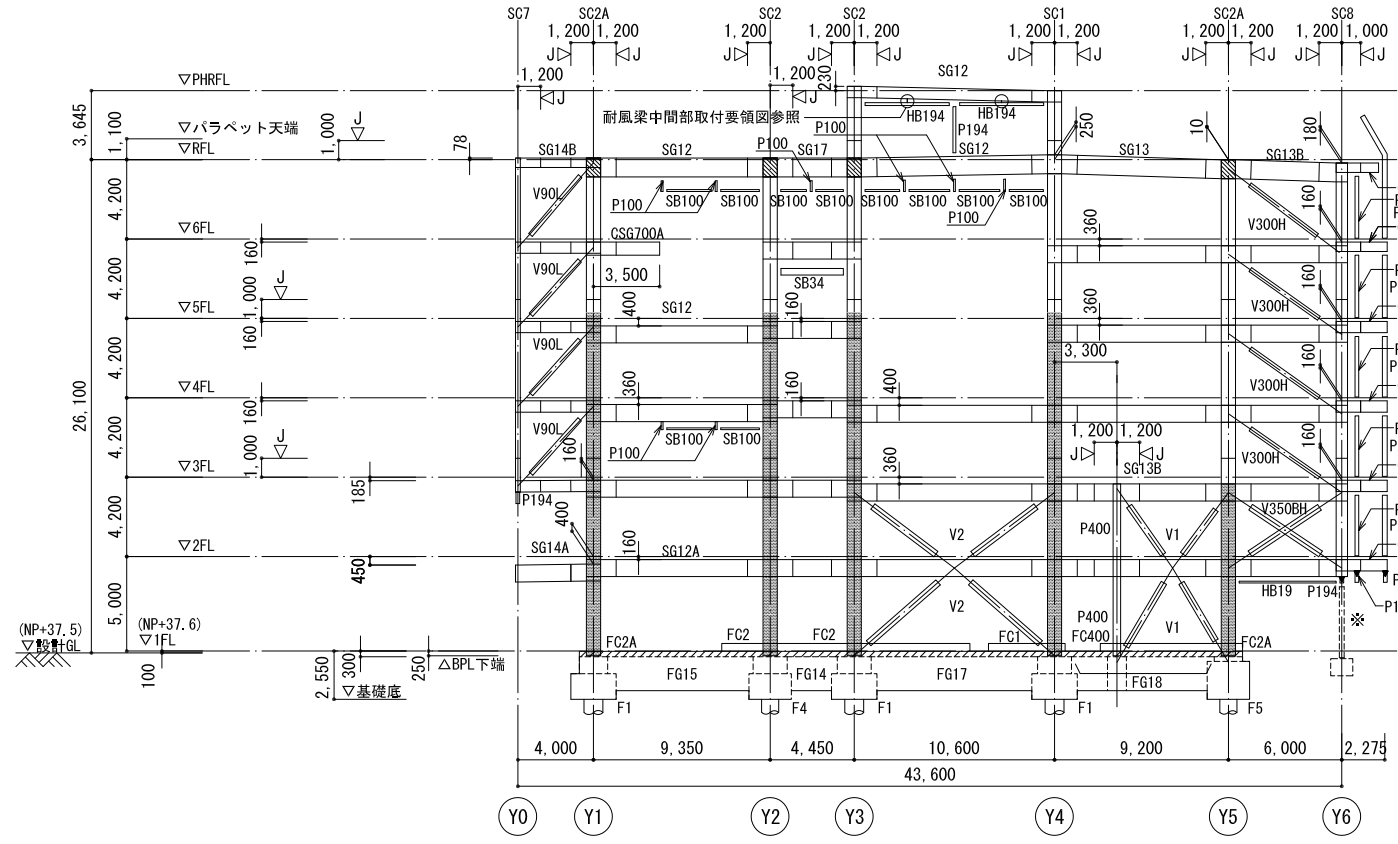
図面番号
S-49
縮尺 (A1) S=1/200
(A3) S=1/400
令和6年度



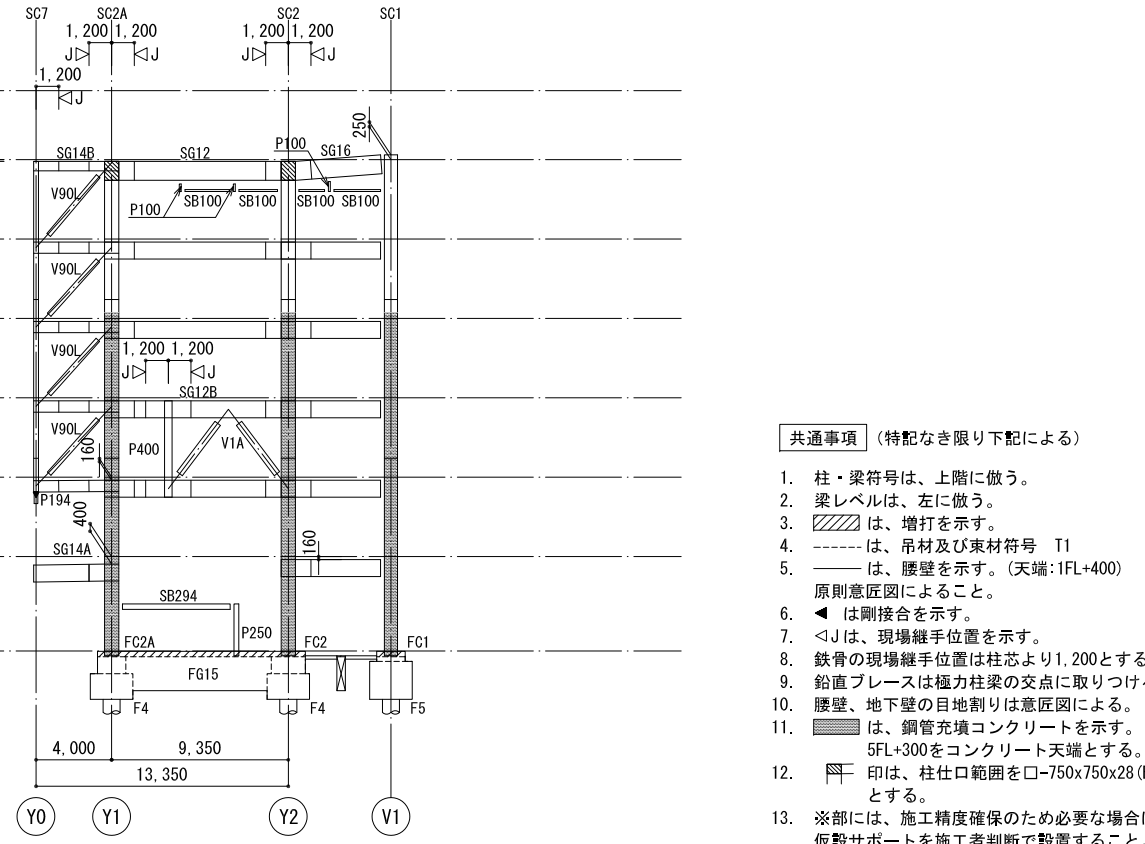
X7通り軸組図 A1:1/200 A3:1/400



X8通り軸組図 A1:1/200 A3:1/400



X9通り軸組図 A1:1/200 A3:1/400



X10通り軸組図 A1:1/200 A3:1/400

- 共通事項 (特記なき限り下記による)
- 柱・梁符号は、上階に倣う。
 - 梁レベルは、左に倣う。
 - 斜線は、増打を示す。
 - は、吊材及び束材符号 T1
 - は、腰壁を示す。(天端:1FL+400)
原則意匠図によること。
 - ◁Jは、剛接合を示す。
 - ◁Jは、現場継手位置を示す。
 - 鉄骨の現場継手位置は柱芯より1,200とする。
 - 鉛直ブレースは極力柱梁の交点に取りつける。
 - 腰壁、地下壁の目地割りは意匠図による。
 - は、鋼管充填コンクリートを示す。
5FL+300をコンクリート天端とする。
 - 印は、柱仕口範囲を口-750x750x28 (BCP325)とする。
 - ※部には、施工精度確保のため必要な場合に、仮設サポートを施工者判断で設置すること。
運搬長さが12mを超える場合は、1か所継手を設けることとし、現場で地組み (フランジ・ウェブ共にHTB接合) した後、建方すること。

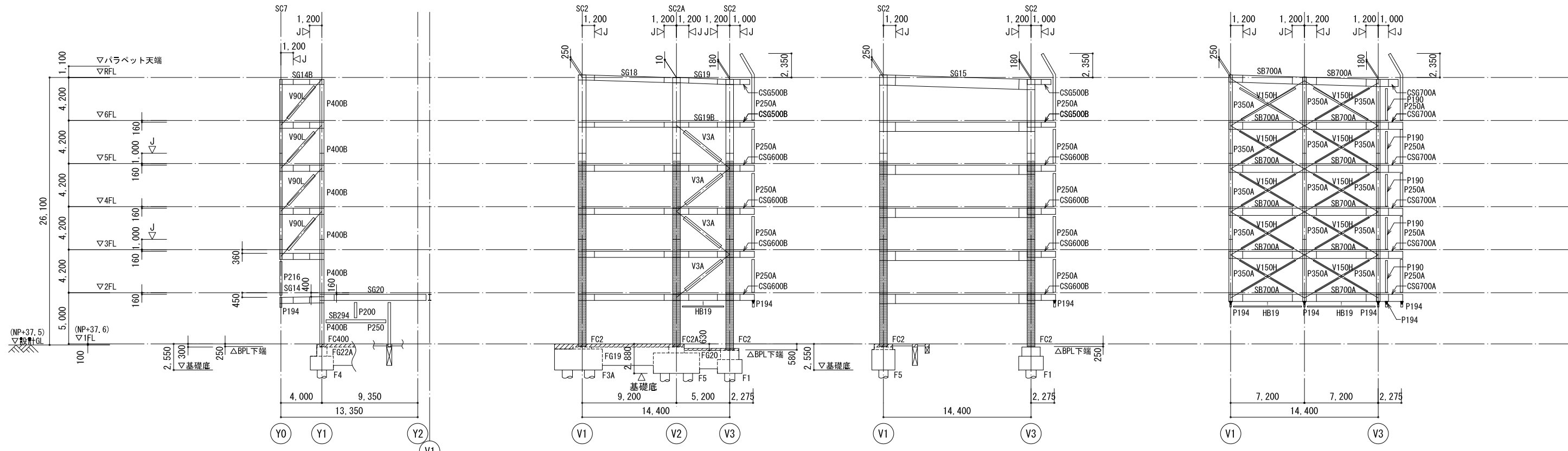


資格/番号	記名	製図	PM
代表設計者 一級建築士 第280128号	小林 史	藤井	伊藤
担当設計者 一級建築士 第311377号	園原 紀之	構造設計一級建築士 第8196号	園原 紀之

設計業務名
東海国立大学機構 (東山)
グランドナレッジ研究棟 (仮称) 新営その他設計業務

課長
工事名 東海国立大学機構 (東山) LYKEION 研究棟 (仮称) 新営その他工事
東海国立大学機構 施設統括部

図面名称	軸組図 (5)	図面番号	S-50
縮尺	(A1) S=1/200 (A3) S=1/400	図面年度	令和6年度

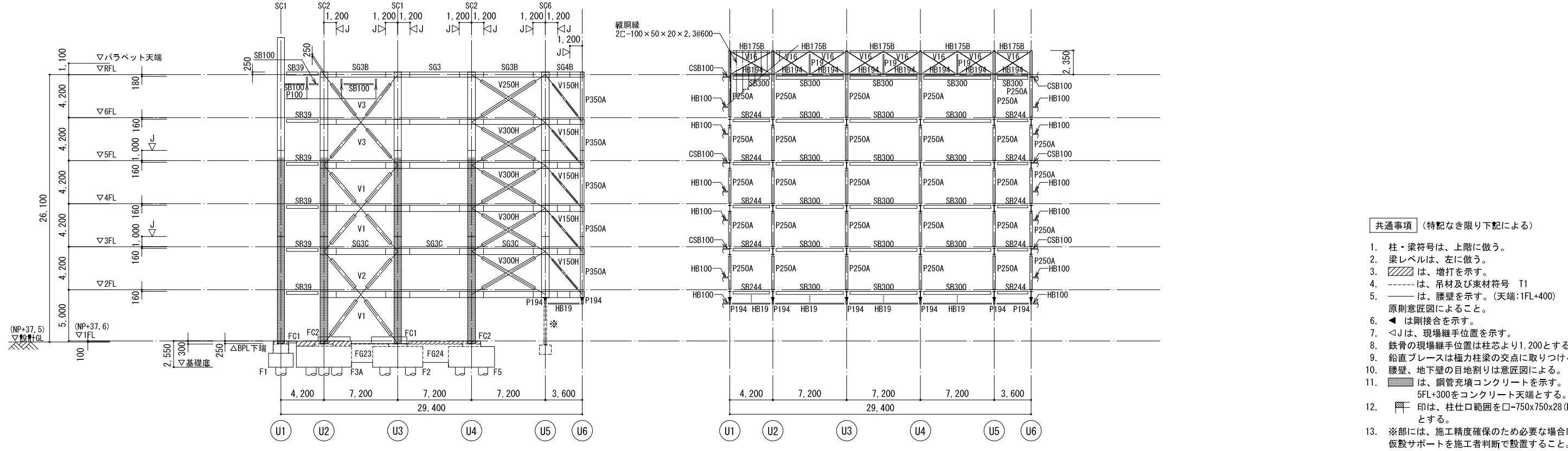


X11通り軸組図 A1:1/200 A3:1/400

U2通り軸組図 A1:1/200 A3:1/400

U4通り軸組図 A1:1/200 A3:1/400

U6通り軸組図 A1:1/200 A3:1/400



V1通り軸組図 A1:1/200 A3:1/400

V3+2.275通り軸組図 A1:1/200 A3:1/400

- 共通事項 (特記なき限り下記による)
- 柱・梁符号は、上階に倣う。
 - 梁レベルは、左に倣う。
 - 斜線は、増打を示す。
 - は、吊材及び束材符号 T1
 - は、腰壁を示す。(天端:1FL+400)
 - 原則意匠図によること。
 - ◁Jは、現場継手位置を示す。
 - ◁Jは、現場継手位置を示す。
 - 鉄骨の現場継手位置は柱芯より1,200とする。
 - 鉛直ブレースは極力柱梁の交点に取りつける。
 - 腰壁、地下壁の目地割りは意匠図による。
 - は、鋼管充填コンクリートを示す。
5FL+300をコンクリート天端とする。
 - 印は、柱仕口範囲を口-750x750x28 (BCP325)とする。
 - ※部には、施工精度確保のため必要な場合に、仮設サポートを施工者判断で設置すること。
 - 運搬長さが12mを超える場合は、1か所継手を設けることとし、現場で地組み(フランジ・ウェブ共にHTB接合)した後、建方すること。



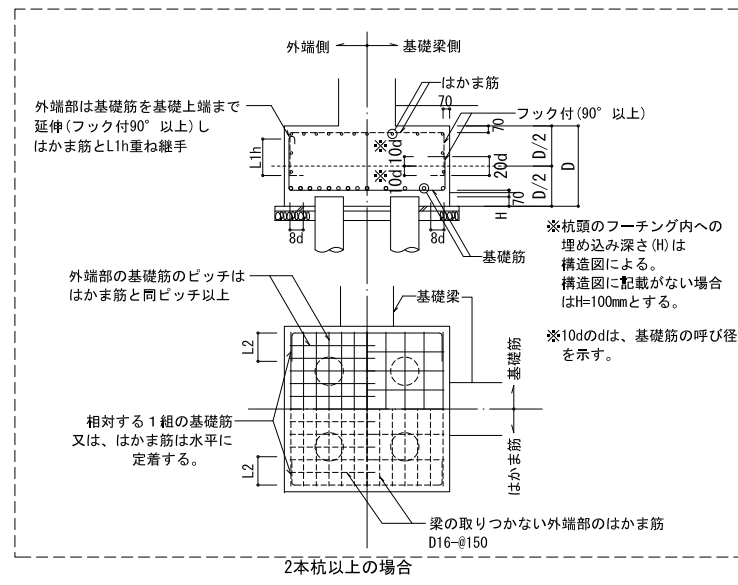
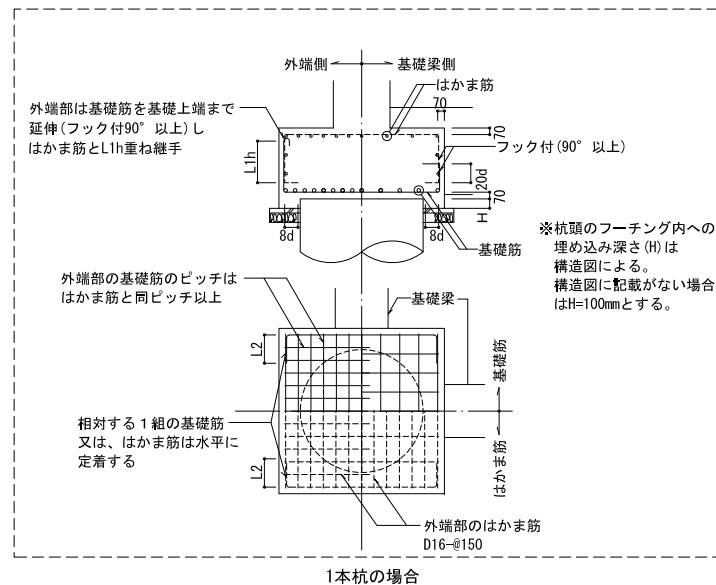
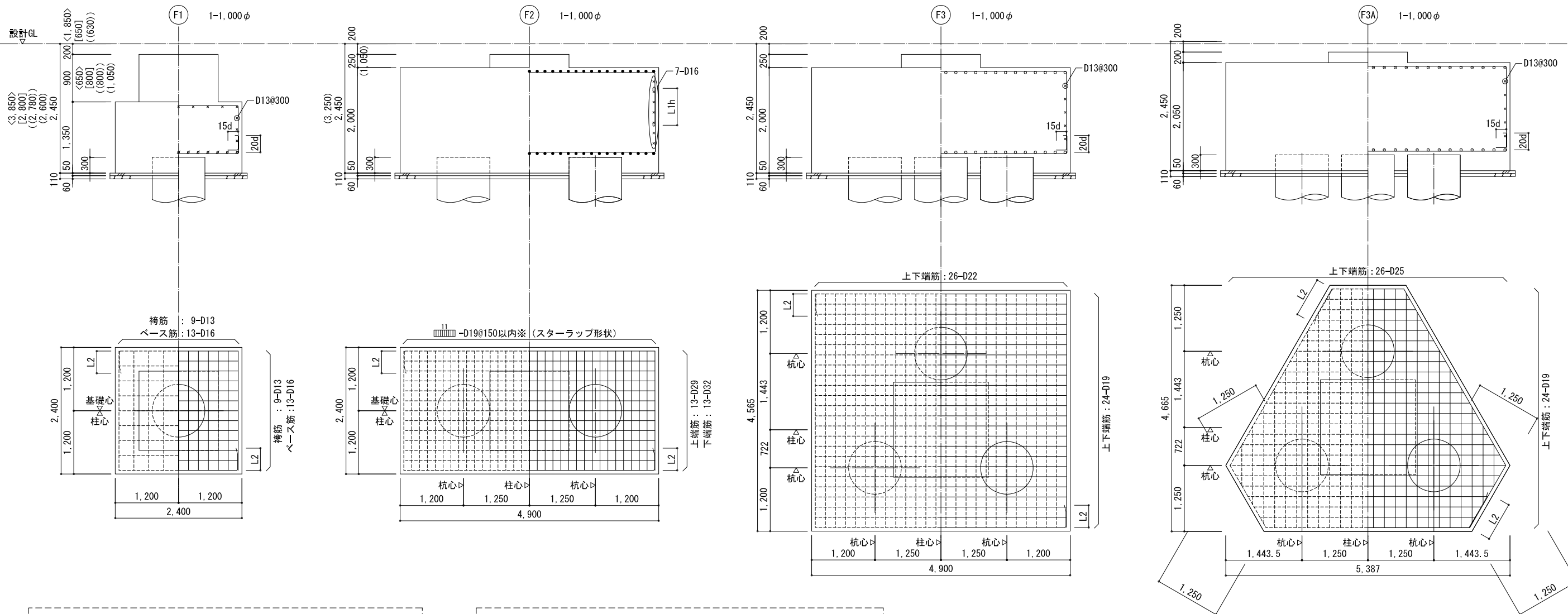
代表設計者	資格/番号	記名	製図	PM
招当設計者	資格/番号	記名	製図	PM

設計業務名
東海国立大学機構 (東山) グランドナレッジ研究棟 (仮称) 新営その他設計業務

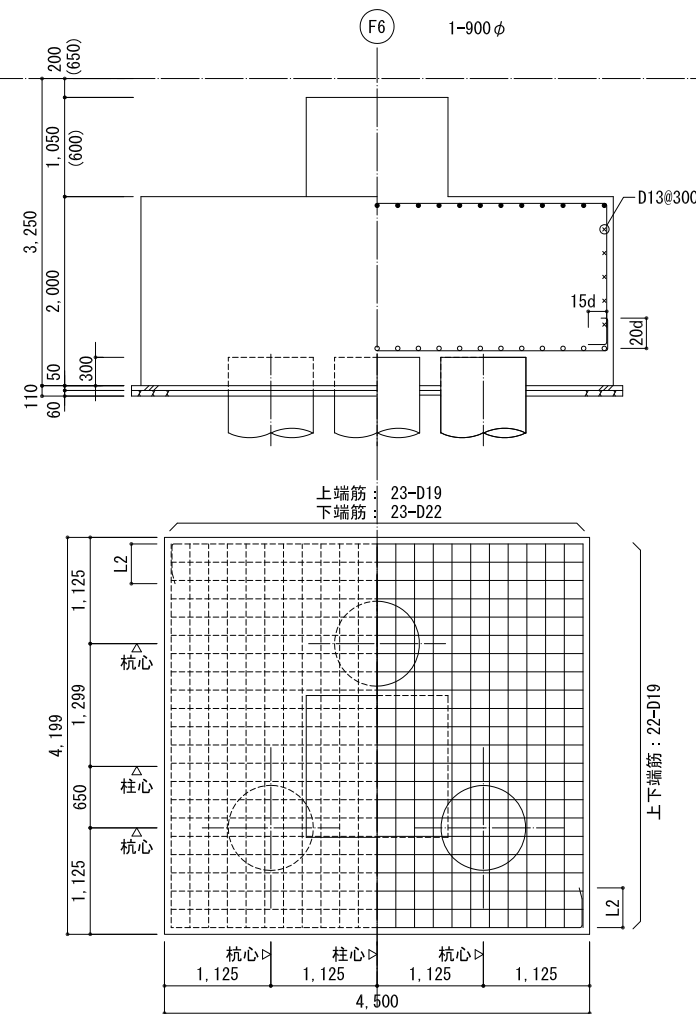
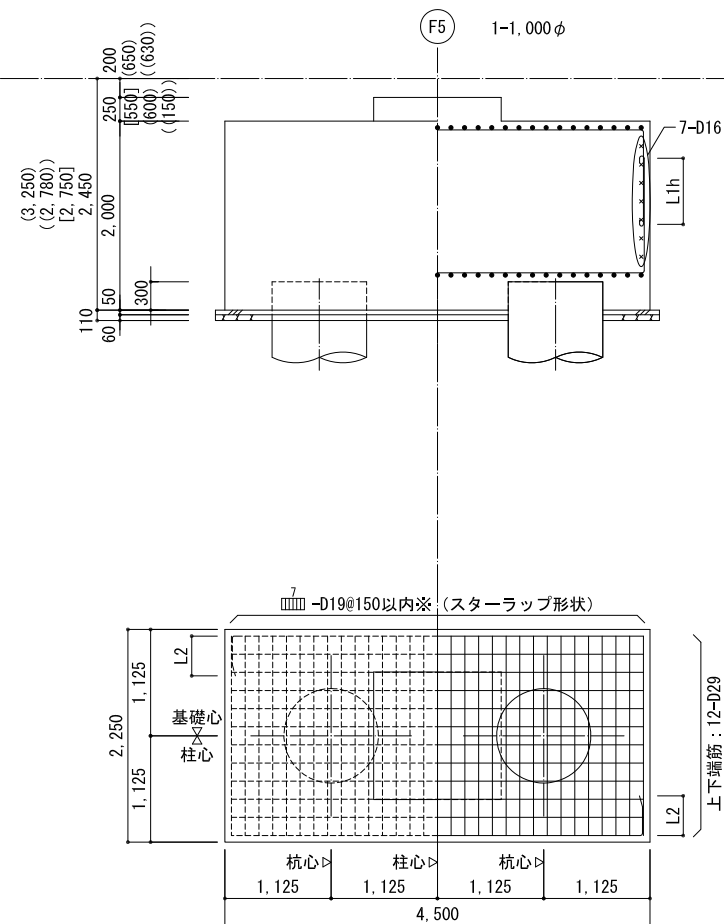
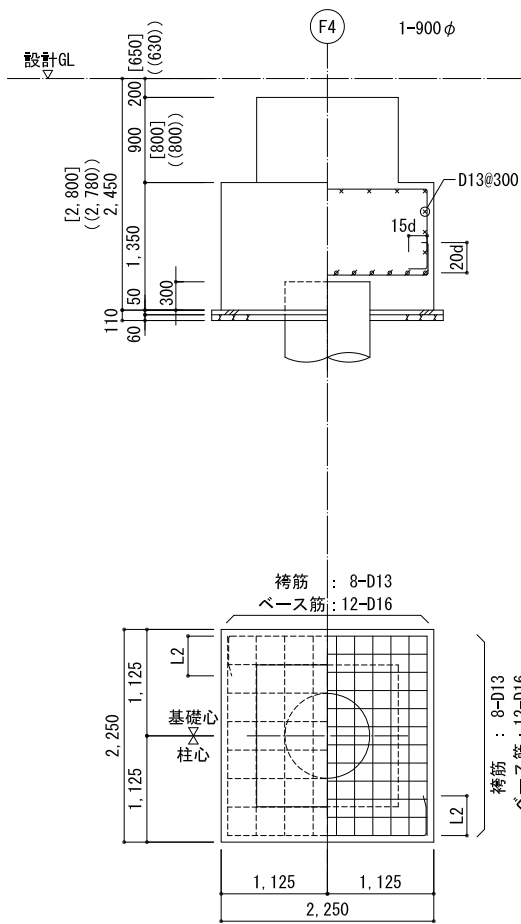
課長
工事名 東海国立大学機構 (東山) LYKEION 研究棟 (仮称) 新営その他工事

図面名称	軸組図 (6)	図面番号	S-51
縮尺	(A1) S=1/200 (A3) S=1/400	図面年度	令和6年度

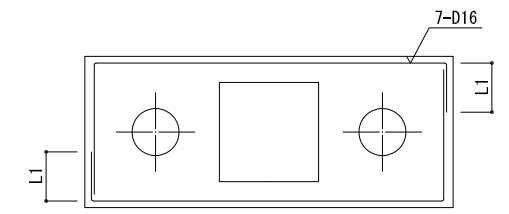
基礎リスト(1) 1/40 共通事項 (特記なき限り右記による) 1. 本図以外に配筋標準図(4)の内容を満足するように配筋補強すること。(下図による)



基礎リスト(2) 1/40 共通事項 (特記なき限り右記による) 1. 本図以外に配筋標準図(4)の内容を満足するように配筋補強すること。(下図による)

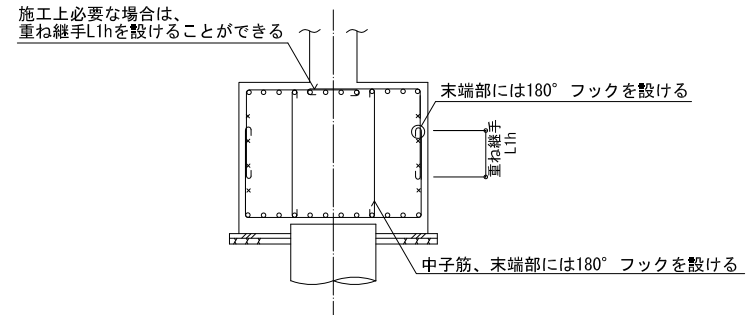


腹筋配筋要領図(平面視)

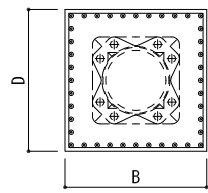
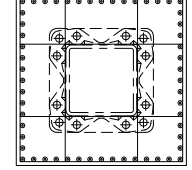
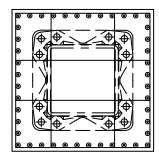
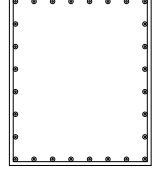
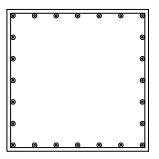
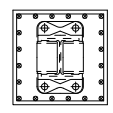
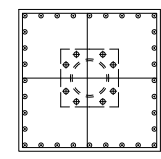
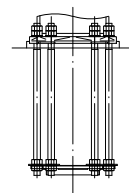
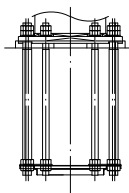
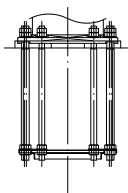
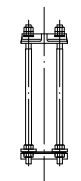
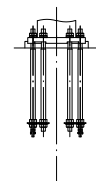


基礎配筋要領

※印鉄筋は、下図の様にスターラップ形状(閉鎖型)とする。



礎柱リスト A1:1/40 A3:1/80 注) 特記なき限り、1. 四隅フックなしとする。

符号	FC1	FC2	FC2A	FC5	FC11	FC400	FC400B
S柱符号	SC1	SC2	SC2A	SC5	-	P400	P400B
断面							
							
	GM700-8-64	GB750-12-64	GB750-12-56			GH400x400-4-56	EM400-8-42
B x D	1,500x1,500	1,800x1,800	1,500x1,500	1,500x1,800	1,500x1,500	1,000x1,000	1,500x1,500
主筋	40-D32	56-D32	44-D32	28-D32	24-D32	20-D29	32-D25
フープ	□-D16 @100	■-D16 @80	■-D16 @100	□-D16 @100	□-D16 @100	□-D13 @100	■-D13 @100
TOPフープ	□-D16	□-D16	□-D16	□-D16	□-D16	□-D13	□-D13
備考	Lt=970mm	Lt=1020mm	Lt=890mm			Lt=570mm	Lt=440mm

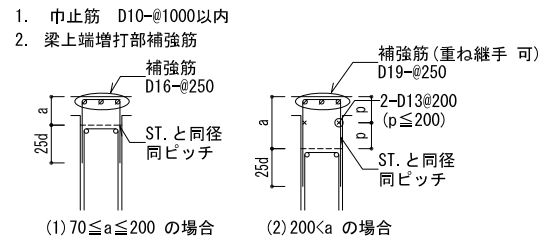
地中梁リスト(1) 1/40 注) 特記なき限り、1. 腹筋用巾止筋はD10@1000以内とする。

符号	FG1	FG2	FG2A	FG3	X5通り端	FG4	X6通り端	FG5	X8, X9, X9通り端	FG6	X9, U1, V1通り端
位置	全断面	全断面	全断面	全断面		中央		全断面		中央	
断面											
B x D	900x1,800	1,250x1,800	1,075x1,800	900x1,800		900x1,800		900x1,800		900x1,800	
上端筋	12-D38	22-D38	18-D38	9-D38	10-D38	7-D38	7-D38	7-D38	10-D38	9-D38	9-D38
下端筋	10-D38	21-D38	18-D38	8-D38	11-D38	10-D38	10-D38	6-D38	10-D38	8-D38	8-D38
スターラップ	□-D16 @150	□-D16 @100	□-D16 @100	□-D16 @200		□-D16 @200		□-D16 @200		□-D16 @150	
腹筋	6-D13	6-D13	6-D13	6-D13		6-D13		6-D13		6-D13	

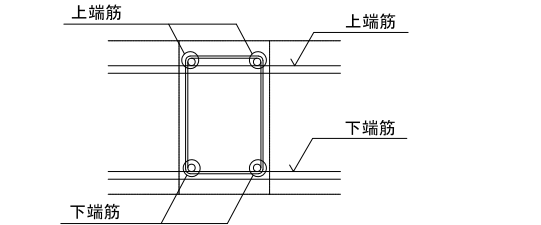
符号	FG7	FG8	FG9	FG10	FG11	FG12	FG13	FG14	FG15			
位置	全断面	全断面	全断面	全断面	端部	中央	Y1通り端	中央	Y3通り端	全断面	全断面	全断面
断面												
B x D	900x1,800	700x1,800	900x1,800	900x1,800	900x1,800	900x1,800	900x1,800	900x1,800	900x1,800	900x1,800	900x1,800	
上端筋	9-D38	5-D38	9-D38	12-D38	9-D38	7-D38	7-D38	11-D38	14-D38	11-D38	11-D38	
下端筋	9-D38	6-D38	8-D38	12-D38	6-D38	6-D38	8-D38	8-D38	11-D38	9-D38	12-D38	
スターラップ	□-D16 @150	□-D16 @150	□-D16 @200	□-D16 @150	□-D16 @200	□-D16 @200	□-D16 @200	□-D16 @150	□-D16 @125	□-D16 @200	□-D16 @200	
腹筋	6-D13	6-D13	6-D13	6-D13	6-D13	6-D13	6-D13	6-D13	6-D13	6-D13	6-D13	

符号	FG16	FG17	FG18	FG19	FG20	FG21						
位置	Y3通り端	中央	Y4通り端	端部	中央	Y1通り端	中央	Y2通り端	全断面	V1通り端	中央	V2通り端
断面												
B x D	900x1,800	900x1,800	900x1,800	900x1,800	1,250x1,800	900x1,800	900x1,800	900x1,800	900x1,800	900x1,800	900x1,800	900x1,800
上端筋	13-D38	8-D38	11-D38	7-D38	5-D38	13-D38	13-D38	13-D38	10-D38	9-D38	5-D38	10-D38
下端筋	10-D38	10-D38	10-D38	6-D38	5-D38	12-D38	14-D38	14-D38	10-D38	10-D38	10-D38	13-D38
スターラップ		□-D16 @150		□-D16 @200		□-D16 @125	□-D16 @125	□-D16 @125	□-D16 @150	□-D16 @150	□-D16 @200	□-D16 @200
腹筋		6-D13		6-D13		6-D13	6-D13	6-D13	6-D13	6-D13	6-D13	6-D13

共通事項 (特記なき限り下記による)

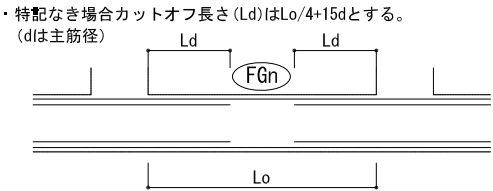


3. 主筋の通し方向は、納まりにより決定すること。(どちらが上下になっても可とする)



4. 定着板を使用する際は、工事監理者と協議の上、決定すること。

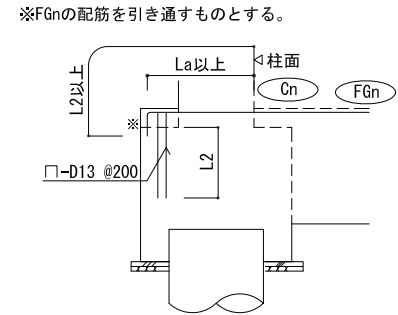
地中梁カットオフ筋着長



< カットオフ長さ (Ld) >

符号	FG4	FG6	FG11	FG12	FG16	FG17	FG19	
階数	1	3, 300	3, 400	3, 200	3, 900	3, 800	3, 200	3, 400
符号	FG21	FG22	FG23	FG31	FG33	FG53		
階数	1	3, 500	3, 600	2, 800	3, 700	3, 900	2, 700	

端部地中梁配筋要領図



地中梁リスト(2) 1/40

注) 特記なき限り、1. 腹筋用巾止筋はD10@1000以内とする。

符号	FG22		FG22A	FG23			FG24	FG25					
位置	端部	中央	全断面	U2通り端	中央	U3通り端	全断面	全断面					
断面													
B x D	700x1,800		700x1,800	1,250x1,800			700x1,800	900x1,800					
上端筋	8-D38	5-D38	8-D38	20-D38	14-D38	14-D38	5-D38	9-D38					
下端筋	5-D38	5-D38	5-D38	17-D38	12-D38	12-D38	4-D38	8-D38					
スターラップ	□-D16 @150		□-D16 @200	□-D16 @100			□-D16 @200	□-D16 @100					
腹筋	6-D13		6-D13	6-D13			6-D13	6-D13					
符号	FG31			FG32	FG33			FG41	FG42	FG43			
位置	X1通り端	中央	X2通り端	全断面	X1通り端	中央	X2通り端	全断面	全断面	全断面			
断面													
B x D	900x1,800			900x1,800	1,250x1,800			900x1,800	1,250x1,800	900x1,800			
上端筋	12-D38	8-D38	8-D38	10-D38	18-D38	11-D38	11-D38	12-D38	14-D38	15-D38			
下端筋	12-D38	10-D38	10-D38	10-D38	15-D38	14-D38	14-D38	12-D38	16-D38	10-D38			
スターラップ	□-D16 @150			□-D16 @150	□-D16 @150			□-D16 @150	□-D16 @150	□-D16 @125			
腹筋	6-D13			6-D13	6-D13 (L1継手L2定着すること)			6-D13	6-D13	6-D13			
符号	FG51	FG52	FG53										
位置	全断面	全断面	U5/V2通り端	中央	U4/V3通り端								
断面													
B x D	1,250x1,800	900x1,800	900x1,800										
上端筋	16-D38	14-D38	10-D38	10-D38	13-D38								
下端筋	18-D38	10-D38	10-D38	10-D38	12-D38								
スターラップ	□-D16 @200	□-D16 @125	□-D16 @150										
腹筋	6-D13	6-D13	6-D13										



代表設計者 一級建築士 第280128号 小林 史
 製図 藤井 伊藤
 担当設計者 一級建築士 第311377号 園原 紀之
 構造設計一級建築士 第8196号 園原 紀之

設計業務名 東海国立大学機構(東山) グランドナレッジ研究棟(仮称)新営その他設計業務

課長 東海国立大学機構(東山) LYKEION 研究棟(仮称)新営その他工事
 東海国立大学機構 施設統括部

図面名称 地中梁リスト(2)
 縮尺 (A1) S=1/40
 (A3) S=1/80

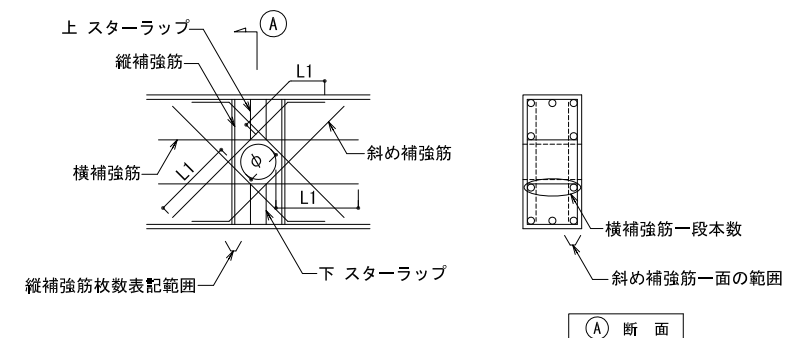
図面番号 S-56
 令和6年度

地中小梁リスト 1/40 注) 特記なき限り、1. 腹筋用巾止筋はD10@1000以内とする。

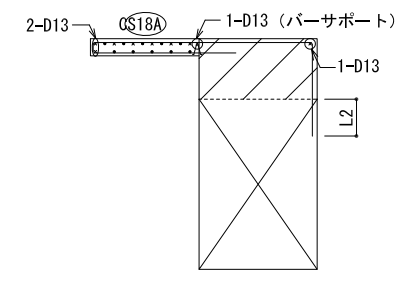
符号	FB1		FB2			FB3		FB4	FB5	FB6		FB7	FB8		FB9	FB10	FB11
	位置	端部	中央	X5, X6通り端 (終端)	中央	X6, X7通り端 (連端)	X9通り端 (連端)			中央	他端 (終端)		端部	中央			
断面																	
B x D	400x750		400x750			400x750		400x750	400x600	450x1,800		300x1,200	450x1,200		400x600	500x1,800	400x1,800
上端筋	7-D22	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	7-D22	4-D22	4-D22	4-D19	5-D22	5-D22	3-D19	5-D22	5-D22	4-D22	10-D22	4-D22
下端筋	4-D22	6-D22	4-D22	5-D22	4-D22	4-D22	5-D22	4-D22	4-D19	5-D22	8-D22	5-D19	5-D22	9-D22	4-D22	5-D22	4-D22
スターラップ	□-D13 @200		□-D13 @200			□-D13 @200		□-D13 @200	□-D13 @200	□-D13 @200		□-D10 @200	□-D13 @200		□-D13 @200	□-D13 @200	□-D13 @200
腹筋	2-D13		2-D13			2-D13		2-D13	2-D13	6-D13		4-D13	4-D13		2-D13	6-D13	6-D13

符号	FCG1	FCG2	FCB1		FCB2	
	位置	全断面	根元	先端	根元	先端
断面						
B x D	900x1,800	800x1,800	500x1,800		400x700	
上端筋	5-D38	5-D38	10-D22	5-D22	6-D22	4-D22
下端筋	5-D38	4-D38	5-D22	5-D22	4-D22	4-D22
スターラップ	□-D13 @150	■-D16 @200	□-D13 @200		□-D13 @200	
腹筋	6-D13	6-D13 (L1継手L2定着すること)	6-D13		2-D13	

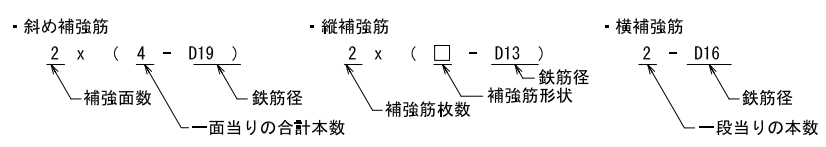
梁貫通孔補強要領図



CS18A定着要領 A1:1/50 A3:1/100



補強筋表示要領



<φ=600>

符号	斜め補強筋	縦補強筋	横補強筋	上下スターラップ
FG1	2 x (4 -D16)	2 x (6 -D16)	4 -D16	□-D16 @100
FG2	2 x (4 -D16)	2 x (7 -D16)	5 -D16	□-D16 @100
FG10	4 x (4 -D22)	2 x (4 -D16)	4 -D16	□-D16 @100
FG11	2 x (4 -D16)	2 x (3 -D16)	4 -D16	□-D16 @100
FG12	4 x (4 -D22)	3 x (6 -D16)	4 -D16	□-D16 @100
FG13	2 x (4 -D16)	2 x (6 -D16)	4 -D16	□-D16 @100
FG15	4 x (4 -D22)	3 x (6 -D16)	4 -D16	□-D16 @100
FG18	2 x (4 -D16)	2 x (5 -D16)	4 -D16	□-D16 @100
FG19	2 x (4 -D16)	2 x (6 -D16)	5 -D16	□-D16 @100
FG21	2 x (4 -D16)	2 x (3 -D16)	4 -D16	□-D16 @100
FG23	2 x (4 -D16)	2 x (6 -D16)	5 -D16	□-D16 @100
FB6	2 x (4 -D16)	2 x (2 -D13)	3 -D16	□-D13 @100

床版リスト 注) 特記なき限り、1. S符号について同厚、同耐力以上の鉄筋付きデッキへの切り替えを可とする。(屋上階や仕上げのない部屋及び床開口があるスラブについては除く)

符号	厚サ	位置	短辺(主力筋) 方向		長辺(配力筋) 方向		備考
			端部	中央	端部	中央	
DS15 (S15)	150	上端筋	D10D13 @200	→	D10 @200	→	フラットデッキ t=1.2
		下端筋	D10 @200	→	D10 @200	→	
DS15A	150	上端筋	D13 @200	→	D10D13 @200	→	フラットデッキ t=1.2
		下端筋	D10D13 @200	→	D10 @200	→	
DS15B	150	上端筋	D10 @200	→	D13 @200	→	フラットデッキ t=1.2
		下端筋	D13 @200	→	D10D13 @200	→	
DS18 (S18)	180	上端筋	D10D13 @200	→	D10 @200	→	フラットデッキ t=1.2
		下端筋	D10 @200	→	D10 @200	→	
S18A	180	上端筋	D13 @200	→	D10D13 @200	→	フラットデッキ t=1.2
		下端筋	D10D13 @200	→	D10 @200	→	
CS15	150	上端筋	D13 @100	→	D10 @100	→	
		下端筋	D10 @100	→	D10 @200	→	
CS18	180	上端筋	D13D16 @100	→	D10 @100	→	
		下端筋	D10 @100	→	D10 @200	→	
CS18A	180	上端筋	D10D13 @200	→	D10D13 @100	→	
		下端筋	D10 @200	→	D10 @200	→	
FS25	250	上端筋	D13 @200	→	D13 @200	→	
		下端筋	D13 @200	→	D13 @200	→	
FS25A	250	上端筋	D16 @200	→	D16 @200	→	
		下端筋	D16 @200	→	D16 @200	→	



資格/番号 記名 製図 PM
 代表設計者 一級建築士 第280128号 小林 史 藤井 伊藤
 担当設計者 一級建築士 第311377号 國原 紀之 構造設計一級建築士 第8196号 國原 紀之

設計業務名 東海国立大学機構(東山) グランドナレッジ研究棟(仮称)新営その他設計業務

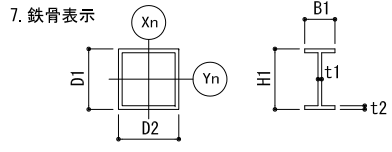
課長 工務課 東海国立大学機構(東山) LYKEION 研究棟(仮称)新営その他工事
 東海国立大学機構 施設統括部

図面名称 地中小梁、床版リスト 図面番号 S-57
 縮尺 (A1) S=1/40 (A3) S=1/80 令和6年度

鉄骨リスト(1)

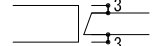
【共通事項】 (特記なき限り下記による)

- 鉄骨材質は下表の () に示す。
- 通しダイヤフラム形式を基本とし、板厚は取付く大梁フランジの最大板厚の2サイズUP以上かつ柱板厚以上とする。材質はSN490Cとする。
- 内ダイヤフラム形式の場合は、板厚は取付く大梁フランジの最大板厚の1サイズUP以上とする。材質はSN490Bとする。
- 通しダイヤフラムの板厚が40mmを超える場合は、材質をTMCP325Cとする。
- 内ダイヤフラムの板厚が40mmを超える場合は、材質をTMCP325Bとする。
- 鉛直ハンチの勾配は1/3以下とする。



BH:組立H形鋼
HY:外法一定H形鋼
H:H形鋼
BH:HxBxt1xt2
HY:HxBxt1xt2
H:HxBxt1xt2
□:D1xD2xt1

8. ダイヤフラムと梁フランジ目違い防止



- 柱の現場溶接部の錆止め仕様は溶接後に常温亜鉛めっき塗装(ローバル同等品)を用いること。
- 鉄骨に設けるスリーブが1本の梁に複数ある場合で補強材の溶接が片側のみのスリーブ補強の場合は、表裏を交互に取り付けること。(溶接歪み防止)
- 間柱が取り付く梁部材は、取り付け位置にスチフナ (G. PLと同厚、同材質) を取り付けること。
- 屋外に面する部材は、溶融亜鉛メッキを施すこと。
- メッキ処理する鉄骨の隅肉溶接部は全周溶接を原則とする。
- メッキ処理するH形鋼には変形拘束用のスチフナ (ウェブ厚程度) を両側に1500ピッチ程度で取り付けること。スチフナにもメッキ抜き孔を設けること。
- 屋外で用いる場合は、溶融亜鉛メッキとし、高力ボルトはF8Tを用いる。

符 号	部 材	備 考
PHFSC1	○-700x22 (STKN490B)	
5. 6SC1	○-700x25 (STKN490B)	
3. 4SC1	○-700x25 (STKN490B)	CFT柱
1. 2SC1	○-700x32 (STKN490B)	CFT柱
5~PHFSC2	□-750x750x25 (BCP325)	
2~4SC2	□-750x750x25 (BCP325)	CFT柱
1SC2	□-750x750x36 (BCP325)	CFT柱
5. 6SC2A	□-750x750x25 (BCP325)	
2~4SC2A	□-750x750x25 (BCP325)	CFT柱
1SC2A	□-750x750x32 (BCP325)	CFT柱
3~6SC3	H-440x300x11x18 (SN490B)	
2~6SC4	H-400x400x13x21 (SN490B)	
3~6SC5	□-600x600x22 (BCP325)	
1SC5	□-600x600x28 (BCP325)	
2~6SC6	□-750x750x25 (BCP325)	
2~6SC7	H-250x250x 9x14 (SN490B)	
1~6SC8	□-600x600x22 (BCP325)	
PHRSG1	端部: H-450x250x9x16 (SN400B) 中央: H-450x250x9x16 (SS400)	※材料強度異なるので注意すること。
RSG1	端部: H-500x250x9x22 (SN490B) 中央: H-500x250x9x19 (SM490A)	
6SG1	端部: H-500x250x9x19 (SN490B) 中央: H-500x250x9x16 (SM490A)	
2~5SG1	端部: H-600x250x12x22 (SN490B) 中央: H-600x250x12x22 (SM490A)	
6. RSG1A	端部: H-500x300x16x32 (SN490B) 中央: H-500x300x16x32 (SM490A)	
3~5SG1A	端部: H-600x300x16x32 (SN490B) 中央: H-600x300x16x32 (SM490A)	
6. RSG1B	端部: H-500x300x12x22 (SN490B) 中央: H-500x300x12x22 (SM490A)	
2~5SG1B	端部: H-600x300x12x19 (SN490B) 中央: H-600x300x12x19 (SM490A)	
6SG1C	端部: H-500x300x16x32 (SN400B) 中央: H-500x300x16x32 (SS400)	※材料強度異なるので注意すること。
5SG1C	端部: H-600x300x16x32 (SN400B) 中央: H-600x300x16x32 (SS400)	※材料強度異なるので注意すること。
6. RSG2	端部: H-500x300x12x19 (SN490B) 中央: H-500x300x12x19 (SM490A)	
2~5SG2	端部: H-600x300x12x19 (SN490B) 中央: H-600x300x12x19 (SM490A)	
5SG2A	剛接端: H-600x300x12x19 (SN490B) ピン接端: H-600x300x12x19 (SM490A)	
6. RSG3	端部: H-500x300x12x25 (SN490B) 中央: H-500x300x12x25 (SM490A)	
2~5SG3	端部: H-600x300x12x19 (SN490B) 中央: H-600x300x12x19 (SM490A)	
6. RSG3B	端部: H-500x300x12x25 (SN490B) 中央: H-500x300x12x25 (SM490A)	
2~5SG3B	端部: H-600x300x12x19 (SN490B) 中央: H-600x300x12x19 (SM490A)	

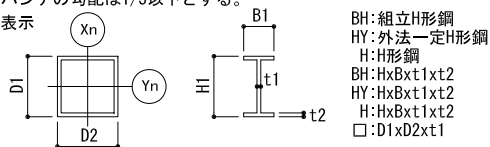
符 号	部 材	備 考
2~3SG3C	H-600x300x16x32 (SN490B)	
6. RSG4B	H-500x300x12x25 (SN490B)	
5SG4B	H-600x300x12x25 (SN490B)	
4SG4B	H-600x300x12x28 (SN490B)	
2. 3SG4B	H-600x300x16x32 (SN490B)	
6. RSG5	端部: H-500x300x16x32 (SN490B) 中央: H-500x300x16x32 (SM490A)	
2~5SG5	端部: H-600x300x16x32 (SN490B) 中央: H-600x300x16x32 (SM490A)	
6. RSG6	端部: H-500x300x12x22 (SN490B) 中央: H-500x300x12x22 (SM490A)	
2~5SG6	端部: H-600x300x12x19 (SN490B) 中央: H-600x300x12x19 (SM490A)	
RSG11	H-1000x400x16x25 (SN490B)	
6SG11	H-900x400x19x28 (SN490B)	
4. 5SG11	H-900x400x19x32 (SN490B)	
RSG11A	端部: H-1000x400x16x28 (SN490B) 中央: H-1000x400x16x28 (SM490A)	
2. 3SG11B	H-900x400x19x32 (SN490B)	
3SG11C	H-900x400x19x32 (SN490B)	
PHRSG12	端部: H-600x250x12x19 (SN400B) 中央: H-600x250x12x19 (SS400)	※材料強度異なるので注意すること。
RSG12	端部: H-1000x300x16x25 (SN490B) 中央: H-1000x300x16x25 (SM490A)	
5. 6SG12	端部: H-900x300x19x28 (SN490B) 中央: H-900x300x19x28 (SM490A)	
2~4SG12	端部: H-900x300x19x32 (SN490B) 中央: H-900x300x19x32 (SM490A)	
RSG12A	端部: H-1000x400x16x25 (SN490B) 中央: H-1000x400x16x25 (SM490A)	
5. 6SG12A	端部: H-900x400x19x28 (SN490B) 中央: H-900x400x19x28 (SM490A)	
2~4SG12A	端部: H-900x400x19x32 (SN490B) 中央: H-900x400x19x32 (SM490A)	
RSG12B	H-1000x300x16x25 (SN490B)	
5. 6SG12B	H-900x300x19x28 (SN490B)	
3. 4SG12B	H-900x300x19x32 (SN490B)	
RSG13	端部: H-1000x300x16x25 (SN490B) 中央: H-1000x300x16x25 (SM490A)	
4~6SG13	端部: H-900x300x19x28 (SN490B) 中央: H-900x300x19x28 (SM490A)	
RSG13B	端部: H-1000x400x16x25 (SN490B) 中央: H-1000x400x16x25 (SM490A)	
4~6SG13B	H-900x400x19x28 (SN490B)	
2. 3SG13B	H-900x400x19x32 (SN490B)	
6. RSG14	端部: H-500x300x12x22 (SN490B) 中央: H-500x300x12x22 (SM490A)	
5SG14	端部: H-600x300x12x25 (SN490B) 中央: H-600x300x12x25 (SM490A)	
3. 4SG14	端部: H-600x300x12x28 (SN490B) 中央: H-600x300x12x28 (SM490A)	
2SG14	端部: H-600x300x12x22 (SN490B) 中央: H-600x300x12x22 (SM490A)	
2SG14A	H-900x400x19x32 (SN400B)	※材料強度異なるので注意すること。

符 号	部 材	備 考
6. RSG14B	端部: H-500x250x9x19 (SN490B) 中央: H-500x250x9x19 (SM490A)	
3~5SG14B	端部: H-600x250x12x19 (SN490B) 中央: H-600x250x12x19 (SM490A)	
RSG15	端部: H-1000x400x16x25 (SN490B) 中央: H-1000x400x16x25 (SM490A)	
6SG15	端部: H-900x400x19x28 (SN490B) 中央: H-900x400x19x28 (SM490A)	
5SG15	端部: H-900x400x19x32 (SN490B) 中央: H-900x400x19x32 (SM490A)	
2~4SG15	端部: H-900x400x19x32 (SN490B) 中央: H-900x400x19x32 (SM490A)	
RSG16	剛接端: H-1000x300x16x25 (SN490B) ピン接端: H-1000x300x16x25 (SM490A)	
2~6SG16	剛接端: H-900x300x19x28 (SN490B) ピン接端: H-900x300x19x28 (SM490A)	
RSG17	端部: H-1000x300x16x25 (SN490B) 中央: H-1000x300x16x25 (SM490A)	
2~6SG17	端部: H-900x300x19x28 (SN490B) 中央: H-900x300x19x28 (SM490A)	
RSG18	端部: H-500x250x9x22 (SN490B) 中央: H-500x250x9x22 (SM490A)	
6SG18	端部: H-500x250x9x16 (SN490B) 中央: H-500x250x9x16 (SM490A)	
2~5SG18	端部: H-600x250x12x22 (SN490B) 中央: H-600x250x12x22 (SM490A)	
RSG19	端部: H-500x250x9x19 (SN490B) 中央: H-500x250x9x19 (SM490A)	
6SG19	端部: H-500x250x9x16 (SN490B) 中央: H-500x250x9x16 (SM490A)	
2~5SG19	端部: H-600x250x12x22 (SN490B) 中央: H-600x250x12x22 (SM490A)	
6SG19B	端部: H-500x300x12x19 (SN490B) 中央: H-500x300x12x19 (SM490A)	
2~5SG19B	端部: H-600x300x12x19 (SN490B) 中央: H-600x300x12x19 (SM490A)	
2SG20	剛接端: H-600x300x16x32 (SN490B) ピン接端: H-600x300x16x32 (SM490A)	
P400	H-400x400x13x21 (SN490B)	
P350A	H-350x350x12x19 (SN490B)	
P350B	BH-350x350x12x28 (SN490B)	
P400B	○-406.4x19 (STKN490B)	

鉄骨リスト(2)

共通事項 (特記なき限り下記による)

- 鉄骨材質は下表の()に示す。
- 通しダイヤフラム形式を基本とし、板厚は取付大梁フランジの最大板厚の2サイズUP以上かつ柱板厚以上とする。材質はSN490Cとする。
- 内ダイヤフラム形式の場合は、板厚は取付大梁フランジの最大板厚の1サイズUP以上とする。材質はSN490Bとする。
- 通しダイヤフラムの板厚が40mmを超える場合は、材質をTMCP325Cとする。
- 内ダイヤフラムの板厚が40mmを超える場合は、材質をTMCP325Bとする。
- 鉛直ハンチの勾配は1/3以下とする。
- 鉄骨表示



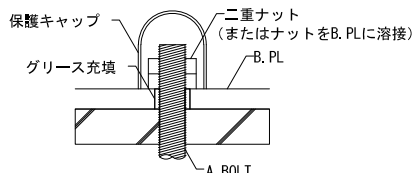
BH:組立H形鋼
HY:外法一定H形鋼
H:H形鋼
BH:HxBxt1xt2
HY:HxBxt1xt2
H:HxBxt1xt2
□:D1xD2xt1

符号	部材	備考
CSG588A	H-588x300x12x20 (SN490B)	
CSG700A	H-700x300x13x24 (SN490B)	
CSG500B	H-500x300x12x19 (SN490B)	
CSG600B	H-600x300x12x22 (SN490B)	
CSG750B	H-750x300x16x28 (SN490B)	
CSG900B	H-900x350x16x32 (SN490B)	
CSG200	H-200x200x 8x12 (SN400B)	※材料強度異なるので注意すること。
CSB100	H-100x100x 6x 8 (SN400B)	※材料強度異なるので注意すること。 PL-6 HTB 2-M16
CSB244	H-244x175x 7x11 (SN400B)	※材料強度異なるので注意すること。
b1	□-150x75x6. 5x10 (SS400)	PL-9 HTB 2-M20
b2	□-125x65x 6x 8 (SS400)	PL-6 HTB 2-M22
b3	□-100x50x 5x7. 5 (SS400)	PL-6 HTB 2-M16
t1	□-100x50x 5x7. 5 (SS400)	PL-6 HTB 2-M16
天井受け縦筋	□-100x50x20x2. 3@900 (SSC400)	PL-4.5 中ボルト 2-M12
メンテナンスバルコニー	2□-100x50x20x2. 3 (SSC400)	PL-4.5 中ボルト 2-M12 はさみ板t-4.5 中ボルト 1-M12@900
母屋	□-100x50x20x2. 3@600 (SSC400)	PL-4.5 中ボルト 2-M12
通路横筋	□-100x100x3. 2@600 (STKR400)	PL-4.5 中ボルト 2-M12
通路縦筋	□-100x100x3. 2@600 (STKR400)	PL-4.5 中ボルト 2-M12
立上りライナー	□-100x100x3. 2 (STKR400)	取付は1階立上りライナー アンカー要領図参照

- ダイヤフラムと梁フランジ目違い防止
- 柱の現場溶接部の錆止め仕様は溶接後に常温亜鉛めっき塗装(ローバル同等品)を用いること。
- 鉄骨に設けるスリーブが1本の梁に複数ある場合で補強材の溶接が片側のみのスリーブ補強の場合は、表裏を交互に取り付けること。(溶接歪み防止)
- 間柱が取り付く梁部材は、取り付け位置にスチフナ (G、Rと同厚、同材質)を取り付けること。
- 屋外に面する部材は、溶融亜鉛メッキを施すこと。
- メッキ処理する鉄骨の隅肉溶接部は全周溶接を原則とする。
- メッキ処理するH形鋼には変形拘束用のスチフナ (ウェブ厚程度)を両側に1500ピッチ程度で取り付けること。スチフナにもメッキ抜き孔を設けること。
- 屋外で用いる場合は、溶融亜鉛メッキとし、高力ボルトはF8Tを用いる。
- 剛接とする場合は、SS材はSN材B種に読み替えるものとする。強度は当該部材のうち大きい方に合わせる。

雨掛り部の鉄骨部材の仕様 (すべての図面に共通)

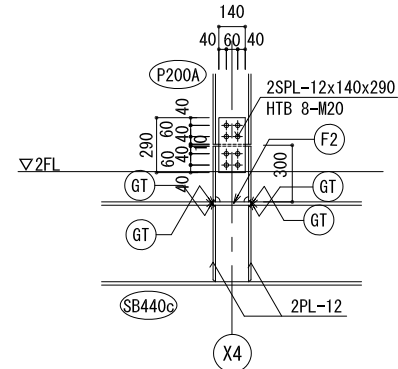
- 屋外に露出する鉄骨には溶融亜鉛めっきを施し、当該部ボルトは溶融亜鉛めっきボルト (F8T、大臣認定品)を使用すること。
- 屋外鉄骨の露出柱脚には下図に示す仕様を適用する。また、露出する鉄骨梁のコンクリートへの接合端も同様とする。
- A. BOLTのねじ山が2~3山以上出ていることを監理者に報告の上、保護キャップを取り付けること。
- ナットをBPLに溶接する場合はめっき処理実施の上、常温亜鉛めっき処理剤を塗布すること。



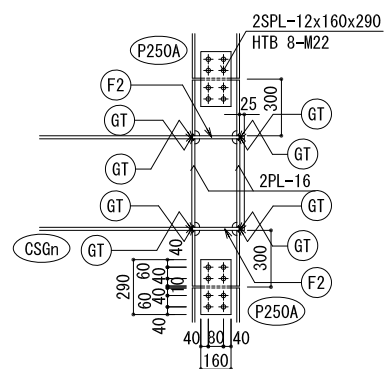
間柱リスト

仕口	a-TYPE	b-TYPE	c-TYPE	d-TYPE	e-TYPE	HTBの間隔と端あき											
							<table border="1"> <tr> <th>HTB</th> <th>間隔</th> <th>端あき</th> </tr> <tr> <td>M16</td> <td>60</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>M20</td> <td>70</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>M22</td> <td>80</td> <td>40</td> </tr> </table>	HTB	間隔	端あき	M16	60	40	M20	70	40	M22
HTB	間隔	端あき															
M16	60	40															
M20	70	40															
M22	80	40															
柱脚	A-TYPE	B-TYPE	C-TYPE	D-TYPE	E-TYPE	F-TYPE	アンカーボルト										
							ダブルナット締め 無収縮モルタル M16:L=400 M20:L=500 M22:L=550 M24:L=600										
符号	部材		仕口		柱脚		備考										
	type	GPL (mm) PL-t x B	HTB mm x nw - 径	type	BPL (mm) BPL-t x A x B	A. BOLT 本数 - 径	dtx (mm) dty (mm)										
P19	a	H-198x 99x4. 5x 7	2-M16	A	12x220x240	2-M20	50										
P35	a	H-350x175x 7x11	3-M20	B	16x220x390	4-M20	50	80									
P194	a	H-194x150x 6x 9	2-M20	A	12x220x240	2-M16	50	-									
P100	c	H-100x100x 6x 8	2-M16	A	12x220x140	2-M16	50	-									
P175	a	H-175x175x7. 5x11	2-M20	A	12x240x210	2-M20	50	-									
P200	d	H-200x200x 8x12	2x2-M22	A	12x240x240	2-M20	50	-									
P250	d	H-250x250x 9x14	2x2-M20	A	16x290x290	2-M22	50	-									
P200A	-	H-200x200x 8x12	-	-	-	-	-	P200A取付要領図参照									
P250A	-	H-250x250x 9x14	-	-	-	-	-	P250A取付要領図参照									
シャッター受	e	□-100x100x3. 2 (STKR400)	2-M16	E	6x140x300	2-M16	-	50									
P190	e	○-190. 7x6 (STK400)	2-M16	-	-	-	-	TOPPL-9									
P216	e	○-216. 3x8. 2 (STK400)	3-M20	-	-	-	-	TOPPL-16 ボルトピッチ60									

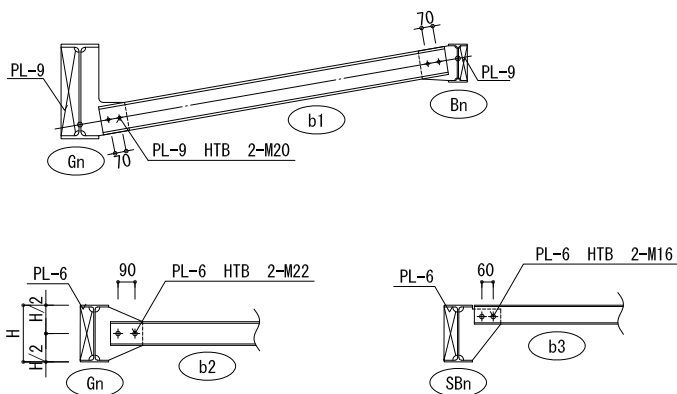
P200A取付要領図 A1:1/20 A3:1/40



P250A取付要領図 A1:1/20 A3:1/40



補剛材取付要領図 A1:1/20 A3:1/40



スタッドジベル要領図

床版	使用箇所	梁巾B	本数-径@ピッチ	G	h※	使用箇所	梁巾B	本数-径@ピッチ	G	h※
全て	大梁	B≥250	2-19φ @150	120	100	小梁	B≥250	2-16φ @300	120	100
		B<250	1-19φ @150	-			B<250	1-16φ @300	-	

※スタッドの高さについては、かぶり厚が30mmとなるように高さ調整すること。

100mm以上確保すること G:ゲージ(軸径の5倍以上) 100以上 コンクリート止め鋼板

かぶり厚を30mm以上 へりあき40mm以上 100mm以上確保すること へりあき40mm以上

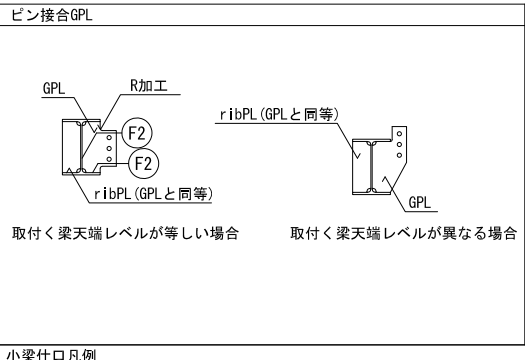
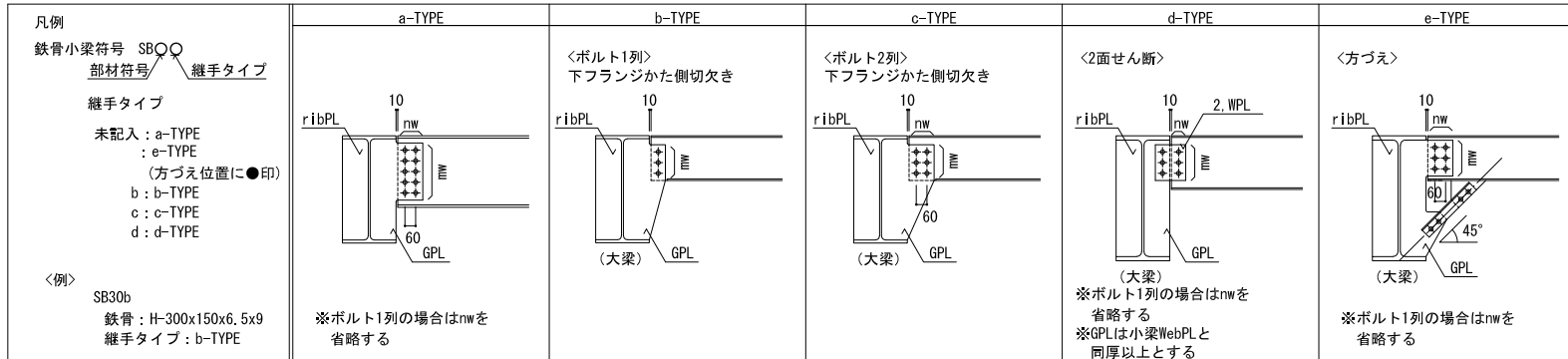
コンクリートスラブの縁辺からスタッドジベルの軸心までの距離は100mm以上とすること。 コンクリート止め鋼板が鉄骨梁フランジ天端にある場合。

梁フランジのスプライスPLと干渉するスタッドジベルは、同本数を両側へ振り分ける。 P:ピッチ(軸径の7.5倍)

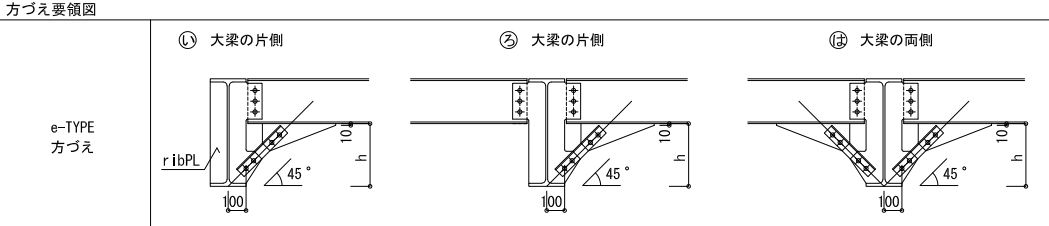
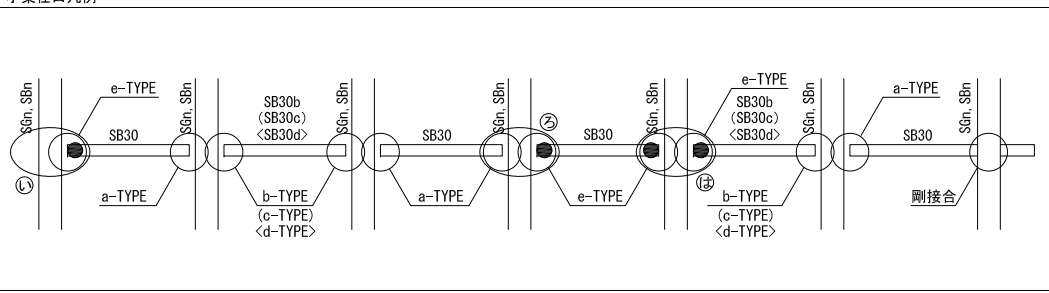
鉄骨小梁リスト

共通事項

(特記なき限り右記による) 1. 鉄骨材質はSS400とし、○付はSM490Aを示す。2. 使用ボルト：S10T, F10Tとする。3. 部材とribPL, GPLの材質は同じとする。4. ribPLは、GPLと同厚以上とする。5. 端あきは40mmとする。6. HBは、横使いを示す。屋外に用いる場合、水抜き孔15φx2を部材ごとに用いること。7. 屋外で用いる場合は、溶融亜鉛メッキとし、高力ボルトはF8Tを用いる。8. 剛接とする場合は、SS材はSN材B種に脱み変えるものとする。強度は当該部材のうち大きい方に合わせる。

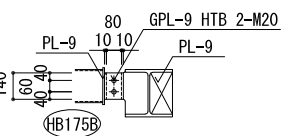


凡例	a-TYPE			b-TYPE			c-TYPE			d-TYPE			e-TYPE			
	符号	部材	ピッチ	符号	部材	ピッチ	符号	部材	ピッチ	符号	部材	ピッチ	符号	部材	ピッチ	
SB19	H-198x 99x4.5x 7	PL - 6	2-M16	60	PL - 6	2-M16	60	PL - 6	2x 2-M16	60	2PL - 6	2-M16	60	PL - 6	2-M16	60
SB24	H-248x124x 5x 8	PL - 6	3-M16	60	PL - 6	3-M16	60	PL - 6	3x 2-M16	60	2PL - 6	3-M16	60	PL - 6	3-M16	60
SB29	H-298x149x5.5x 8	PL - 9	3-M20	70	PL - 9	3-M20	70	PL - 9	3x 2-M22	70	2PL - 6	3-M20	70	PL - 9	3-M20	70
SB30	H-300x150x6.5x 9	PL - 9	3-M20	70	PL - 9	3-M20	70	PL - 9	3x 2-M22	70	2PL - 6	3-M20	70	PL - 9	3-M20	70
SB34	H-346x174x 6x 9	PL - 9	4-M20	70	PL - 9	4-M20	70	PL - 9	4x 2-M20	70	2PL - 6	4-M20	70	PL - 12	4-M20	70
SB35	H-350x175x 7x11	PL - 9	4-M20	70	PL - 9	4-M20	70	PL - 9	4x 2-M20	70	2PL - 6	4-M20	70	PL - 9	4-M20	70
SB39	H-396x199x 7x11	PL - 9	4-M20	70	PL - 9	4-M20	70	PL - 9	4x 2-M20	70	2PL - 6	4-M20	70	PL - 12	4-M20	80
SB44	H-446x199x 8x12	PL - 9	5-M20	70	PL - 9	5-M20	70	PL - 12	5x 2-M22	70	2PL - 6	5-M20	70	PL - 12	5-M20	70
SB45	H-450x200x 9x14	PL - 12	5-M20	70	PL - 12	5-M20	70	PL - 12	5x 2-M20	70	2PL - 6	5-M20	70	PL - 12	5-M20	70
SB49	H-496x199x 9x14	PL - 12	5-M20	70	PL - 12	5-M20	70	PL - 12	5x 2-M20	70	2PL - 6	5-M20	70	PL - 12	5-M20	70
SB59	H-596x199x10x15	PL - 12	6-M20	70	PL - 12	6-M20	70	PL - 12	6x 2-M20	70	2PL - 6	6-M20	70	PL - 12	6-M20	70
SB194	H-194x150x 6x 9	PL - 9	2-M16	60	PL - 9	2-M16	60	PL - 9	2x 2-M16	60	2PL - 6	2-M16	60	PL - 9	2-M16	60
SB244	H-244x175x 7x11	PL - 9	2-M20	70	PL - 9	2-M20	70	PL - 9	2x 2-M20	70	2PL - 6	2-M20	70	PL - 9	2-M20	70
SB390	H-390x300x10x16	PL - 12	4-M22	80	PL - 12	4-M22	80	PL - 12	4x 2-M22	80	2PL - 6	4-M22	80	PL - 12	4-M22	80
SB440	H-440x300x11x18	PL - 12	4-M22	80	PL - 12	4-M22	80	PL - 16	4x 2-M22	80	2PL - 6	4-M22	80	PL - 12	4-M22	80
SB488	H-488x300x11x18	PL - 12	5-M22	80	PL - 12	5-M22	80	PL - 12	5x 2-M22	80	2PL - 6	5-M22	80	PL - 12	5-M22	80
SB588	H-588x300x12x20	PL - 16	6-M22	80	PL - 16	6-M22	80	PL - 16	6x 2-M22	80	2PL - 9	6-M22	80	PL - 16	6-M22	80
SB700A	H-700x300x13x24	PL - 16	7-M22	80	PL - 16	7-M22	80	PL - 16	7x 2-M22	80	2PL - 9	7-M22	80	PL - 16	7-M22	80
SB500A	H-500x300x12x22	PL - 12	5-M22	80												
HB19	H-198x 99x4.5x 7	PL - 6	2-M16	60												
HB20	H-200x100x5.5x 8	PL - 6	2-M16	60												
HB29	H-298x149x5.5x 8	PL - 9	3-M20	70												
HB35	H-350x175x 7x11	PL - 9	4-M20	70												
HB194	H-194x150x 6x 9	PL - 9	2-M16	60												
HB150	H-150x150x7x10	PL - 9	1x2-M20	-												
HB100	H-100x100x 6x 8	PL - 6	1x2-M16	-												
HB200	H-200x200x8x12	PL - 9	2-M20	60												
HB250	H-250x250x9x14	PL - 9	2-M22	80												
HB175B	□-175x175x6 (STKR400)	PL - 9	2-M20	-	HB175B取付要領図参照											
SB100	H-100x100x6x8	PL - 6	1x2-M20	-												
SB125	H-125x125x6.5x9	PL - 6	1x2-M20	-												
SB300	H-300x300x10x15	PL - 12	3-M22	70												



方づえ位置	大梁の片側		大梁の両側	
	方づえ材	HTB	方づえ材	HTB
350 ≤ h < 700	2L-65x65x6	小梁のGPLと同厚	L-65x65x6	小梁のGPLと同厚
500 ≤ h < 700	2L-75x75x6	小梁のGPLと同厚	L-75x75x6	小梁のGPLと同厚
		2-M16		2-M16

HB175B取付要領図 A1:1/20 A3:1/40



ブレースリスト

JISターンバックル筋かい 鋼材：SS400級、使用ボルト：S10T, F10T 屋外で用いる場合は、溶融亜鉛メッキとし、高力ボルトはF8Tを用いる。

符号	サイズ (ネジの呼び)	高力ボルト		羽子板		ガセットプレート			ガセットプレート形状	ガセットプレート種類					
		本数-径 (mm)	ピッチ P (mm)	e2 (mm)		厚さ bt (mm)	厚さ × 必要幅 gt B (mm) (mm)	すみ肉サイズ S (mm)		必要溶接長 (mm)					
				切板製	平鋼製					TYPE1 ∅	TYPE2 ∅	TYPE3 ∅1 + ∅2			
V16	M12	1-M16	-	28	25	6	6 x 60	6	60	42	54	<p>e=40</p>			
	M16	1-M16	-	28	25	6	9 x 70	8	80	56	72				
V20, HV20	M20	1-M20	-	34	32.5	9	9 x 80	8	97	65	81				
	M22	1-M22	-	38	37.5	9	12 x 80	10	100	70	90				
	M24	2-M20	60	38	37.5	9	12 x 90	10	112	76	96				
	M27	2-M20	60	45	45	9	12 x 90	10	145	93	113				
	M30	2-M22	60	45	45	12	12 x 100	10	177	109	129				
	M33	2-M22	60	50	50	12	12 x 110	10	217	129	149				

山形鋼(単材)筋かい 鋼材：SS400級、使用ボルト：S10T, F10T

符号	サイズ	高力ボルト		ガセットプレート			ガセットプレート形状	ガセットプレート種類			
		本数-径 (mm)	厚さ × 必要幅 gt B (mm) (mm)	すみ肉サイズ S (mm)	必要溶接長 (mm)						
					TYPE1 ∅	TYPE2 ∅		TYPE3 ∅1 + ∅2			
HV75	L-65x65x6	5-M16	9 x 90	8	170	101	117	<p>e=40 P=60</p>			
	L-75x75x6	5-M16	9 x 95	8	202	117	133				
	L-75x75x9	5-M16	9 x 125	8	291	162	178				
	L-75x75x12	6-M16	9 x 160	8	362	197	213				
	L-90x90x7	5-M20	9 x 125	8	282	157	173				
	L-90x90x10	5-M20	9 x 165	8	389	211	227				
	L-90x90x13	6-M20	12 x 160	10	395	218	238				
	L-100x100x7	4-M20	9 x 135	8	303	168	184				
	L-100x100x10	5-M20	9 x 185	8	443	238	254				
	L-100x100x13	6-M20	12 x 180	10	448	244	264				

山形鋼(ダブル・背中合せ)筋かい 鋼材：SS400級、使用ボルト：S10T, F10T つづり材の板厚はガセットプレートと同厚とし、高力ボルトは同径、本数は1本とする。つづり材のピッチは1000@以下とする。

符号	サイズ	高力ボルト		ガセットプレート			ガセットプレート形状	ガセットプレート種類			
		本数-径 (mm)	厚さ × 必要幅 gt B (mm) (mm)	すみ肉サイズ S (mm)	必要溶接長 (mm)						
					TYPE1 ∅	TYPE2 ∅		TYPE3 ∅1 + ∅2			
V90L	2L-65x65x6	5-M16	9 x 165	8	399	216	232	<p>e=40 P=60</p>			
	2L-75x75x6	5-M16	9 x 190	8	474	253	269				
	2L-75x75x9	5-M20	12 x 205	10	531	286	306				
	2L-75x75x12	7-M16	12 x 260	10	667	354	374				
	2L-90x90x7	5-M20	12 x 205	10	529	285	305				
	2L-90x90x10	5-M20	12 x 270	10	733	387	407				
	2L-90x90x13	7-M20	12 x 340	10	933	487	507				
	2L-100x100x7	5-M20	12 x 225	10	598	319	339				
	2L-100x100x10	6-M20	12 x 305	10	832	436	456				
	2L-100x100x13	8-M20	12 x 385	10	1062	551	571				

H形鋼筋かい 鋼材：SN490A、高力ボルト：F10T, S10T

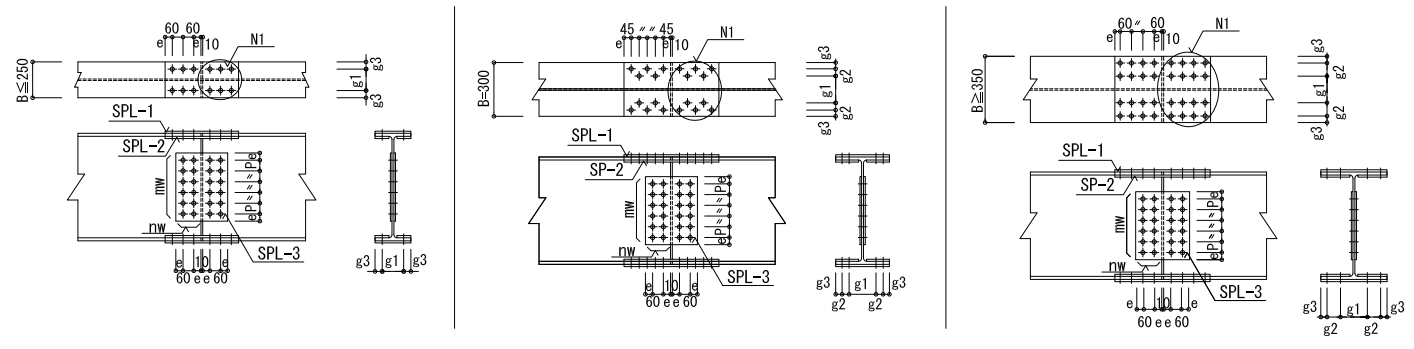
符号	ブレース断面	径 D	フランジ			ウェブ	
			ボルト mw × nw	外添板 厚 × 幅 × 長さ (mm) (mm) (mm)	内添板 厚 × 幅 × 長さ (mm) (mm) (mm)	ボルト mw × nw	添板寸法 Pc 厚 × 幅 × 長さ (mm) (mm) (mm)
V150H	H-150x150x7x10						
V250H	H-250x250x9x14						
V300H	H-300x300x10x15						
V350BH	BH-350x350x16x32						
			柱継手リスト参照				

B	g1	g2
100	56	—
125	75	—
150	90	—
175	105	—
200	120	—
250	150	—
300	150	40
350	140	70
400	140	90

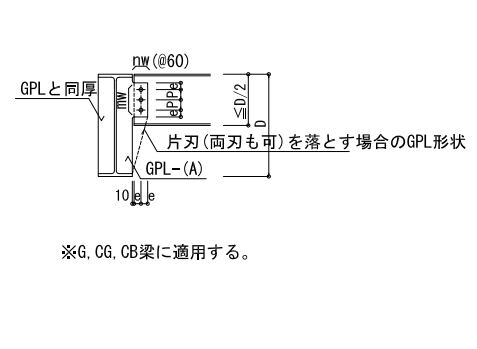
梁継手リスト (H形)

注) 特記なき限り、1. 鉄骨構造標準接合部 (SCSS-H97) による。2. 部材とSPLの材質は同じとする。3. 使用ボルト : S10T, F10T

剛接合



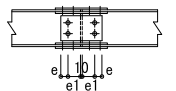
ピン接合



鉄骨共通事項

- 1. 部材接合面に1mmを超えるはだすぎが生じる場合には、接合面にファイラプレートを挿入すること。
2. 高力ボルトの孔径は公称軸径d1+2mmとする。
4. 端あきe=40とする。但し※1印部材のウェブはe1=70とする。
5. ※2は鉛直ブレースGPLがSPLと干渉する場合に使用可とする。

Table with 4 columns: Bolt Callout (呼び), Hole Diameter (穴径), Bolt Diameter (ボルト), and Bolt Spacing (呼び). Rows include M16 and M20 bolts with various hole diameters and spacings.



Main specification table for rigid connections. Columns include Material (材質), Beam (部材), Flange (フランジ), Web (ウェブ), and Bolt (ボルト). Rows list various beam sizes and their corresponding connection details.

Main specification table for pin connections. Columns include Material (材質), Beam (部材), Flange (フランジ), Web (ウェブ), and Bolt (ボルト). Rows list various beam sizes and their corresponding connection details.



代表設計者: 一級建築士 第280128号 小林 史
担当設計者: 一級建築士 第311377号 園原 紀之

設計業務名: 東海国立大学機構 (東山) グランドナレッジ研究棟 (仮称) 新営その他設計業務

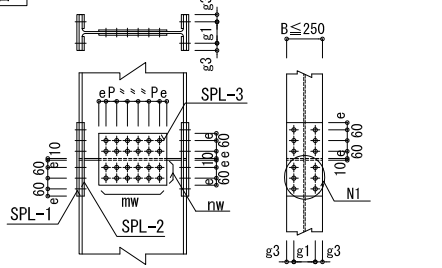
課長: 東海国立大学機構 (東山) LYKEION 研究棟 (仮称) 新営その他工事
工事名称: 東海国立大学機構 施設統括部

図面名称: 梁継手リスト
縮尺: (A1) N.S, (A3) N.S
図面番号: S-62
令和6年度

柱継手リスト (H形)

注) 特記なき限り、1. 鉄骨構造標準接合部 (SCSS-H97) による。2. 部材とSPLの材質は同じとする。3. 使用ボルト : S10T, F10T 4. BHIは組立H形鋼を示す。

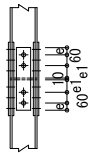
剛 接 合



鉄 骨 共 通 事 項

- 1. 部材接合面に1mmを超えるはだすきが...
2. 高力ボルトの孔径は公称軸径d1+2mmとする。
3.
4. 端あきe=40とする。
5. ※2は鉛直ブレースGPLがSPLと干渉する...

Table with columns for Bolt (呼び), Diameter (孔径), B, g1, g2, g3. Lists specifications for bolts M16, M20, M22.



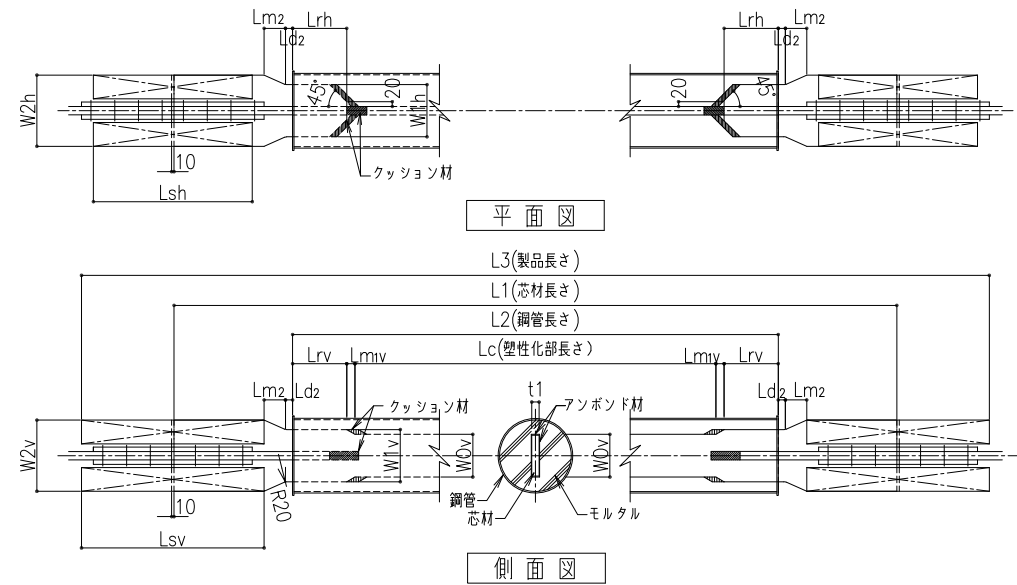
・フランジ・ウェブは、同径のボルトとする。

Main specification table with columns for Material (材質), Part (部 材), Flange (フランジ), Web (ウェブ), and Bolt Joint (ピン 接 合). Lists various H-shaped steel sizes and their corresponding connection details.

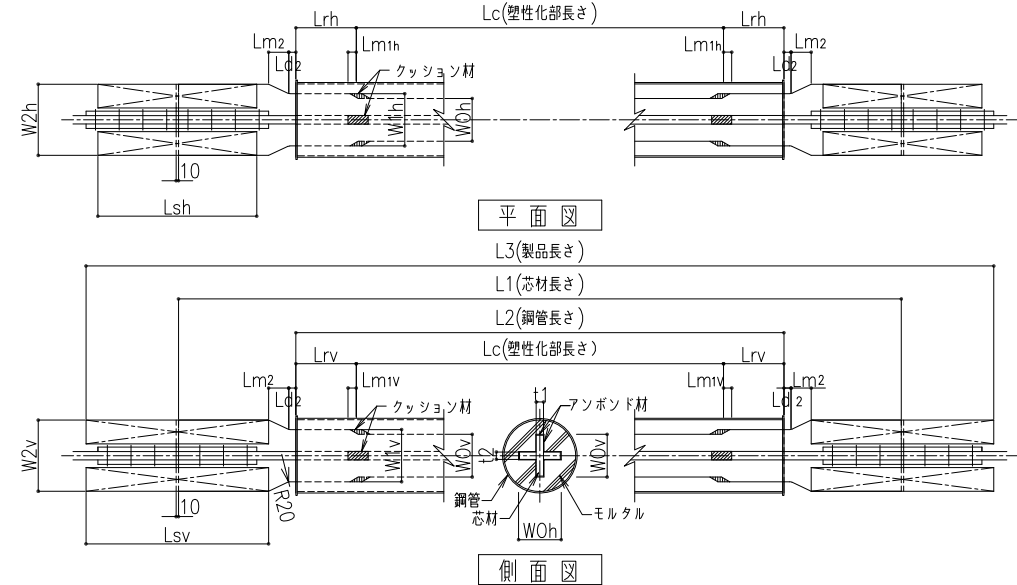
アンボンドブレース部材表

耐震タイプ

芯材形状 一型



芯材形状 +型



継手断面図(タイプ1A,1B)

継手タイプ 1A

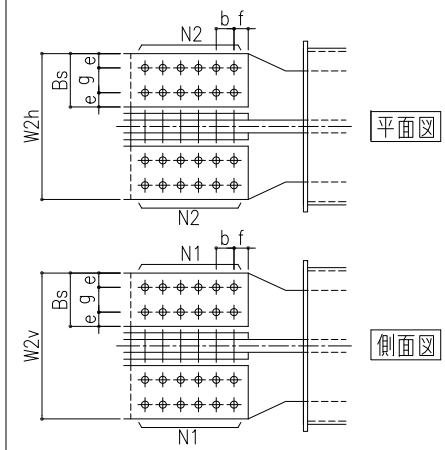
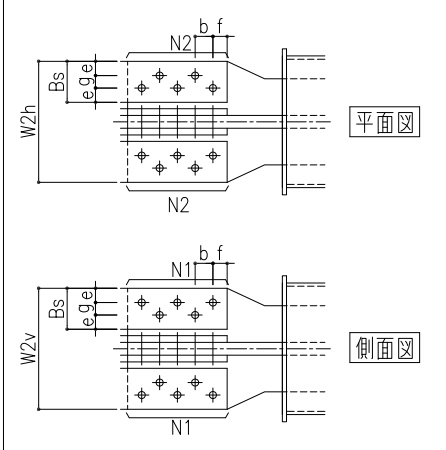
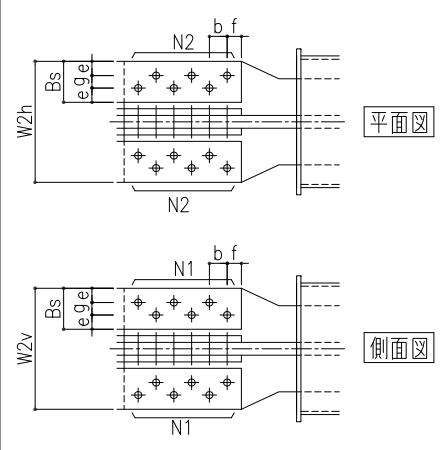
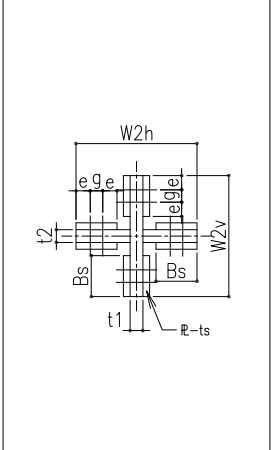
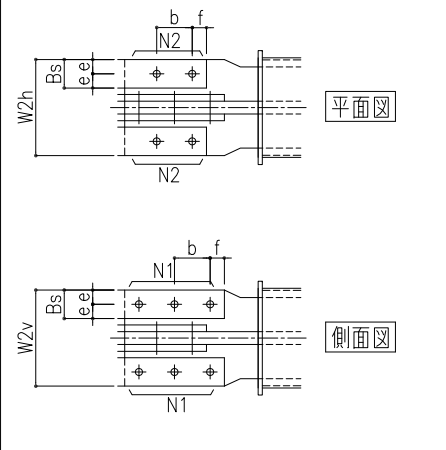
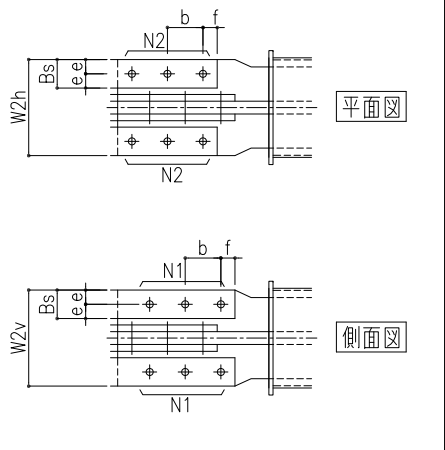
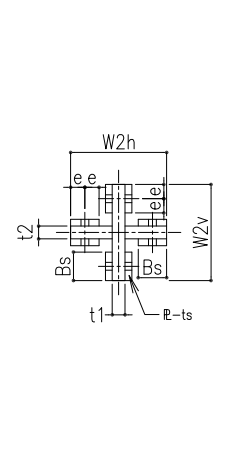
継手タイプ 1B

継手断面図(タイプ2A,2B,2C)

継手タイプ 2A

継手タイプ 2B

継手タイプ 2C



<特記事項>

- アンボンドブレースの製作に関しては、日鉄エンジニアリングのアンボンドブレース製作要領書(日本建築センター一般評定:BCJ評定-STO125-08)による。
- $N_y = F_{\text{値}} \times A_c$
- モルタル: $F_c 21 \text{ N/mm}^2$

- Lrv, Lrhは、一型についてはW1v以上、+型についてはそれぞれW1v又はW1h以上確保すること。
- ガセットプレート側を含めたアンボンドブレース両端の総本数
- 側面側のボルトが3本配列の場合の値

- 塗装仕様(屋内仕様)
座屈拘束鋼管部 素地調整 JASS18 2種
塗装 JIS K 5674(1種)を標準とする。
- スプライスプレートの鋼種はSM490A(JIS規格電炉鋼材)とする。

- 軸変位が60mmを超過する場合はLd2寸法を適切に設定すること。

部材符号	製品記号	降伏軸力 Ny (kN)	座屈拘束鋼管 (STK 400)	芯材形状	芯材材質	Ac (cm ²)	芯材																スプライスプレート (SM490A)*8								高力ボルト (F10T(S10T))					*5 限界座屈長さ (m)	備考		
							鉛直材								水平材								*9	Lc指定の有無	ts (mm)	Bs (mm)	Lsv (mm)	Lsh (mm)	e (mm)	f (mm)	b (mm)	g (mm)	ボルト径	継手タイプ	N1 (本)			N2 (本)	*5 総本数 (本)
							t1 (mm)	W0v (mm)	W1v (mm)	W2v (mm)	Lrv,min (mm)	Lm1v (mm)	t2 (mm)	W0h (mm)	W1h (mm)	W2h (mm)	Lrh,min (mm)	Lm1h (mm)	Ld2,min (mm)	Lm2 (mm)																			
V1	UB490-300-2	2995	φ-355.6x6.4	+	SN490B	92.2	19	252	309	309	309	50	19	252	309	309	309	50	30	10	無	16	100	570	570	35	40	50	30	M22	2B	5	5	80	6.94				
V1A	UB490-300-2	2995	φ-355.6x6.4	+	SN490B	92.2	19	252	309	309	309	50	19	252	309	309	309	50	30	10	無	16	100	570	570	35	40	50	30	M22	2B	5	5	80	6.94				
V2	UB490-400	4006	φ-355.6x6.4	+	SN490B	123.3	25	259	309	322	309	45	25	259	309	322	309	45	30	15	無	22	95	670	670	30	40	50	35	M22	2A	6	6	96	6.00				
V3	UB490-250	2501	φ-318.5x6.0	+	SN490B	77.0	19	212	274	297	274	55	19	212	274	297	274	55	30	20	無	16	90	470	470	30	40	50	30	M22	2A	4	4	64	6.22				
V3A	UB490-250-2	2506	φ-355.6x6.4	+	SN490B	77.1	16	249	309	309	309	55	16	249	309	309	309	55	30	10	無	12	105	440	440	35	40	45	35	M22	2A	4	4	64	7.59				
V4	UB490-225-2	2266	φ-318.5x6.0	+	SN490B	69.7	19	193	273	283	273	70	19	193	273	283	273	70	30	10	無	16	90	530	470	45	40	60	-	M22	1B	4	3	56	6.54				